

# Hitachi IT System Configuration Manager メッセージ

操作書

3021-3-473-20

---

## 前書き

### ■ 対象製品

P-2A61-11A4 Hitachi IT System Configuration Manager 10-04 (適用 OS : Windows Server 2008 R2, Windows Server 2012 R2, Windows 7, Windows 8.1)

### ■ 輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

### ■ 商標類

HITACHI, Cosminexus, HiRDB, JP1, uCosminexus は、株式会社日立製作所の商標または登録商標です。

BSAFE は、米国 EMC コーポレーションの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft, Windows, および Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

RSA は、米国 EMC コーポレーションの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他記載の会社名、製品名などは、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

Hitachi IT System Configuration Manager は、米国 EMC コーポレーションの RSA BSAFE(R)ソフトウェアを搭載しています。

This product includes software developed by Ben Laurie for use in the Apache-SSL HTTP server project.

Portions of this software were developed at the National Center for Supercomputing Applications (NCSA) at the University of Illinois at Urbana-Champaign.

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

This software contains code derived from the RSA Data Security Inc. MD5 Message-Digest Algorithm, including various modifications by Spyglass Inc., Carnegie Mellon University, and Bell Communications Research, Inc (Bellcore).

Regular expression support is provided by the PCRE library package, which is open source software, written by Philip Hazel, and copyright by the University of Cambridge, England. The original software is available from

ftp://ftp.csx.cam.ac.uk/pub/software/programming/pcre/

This product includes software developed by Ralf S. Engelschall <rse@engelschall.com> for use in the mod\_ssl project (<http://www.modssl.org/>).

This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>).

This product includes software developed by IAIK of Graz University of Technology.

This product includes software developed by the Java Apache Project for use in the Apache JServ servlet engine project (<http://java.apache.org/>).

This product includes software developed by Daisuke Okajima and Kohsuke Kawaguchi (<http://relaxngcc.sf.net/>).

This product includes software developed by Andy Clark.



**HITACHI**  
Inspire the Next

株式会社 日立製作所



## ■ マイクロソフト製品の表記について

このマニュアルでは、マイクロソフト製品の名称を次のように表記しています。

表記		製品名
Windows	Windows Server 2008 R2	Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Standard 日本語版
		Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Enterprise 日本語版
		Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Datacenter 日本語版
	Windows Server 2012 R2	Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 R2 Standard 日本語版
		Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 R2 Datacenter 日本語版
	Windows 7	Microsoft(R) Windows(R) 7 Professional 日本語版(64ビット版)
Microsoft(R) Windows(R) 7 Enterprise 日本語版(64ビット版)		

表記		製品名
Windows	Windows 7	Microsoft(R) Windows(R) 7 Ultimate 日本語版(64 ビット版)
	Windows 8.1	Windows(R) 8.1 Pro 日本語版(64 ビット版)
		Windows(R) 8.1 Enterprise 日本語版(64 ビット版)
Excel		Microsoft(R) Excel
		Microsoft(R) Office Excel
MS-DOS		Microsoft(R) MS-DOS(R)

## ■ 発行

2016 年 3 月 3021-3-473-20

## ■ 著作権

All Rights Reserved. Copyright (C) 2014, 2016, Hitachi, Ltd.

## 変更内容

### 変更内容 (3021-3-473-20) Hitachi IT System Configuration Manager 10-04

追加・変更内容	変更箇所
Windows 7, Windows 8.1 に対応しました。	—

### Hitachi IT System Configuration Manager 10-03

追加・変更内容	変更箇所
次のメッセージを追加しました。 KFUD23241-W, KFUD23242-E, KFUD23243-W, KFUD93122-I, KFUD93123-I, KFUD93124-E, KFUD93125-I	1.2.3, 2.2, 2.4
次のメッセージを変更しました。 KFUD23229-E, KFUD23233-E, KFUD95000-I	2.2, 2.4

単なる誤字・脱字などはお断りなく訂正しました。

### 変更内容 (3021-3-473-10) Hitachi IT System Configuration Manager 10-01

追加・変更内容
次のメッセージを追加しました。 KFUD22107-E, KFUD23226-E, KFUD23238-E, KFUD23239-E, KFUD23240-E, KFUD24230-E
次のメッセージを変更しました。 KFUD21801-E, KFUD22104-E, KFUD23205-E, KFUD23228-E, KFUD23229-E, KFUD23230-E, KFUD23232-E, KFUD23233-E, KFUD23234-E, KFUD23235-E, KFUD23237-E, KFUD24017-E, KFUD24203-E, KFUD90061-E
KFUD90302-E および KFUD90303-E のメッセージの、原因コードと対処（セットアップコマンド、およびアンセットアップコマンド実行時）の表に、次の原因コードを追加しました。 <ul style="list-style-type: none"><li>60x, および 61x~66x</li></ul> また、保守情報と対処の表を追加しました。
ファイル転送コマンドとリモート実行時に出力するメッセージの各原因コードについて、発生理由と対処方法を変更しました。

## はじめに

このマニュアルは、Hitachi IT System Configuration Manager が出力するメッセージについて説明したものです。なお、このマニュアルでは、Hitachi IT System Configuration Manager を ISCM と表記します。

また ISCM は、uCosminexus Service Director の後継製品です。このため、このマニュアルでは「uCosminexus Service Director」または uCosminexus Service Director の略称である「uCSD」と表記した個所があります。「uCosminexus Service Director」は「Hitachi IT System Configuration Manager」に、「ISCM」は「uCSD」に適宜読み替えてください。

### ■ 対象読者

ISCM を使用した PaaS 環境を管理する方、または利用する方を対象としています。

PaaS 環境を管理、または利用する際に必要となる、次の内容を理解されていることを前提としています。

- クラウドコンピューティングに関する知識
- Windows に関する基本的な知識
- JP1 の IT リソース管理に関する基本的な知識
- ミドルウェア製品に関する基本的な知識

### ■ このマニュアルで使用している記号について

このマニュアルで使用している記号について次に示します。

記号	意味
	この記号で区切られた項目は選択できることを示します。 (例) disk=A B A, または B を指定できることを示します。
{ }	この記号で囲まれている複数の項目のうちから 1 つを選択することを示します。項目と項目の区切りは「 」で示します。 (例) {A B C} A と B と C のどれかを指定することを示します。
[ ]	この記号で囲まれている項目は省略してもよいことを示します。

### ■ このマニュアルで使用している用語について

このマニュアルで使用している用語について次に示します。

用語	解説
シェル	仮想ホストの OS が Linux の場合はシェルスクリプト、Windows の場合はバッチファイルのことを示します。
SSH	仮想ホストの OS が Linux の場合は SSH 通信、Windows の場合は DCOM 通信のことを示します。

# 目次

前書き	2
変更内容	5
はじめに	6

## 1 メッセージの概要 9

1.1	メッセージの種類	10
1.2	メッセージの出力形式と出力先	11
1.2.1	メッセージの出力形式	11
1.2.2	メッセージの出力先	11
1.2.3	メッセージ ID ごとの出力先	12
1.3	メッセージの記載形式	34
1.3.1	メッセージの記載形式	34

## 2 メッセージの詳細 36

2.1	KFUD10000 から KFUD19999 までのメッセージ	37
2.2	KFUD20000 から KFUD29999 までのメッセージ	56
2.3	KFUD80000 から KFUD89999 までのメッセージ	223
2.4	KFUD90000 から KFUD99999 までのメッセージ	225
2.5	セットアップコマンド、およびアンセットアップコマンド実行時に出力するメッセージの原因コード	274
2.6	ファイル転送とコマンドのリモート実行時に出力するメッセージの原因コード	279
2.7	設計書によるマスターイメージの登録・更新機能使用時のメッセージに関する注意事項	283

## 付録 292

付録 A	このマニュアルの参考情報	293
付録 A.1	関連マニュアル	293
付録 A.2	このマニュアルでの表記	293
付録 A.3	英略語	294
付録 A.4	KB (キロバイト) などの単位表記について	295

# 1

## メッセージの概要

この章では、ISCM で出力されるメッセージの種類、出力形式と出力先、および記載形式について説明します。

## 1.1 メッセージの種類

---

このマニュアルで説明しているメッセージの種類を次の表に示します。

表 1-1 このマニュアルで説明しているメッセージの種類

プリフィックス	メッセージの種類
KFUD10000~KFUD19999	ISCM の機能が正常時に出力するメッセージ
KFUD20000~KFUD29999	ISCM の機能が異常時に出力するメッセージ
KFUD80000~KFUD89999	ISCM の機能が仮想ホスト上で出力するメッセージ
KFUD90000~KFUD99999	ISCM のコマンドプロセスが出力するメッセージ

## 1.2 メッセージの出力形式と出力先

ISCM が出力するメッセージの出力形式と出力先について説明します。

### 1.2.1 メッセージの出力形式

メッセージの形式を次に示します。

KFUDnnnnn-Y△メッセージテキスト

(凡例)

△：半角スペース (1 バイト)

KFUDnnnnn-Y はメッセージ ID を表します。メッセージ ID を構成する要素を次に示します。

KFUD

ISCM が出力するメッセージのプリフィックスを示します。

nnnnn

ISCM で管理するメッセージの番号 (5 桁の固有の番号) を示します。

Y

メッセージのレベル (E, I, Q, W) を示します。

### 1.2.2 メッセージの出力先

メッセージの出力先である、メッセージログファイルの種類を次の表に示します。

表 1-2 メッセージログファイルの種類

メッセージログファイルの種類	説明	出力先
イベントログ	OS のイベント、および ISCM や前提製品のプログラムが起動、停止、異常終了したことなどを示すイベントが出力されます。	Windows イベントログのアプリケーションログ
統合トレースログ	統合トレース機能 (HNTRLib2) によって、ISCM や前提製品などのプログラムが出力するトレース情報が特定の出力先にまとめて採取されます。	<HNTRLib2 のインストールディレクトリ>%spool
セットアップログ※1	ISCM のセットアップ時の情報が出力されます。	<ISCM のインストールディレクトリ>%mgr %log%csdsetup.log
アンセットアップログ※1	ISCM のアンセットアップ時の情報が出力されます。	<ISCM のインストールディレクトリ>%mgr %log%csdunsetup.log

メッセージログファイルの種類	説明	出力先
アクセスログ※1	ISCM の運用コマンドを実行して、アクセスした記録が出力されます。	<ISCM のインストールディレクトリ>%mgr %log%csdaccessXX.log※2
メッセージログ※1	ISCM のプロセスが出力するトレース情報が出力されます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• &lt;ISCM のインストールディレクトリ&gt; %mgr%log%csdmessageXX.log※2</li> <li>• &lt;ISCM のインストールディレクトリ&gt; %mgr%log%csdprocessmessageXX.log ※2</li> </ul>
コマンドトレースログ※1	ISCM の運用コマンドを実行したトレース情報が出力されます。	<ISCM のインストールディレクトリ>%mgr %log%csdcmtrcXX.log※2

注※1 統合トレースログに加えて出力されます。

注※2 XX は、世代管理番号を示します。

## 1.2.3 メッセージ ID ごとの出力先

ISCM のメッセージ ID ごとの出力先を次の表に示します。

表 1-3 メッセージ ID ごとの出力先

メッセージ ID	出力先							
	標準出力	イベント ログ	統合ト レース ログ	セット アップ ログ	アンセッ トアップ ログ	アクセス ログ	メッセー ジログ	コマンド トレース ログ
KFUD11000-I	—	—	○	—	—	—	○	—
KFUD11001-I	—	—	○	—	—	—	○	—
KFUD11002-I	—	—	○	—	—	—	○	—
KFUD11003-I	—	—	○	—	—	—	○	—
KFUD11010-I	—	—	○	—	—	—	○	—
KFUD11011-I	—	—	○	—	—	—	○	—
KFUD11020-I	—	—	○	—	—	—	○	—
KFUD11100-I	—	○	○	—	—	—	○	—
KFUD11101-I	—	○	○	—	—	—	○	—
KFUD11103-I	—	—	○	—	—	—	○	—
KFUD11104-I	—	—	○	—	—	—	○	—
KFUD11105-I	—	—	○	—	—	—	○	—
KFUD11106-I	—	—	○	—	—	—	○	—

メッセージID	出力先							
	標準出力	イベント ログ	統合ト レース ログ	セット アップ ログ	アンセッ トアップ ログ	アクセス ログ	メッセー ジログ	コマンド トレース ログ
KFUD11126-I	-	-	○	-	-	-	○	-
KFUD11135-I	-	-	○	-	-	-	○	-
KFUD11136-I	-	-	○	-	-	-	○	-
KFUD11140-I	-	-	○	-	-	-	○	-
KFUD11210-I	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD11500-I	-	-	-	-	-	○	-	-
KFUD11501-I	-	-	-	-	-	○	-	-
KFUD11502-I	-	-	-	-	-	-	-	○
KFUD11503-I	-	-	-	-	-	-	-	○
KFUD13000-I	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD13001-I	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD13002-I	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD13003-I	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD13100-I	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD13101-I	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD13102-I	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD13103-I	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD14103-I	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD14104-I	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD14400-I	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD14403-I	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD14404-I	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD14500-I	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD14704-I	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD14705-I	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD14706-I	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD14708-I	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD14709-I	○	-	-	-	-	-	○	-

1. メッセージの概要

メッセージID	出力先							
	標準出力	イベント ログ	統合ト レース ログ	セット アップ ログ	アンセッ トアップ ログ	アクセス ログ	メッセー ジログ	コマンド トレース ログ
KFUD14710-I	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD14711-I	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD14712-I	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD14713-I	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD14714-I	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD15002-I	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD15003-I	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD15005-I	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD15009-I	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD15010-I	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD15011-I	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD15012-I	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD15013-I	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD15014-I	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD15016-I	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD15017-I	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD15018-I	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD15019-I	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD15021-I	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD15028-I	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD15029-I	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD15034-I	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD15041-I	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD15042-I	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD15043-I	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD15050-I	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD15052-I	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD15053-I	○	-	-	-	-	-	○	-

メッセージID	出力先							
	標準出力	イベント ログ	統合ト レース ログ	セット アップ ログ	アンセッ トアップ ログ	アクセス ログ	メッセー ジログ	コマンド トレース ログ
KFUD15054-I	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD15055-I	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD15056-I	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD15057-I	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD15058-I	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD15059-I	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD15060-I	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD15061-I	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD15062-I	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD15063-I	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD16000-I	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD16001-I	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD21000-E	-	-	○	-	-	-	○	-
KFUD21001-E	-	-	○	-	-	-	○	-
KFUD21002-E	-	-	○	-	-	-	○	-
KFUD21011-E	-	-	○	-	-	-	○	-
KFUD21012-E	-	-	○	-	-	-	○	-
KFUD21013-E	-	-	○	-	-	-	○	-
KFUD21014-E	-	-	○	-	-	-	○	-
KFUD21020-W	-	-	○	-	-	-	○	-
KFUD21102-E	-	○	○	-	-	-	○	-
KFUD21110-E	-	-	○	-	-	-	○	-
KFUD21116-E	-	-	○	-	-	-	○	-
KFUD21118-E	-	-	○	-	-	-	○	-
KFUD21121-E	-	-	○	-	-	-	○	-
KFUD21137-W	-	○	○	-	-	-	○	-
KFUD21138-E	-	-	○	-	-	-	○	-
KFUD21139-W	-	-	○	-	-	-	○	-

1. メッセージの概要

メッセージID	出力先							
	標準出力	イベント ログ	統合ト レース ログ	セット アップ ログ	アンセッ トアップ ログ	アクセス ログ	メッセー ジログ	コマンド トレース ログ
KFUD21144-E	-	-	○	-	-	-	○	-
KFUD21145-E	-	-	○	-	-	-	○	-
KFUD21146-W	-	○	○	-	-	-	-	-
KFUD21147-E	-	-	○	-	-	-	○	-
KFUD21149-E	-	-	○	-	-	-	○	-
KFUD21151-E	-	-	○	-	-	-	○	-
KFUD21152-E	-	-	○	-	-	-	○	-
KFUD21157-E	-	-	○	-	-	-	○	-
KFUD21160-E	-	-	○	-	-	-	○	-
KFUD21161-E	-	-	○	-	-	-	○	-
KFUD21162-E	-	-	○	-	-	-	○	-
KFUD21201-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD21202-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD21204-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD21205-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD21206-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD21207-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD21208-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD21209-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD21300-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD21301-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD21302-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD21303-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD21304-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD21305-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD21306-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD21307-E	-	-	○	-	-	-	○	-
KFUD21308-E	-	-	-	-	-	-	○	-

1. メッセージの概要

メッセージID	出力先							
	標準出力	イベント ログ	統合ト レース ログ	セット アップ ログ	アンセッ トアップ ログ	アクセス ログ	メッセー ジログ	コマンド トレース ログ
KFUD21309-W	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD21310-E	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD21401-W	-	-	○	-	-	-	-	-
KFUD21403-E	-	-	○	-	-	-	-	-
KFUD21404-E	-	-	○	-	-	-	-	-
KFUD21407-E	-	-	○	-	-	-	-	-
KFUD21408-E	○	-	○	-	-	-	-	-
KFUD21409-E	-	-	○	-	-	-	-	-
KFUD21500-E	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD21501-W	○	-	○	-	-	-	-	-
KFUD21502-W	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD21600-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD21601-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD21800-E	○	-	○	-	-	-	○	-
KFUD21801-E	○	-	○	-	-	-	○	-
KFUD21802-E	○	-	○	-	-	-	○	-
KFUD21803-E	○	-	○	-	-	-	○	-
KFUD21804-E	○	-	○	-	-	-	○	-
KFUD21805-W	○	-	○	-	-	-	○	-
KFUD21806-E	-	-	○	-	-	-	○	-
KFUD21807-E	-	-	○	-	-	-	○	-
KFUD21808-E	○	-	○	-	-	-	○	-
KFUD21809-E	○	-	○	-	-	-	○	-
KFUD21810-W	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD21811-W	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD21812-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD21813-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD22001-E	○	-	○	-	-	-	○	-

メッセージID	出力先							
	標準出力	イベント ログ	統合ト レース ログ	セット アップ ログ	アンセッ トアップ ログ	アクセス ログ	メッセー ジログ	コマンド トレース ログ
KFUD22101-E	○	-	○	-	-	-	○	-
KFUD22102-E	○	-	○	-	-	-	○	-
KFUD22103-E	○	-	○	-	-	-	○	-
KFUD22104-E	○	-	○	-	-	-	○	-
KFUD22107-E	○	-	○	-	-	-	○	-
KFUD23006-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23010-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23012-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23013-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23014-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23015-E	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23016-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23017-E	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23103-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23104-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23105-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23106-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23107-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23108-E	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23109-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23110-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23113-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23114-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23115-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23117-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23118-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23119-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23120-E	○	-	-	-	-	-	○	-

メッセージID	出力先							
	標準出力	イベント ログ	統合ト レース ログ	セット アップ ログ	アンセッ トアップ ログ	アクセス ログ	メッセー ジログ	コマンド トレース ログ
KFUD23121-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23122-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23123-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23124-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23125-E	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23126-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23127-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23128-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23129-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23130-E	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23131-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23132-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23133-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23137-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23138-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23139-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23150-E	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23201-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23202-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23203-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23204-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23205-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23206-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23207-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23208-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23209-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23210-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23211-E	○	-	-	-	-	-	○	-

メッセージID	出力先							
	標準出力	イベント ログ	統合ト レース ログ	セット アップ ログ	アンセッ トアップ ログ	アクセス ログ	メッセー ジログ	コマンド トレース ログ
KFUD23212-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23213-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23214-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23215-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23216-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23217-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23218-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23219-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23220-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23221-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23222-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23223-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23224-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23225-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23226-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23227-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23228-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23229-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23230-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23231-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23232-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23233-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23234-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23235-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23236-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23237-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23238-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23239-E	○	-	-	-	-	-	○	-

メッセージ ID	出力先							
	標準出力	イベント ログ	統合ト レース ログ	セット アップ ログ	アンセッ トアップ ログ	アクセス ログ	メッセー ジログ	コマンド トレース ログ
KFUD23240-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD23241-W※1	-	-	-	-	-	-	-	-
KFUD23242-E※1	-	-	-	-	-	-	-	-
KFUD23243-W※1	-	-	-	-	-	-	-	-
KFUD23999-E	-	-	○	-	-	-	○	-
KFUD24000-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24001-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24002-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24003-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24004-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24005-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24006-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24007-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24008-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24009-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24010-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24012-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24013-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24014-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24015-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24016-E	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24017-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24101-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24102-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24103-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24104-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24105-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24106-E	○	-	-	-	-	-	○	-

メッセージID	出力先							
	標準出力	イベント ログ	統合ト レース ログ	セット アップ ログ	アンセッ トアップ ログ	アクセス ログ	メッセー ジログ	コマンド トレース ログ
KFUD24107-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24203-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24205-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24209-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24211-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24216-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24217-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24218-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24219-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24220-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24221-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24222-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24223-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24224-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24225-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24226-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24227-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24228-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24229-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24230-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24301-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24302-W	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24303-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24304-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24305-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24306-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24307-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24500-E	○	-	-	-	-	-	○	-

メッセージ ID	出力先							
	標準出力	イベント ログ	統合ト レース ログ	セット アップ ログ	アンセッ トアップ ログ	アクセス ログ	メッセー ジログ	コマンド トレース ログ
KFUD24501-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24502-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24503-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24504-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24505-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24506-W	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24507-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24600-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24601-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24602-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24603-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24604-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24701-W	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24702-W	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24703-W	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24705-W	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24706-W	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24707-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24708-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24709-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24710-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24714-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24715-W	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24716-W	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24717-W	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24718-W	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24719-W	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24720-W	○	-	-	-	-	-	○	-

メッセージ ID	出力先							
	標準出力	イベント ログ	統合ト レース ログ	セット アップ ログ	アンセッ トアップ ログ	アクセス ログ	メッセー ジログ	コマン ド トレース ログ
KFUD24721-W	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24722-W	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24723-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24724-W	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24725-W	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24726-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24727-W	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24728-W	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24729-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24730-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24731-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24732-W	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24900-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24997-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD24998-E	○	-	○	-	-	-	○	-
KFUD24999-E	-	-	○	-	-	-	○	-
KFUD25002-E	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25004-E	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25005-E	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25006-E	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25008-W	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25009-W	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25017-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25024-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25026-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25028-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25031-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25032-E	○	-	-	-	-	-	○	-

メッセージID	出力先							
	標準出力	イベント ログ	統合ト レース ログ	セット アップ ログ	アンセッ トアップ ログ	アクセス ログ	メッセー ジログ	コマンド トレース ログ
KFUD25033-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25034-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25035-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25036-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25038-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25039-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25042-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25043-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25044-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25047-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25048-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25049-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25050-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25057-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25058-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25059-E	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25060-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25061-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25063-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25064-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25066-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25067-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25068-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25069-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25070-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25071-E	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25072-W	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25073-W	-	-	-	-	-	-	○	-

メッセージ ID	出力先							
	標準出力	イベント ログ	統合ト レース ログ	セット アップ ログ	アンセッ トアップ ログ	アクセス ログ	メッセー ジログ	コマンド トレース ログ
KFUD25074-E	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25075-E	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25078-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25079-E	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25080-E	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25081-E	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25082-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25083-W	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25084-E	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25085-E	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25086-W	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25087-W	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25088-W	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25089-E	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD25999-E	-	-	○	-	-	-	○	-
KFUD26000-E	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD26001-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD26002-E	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD26003-E	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD26004-E	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD26005-E	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD27000-E※2	-	-	-	-	-	-	-	-
KFUD27001-E※2	-	-	-	-	-	-	-	-
KFUD27002-E※2	-	-	-	-	-	-	-	-
KFUD27003-E※2	-	-	-	-	-	-	-	-
KFUD27004-Q※2	-	-	-	-	-	-	-	-
KFUD27005-E※2	-	-	-	-	-	-	-	-
KFUD27006-E※2	-	-	-	-	-	-	-	-

## 1. メッセージの概要

メッセージ ID	出力先							
	標準出力	イベント ログ	統合ト レース ログ	セット アップ ログ	アンセッ トアップ ログ	アクセス ログ	メッセー ジログ	コマン ド トレース ログ
KFUD27007-E**2	-	-	-	-	-	-	-	-
KFUD27008-E**2	-	-	-	-	-	-	-	-
KFUD27009-E**2	-	-	-	-	-	-	-	-
KFUD27010-E**2	-	-	-	-	-	-	-	-
KFUD80000-I**3	-	-	-	-	-	-	-	-
KFUD81000-E**3	-	-	-	-	-	-	-	-
KFUD90000-E	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD90001-E	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD90002-E	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD90003-E	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD90004-E	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD90006-E	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD90007-E	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD90008-E	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD90009-E	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD90011-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD90012-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD90013-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD90014-E	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD90015-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD90016-E	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD90017-E	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD90018-E	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD90019-E	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD90020-E	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD90021-E	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD90022-E	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD90023-E	○	-	-	-	-	-	○	-

メッセージ ID	出力先							
	標準出力	イベント ログ	統合ト レース ログ	セット アップ ログ	アンセッ トアップ ログ	アクセス ログ	メッセー ジログ	コマン ド トレース ログ
KFUD90024-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD90025-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD90026-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD90027-E	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD90028-E	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD90051-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD90060-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD90061-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD90062-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD90068-E	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD90099-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD90300-I	○	-	-	○	-	-	-	-
KFUD90301-I	○	-	-	-	○	-	-	-
KFUD90302-E	○	-	-	○	-	-	-	-
KFUD90303-E	○	-	-	-	○	-	-	-
KFUD90304-E	○	-	-	○	-	-	-	-
KFUD90305-E	○	-	-	○	○	-	-	-
KFUD90307-E	○	-	-	○	-	-	-	-
KFUD90308-Q	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD90309-E	○	-	-	○	-	-	-	-
KFUD90310-W	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD90311-E	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD90312-E	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD90313-E	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD90314-E	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD90315-E	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD90316-E	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD90317-W	○	-	-	-	-	-	-	-

メッセージ ID	出力先							
	標準出力	イベント ログ	統合ト レース ログ	セット アップ ログ	アンセッ トアップ ログ	アクセス ログ	メッセー ジログ	コマン ド トレース ログ
KFUD90318-E	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD90319-E	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD90320-E	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD90321-W	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD90330-I	○	-	-	○	-	-	-	-
KFUD90331-I	○	-	-	○	-	-	-	-
KFUD90332-I	○	-	-	-	○	-	-	-
KFUD90333-I	○	-	-	-	○	-	-	-
KFUD90334-I	○	-	-	○	-	-	-	-
KFUD90335-I	○	-	-	○	-	-	-	-
KFUD90400-I	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD90401-E	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD90402-E	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD90403-E	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD90404-Q	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD91501-E	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD91502-E	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD91503-E	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD91504-E	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD91505-W	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD91506-W	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD91507-E	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD91508-E	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD91509-W	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD91510-W	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD91511-W	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD91800-E	○	-	○	-	-	-	○	-
KFUD91801-E	○	-	○	-	-	-	○	-

メッセージ ID	出力先							
	標準出力	イベント ログ	統合ト レース ログ	セット アップ ログ	アンセッ トアップ ログ	アクセス ログ	メッセー ジログ	コマンド トレース ログ
KFUD91810-E	○	-	○	-	-	-	○	-
KFUD91811-E	○	-	○	-	-	-	○	-
KFUD91820-E	○	-	○	-	-	-	○	-
KFUD91830-E	○	-	○	-	-	-	○	-
KFUD91840-E	○	-	○	-	-	-	○	-
KFUD91850-E	○	-	○	-	-	-	○	-
KFUD91851-E	○	-	○	-	-	-	○	-
KFUD91852-E	○	-	○	-	-	-	○	-
KFUD91853-E	○	-	○	-	-	-	○	-
KFUD91860-E	○	-	○	-	-	-	○	-
KFUD91861-I	○	-	○	-	-	-	○	-
KFUD93000-I	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD93001-I	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD93002-I	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD93003-I	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD93004-I	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD93011-I	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD93012-I	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD93013-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD93020-Q	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD93021-Q	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD93100-I	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD93101-I	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD93102-I	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD93103-I	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD93104-I	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD93110-I	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD93111-I	○	-	-	-	-	-	○	-

メッセージ ID	出力先							
	標準出力	イベント ログ	統合ト レース ログ	セット アップ ログ	アンセッ トアップ ログ	アクセス ログ	メッセー ジログ	コマンド トレース ログ
KFUD93112-I	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD93113-I	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD93120-Q	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD93121-Q	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD93122-I	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD93123-I	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD93124-E	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD93125-I	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD94000-I	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD94001-I	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD94002-I	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD94003-I	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD94004-I	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD94005-I	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD94006-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD94007-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD94008-I	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD94009-Q	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD94010-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD95000-I	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD95001-I	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD95002-I	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD95003-I	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD95004-I	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD95005-I	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD95006-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD95007-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD95008-E	○	-	-	-	-	-	○	-

メッセージ ID	出力先							
	標準出力	イベント ログ	統合ト レース ログ	セット アップ ログ	アンセッ トアップ ログ	アクセス ログ	メッセー ジログ	コマンド トレース ログ
KFUD95009-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD95010-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD95011-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD95012-Q	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD95013-Q	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD95015-I	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD95016-I	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD95017-I	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD95018-I	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD95019-I	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD95020-I	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD95021-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD95022-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD95023-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD95024-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD95025-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD95026-I	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD95029-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD95030-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD97101-E	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD97102-E	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD97103-E	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD97104-E	○	-	-	-	-	-	○	-
KFUD97105-I	○	-	-	-	-	-	-	-
KFUD97106-E	-	-	-	-	-	-	○	-
KFUD97107-I	○	-	-	-	-	-	-	-

(凡例) ○：出力します。 -：出力しません。

注※1 csdcheck コマンド表示結果の"Reference ID"列にメッセージ ID だけ出力されます。メッセージテキストは出力されません。

注※2 JP1/AO 連携時にダイアログボックスに表示されます。

## 1. メッセージの概要

注※3 仮想ホストの syslog に出力されます。

## 1.3 メッセージの記載形式

---

このマニュアルで使用しているメッセージの記載形式と、記載項目について説明します。

### 1.3.1 メッセージの記載形式

このマニュアルで使用しているメッセージの記載形式と、記載項目を次に示します。

#### (1) 記載形式

KFUDnnnnn-Y

メッセージテキスト

可変値に関する説明

説明

メッセージテキストに対する補足説明

(S)

システムが実施する処置

(O)

ユーザが実施する対処

なお、「可変値に関する説明」、「説明」、(S)および(O)はメッセージによって記述しないものもあります。

#### (2) 記載項目

KFUDnnnnn-Y

メッセージ ID を表します。メッセージ ID を構成する要素を次に示します。

KFUD

ISCM が出力するメッセージのプリフィックスを示します。

nnnnn

ISCM で管理するメッセージの番号 (5桁の固有の番号) を示します。

Y

メッセージのレベルを表します。メッセージのレベルは英字 1 文字で示します。メッセージのレベルを示す文字とその意味を次に示します。

- E (Error)

エラーレベルの障害が発生して処理が続行できないことを通知するメッセージです。このメッセージが出力されたときは、処理を中断します。

- I (Information)  
システムの処理過程を通知するメッセージです。このメッセージが出力されたあとも処理を続行します。
- Q (Question)  
出力されたメッセージに対して、ユーザに実行の選択を促すメッセージです。このメッセージが出力されたときは、ユーザの応答を待ちます。
- W (Warning)  
警告レベルの障害が発生したことを通知するメッセージです。このメッセージが出力されたあとも処理を続行します。

### メッセージテキスト

ISCM が出力するメッセージテキストを表します。なお、メッセージテキスト中の可変値（メッセージが出力される状況によって変わる値）は、「xx...xx」（xx は英小文字）の形式で示します。

### 可変値に関する説明

メッセージテキスト中の可変値に表示される情報を「xx...xx：表示される情報」（xx は英小文字）の形式で示します。可変値に関する説明の記述例を次に示します。

(例)

aa...aa：マスターイメージ ID

bb...bb：ホスト ID

### 説明

メッセージが通知された原因やメッセージを出力した ISCM の動作など、メッセージに対する補足説明を示します。

(S)

メッセージが出力されたあとに、システムが実施する処置を示します。

(O)

メッセージが出力されたときに、ユーザが実施する対処を示します。

# 2

## メッセージの詳細

この章では、ISCM で出力されるメッセージについて説明します。

## 2.1 KFUD10000 から KFUD19999 までのメッセージ

---

KFUD10000 から KFUD19999 までのメッセージとその対処方法について説明します。

### KFUD11000-I

ISCM サービス(Hitachi IT System Configuration Manager - Manager)の起動処理を開始します。  
Version=aa....aa

aa....aa : バージョン番号 (vv-rr[-ss])

### KFUD11001-I

ISCM サービス(Hitachi IT System Configuration Manager - Manager)を起動しました。

### KFUD11002-I

ISCM サービス(Hitachi IT System Configuration Manager - Manager)の終了処理を開始します。

### KFUD11003-I

ISCM サービス(Hitachi IT System Configuration Manager - Manager)を終了しました。

### KFUD11010-I

データ用サブディレクトリを作成しました。ディレクトリ名=aa....aa

aa....aa : ディレクトリ名 (フルパス)

### KFUD11011-I

一時ファイル, およびディレクトリを削除しました。

### KFUD11020-I

JP1/ITRM の起動を確認しました。

### KFUD11100-I

ISCM を開始しました。

### KFUD11101-I

ISCM を終了しました。

#### KFUD11103-I

ISCM のサービス状態を「開始中」にしました。

#### KFUD11104-I

ISCM のサービス状態を「実行中」にしました。

#### KFUD11105-I

ISCM のサービス状態を「停止中」にしました。

#### KFUD11106-I

ISCM のサービス状態を「停止」にしました。

#### KFUD11126-I

ISCM のプロセスの監視を開始します。

#### KFUD11135-I

プロセスが再起動されました。プロセス名=aa....aa

aa....aa：プロセス名

#### KFUD11136-I

ISCM の起動を aa....aa 秒待ちます。

aa....aa：待ち時間（秒）

#### KFUD11140-I

プロセスの起動を完了しました。プロセス名=aa....aa

aa....aa：プロセス名

#### KFUD11210-I

リクエストを受け付けました。セッション ID のハッシュ値=aa....aa

aa....aa：リクエストのセッション ID のハッシュ値

#### KFUD11500-I

aa....aa bb....bb cc....cc dd....dd ee....ee ff....ff gg....gg

aa....aa : ログイン成否

bb....bb : セッション ID のハッシュ値

cc....cc : ユーザ名

dd....dd : IP アドレス

ee....ee : ポート番号

ff....ff : アクセス時の URL

gg....gg : HTTP リクエストの種類 (POST GET など)

#### 説明

ISCM サービスがコマンドからの処理実行要求を受け付けました。  
このメッセージはアクセスログに出力されます。

#### KFUD11501-I

```
aa....aa bb....bb cc....cc dd....dd ee....ee ff....ff gg....gg
```

aa....aa : ログアウト成否

bb....bb : セッション ID のハッシュ値

cc....cc : ユーザ名

dd....dd : IP アドレス

ee....ee : ポート番号

ff....ff : アクセス時の URL

gg....gg : HTTP リクエストの種類 (POST GET など)

#### 説明

ISCM サービスがコマンドからの処理完了要求を受け付けました。  
このメッセージはアクセスログに出力されます。

#### KFUD11502-I

```
START User=aa....aa, Command=bb....bb
```

aa....aa : ユーザ名

bb....bb : コマンド名

## 説明

コマンド処理を開始しました。

このメッセージはコマンドトレースログに出力されます。

### KFUD11503-I

```
END User=aa....aa, Command=bb....bb, Return=cc....cc, Info=dd....dd
```

aa....aa : ユーザ名

bb....bb : コマンド名

cc....cc : 戻り値

dd....dd : 保守情報

## 説明

コマンド処理を終了しました。

このメッセージはコマンドトレースログに出力されます。

### KFUD13000-I

```
テンプレートの登録が完了しました。テンプレート名=aa....aa, ID=bb....bb
```

aa....aa : テンプレート名

bb....bb : テンプレート ID

### KFUD13001-I

```
テンプレートの削除が完了しました。
```

### KFUD13002-I

```
正常に属性の変更が完了しました。
```

### KFUD13003-I

```
テンプレートの更新が完了しました。
```

### KFUD13100-I

```
マスターイメージの登録が完了しました。マスターイメージ名=aa....aa, ID=bb....bb
```

aa....aa : マスターイメージ名[.セクション]

bb....bb : マスターイメージ ID

## KFUD13101-I

マスターイメージを削除しました。

## KFUD13102-I

マスターイメージの更新が完了しました。

## KFUD13103-I

サイジング結果を出力します。コンポーネント ID=aa....aa, Key=(bb....bb), Value=(cc....cc)

aa....aa：コンポーネント ID

bb....bb：キー

cc....cc：値

## KFUD14103-I

指定した物理ホストの状態を変更しました。IP アドレス=aa....aa

aa....aa：物理ホストの IP アドレス

## KFUD14104-I

指定した物理ホストグループの状態を変更しました。物理ホストグループ名=aa....aa

aa....aa：物理ホストグループ名

### 説明

指定した物理ホストグループの状態、および物理ホストグループに登録されているすべての物理ホストの状態を変更しました。

## KFUD14400-I

物理配置候補算出が完了しました。マスターイメージ ID=aa....aa

aa....aa：マスターイメージ ID

## KFUD14403-I

リソース予約が完了しました。マスターイメージ ID=aa....aa

aa....aa：マスターイメージ ID

## KFUD14404-I

リソース予約解除が完了しました。マスターイメージ ID=aa....aa

aa....aa：マスターイメージ ID

## KFUD14500-I

リソース制約定義ファイルが有効になりました。

### 説明

リソース制約定義ファイルが有効になりました。

## KFUD14704-I

物理ホストの情報を削除しました。IP アドレス=aa....aa

aa....aa：物理ホストの IP アドレス

### 説明

物理構成定義ファイルから「IP アドレス」パラメタに示す IP アドレスが削除されたため、ISCM に登録されている物理ホスト情報を削除しました。

コマンド実行側には、パラメタに"\*"が表示されるメッセージが 1 回出力されます。

サーバ側（メッセージログ、モジュールトレースログ）には次の両方のメッセージが出力されます。

- パラメタに"\*"が表示されるメッセージが 1 回出力されます。
- パラメタに、削除された情報を表示したメッセージ（パラメタが"\*"でないメッセージ）が削除数分出力されます。

## KFUD14705-I

物理構成情報の更新が完了しました。

## KFUD14706-I

ロードバランサの情報を削除しました。負荷分散機接続設定プロパティファイル名=aa....aa

aa....aa：負荷分散機接続設定プロパティファイル名

### 説明

「負荷分散機接続設定プロパティファイル名」パラメタに示す負荷分散機接続設定プロパティファイルが<ISCM のインストールディレクトリ>%mgr%conf%lb ディレクトリから削除されたため、ISCM に登録されている負荷分散機（ロードバランサ）の情報を削除しました。

コマンド実行側には、パラメタに"\*"が表示されるメッセージが 1 回出力されます。

サーバ側（メッセージログ、モジュールトレースログ）には次の両方のメッセージが出力されます。

- パラメタに"\*"が表示されるメッセージが 1 回出力されます。
- パラメタに、削除された情報を表示したメッセージ（パラメタが"\*"でないメッセージ）が削除数分出力されます。

## KFUD14708-I

ISCM が管理する物理構成情報と JP1/ITRM が管理する物理構成情報に差異があったので、JP1/ITRM の情報を上書きしました。

## KFUD14709-I

物理ホストグループ情報を削除しました。物理ホストグループ名=aa....aa

aa....aa：物理ホストグループ名

### 説明

物理構成定義ファイルから「物理ホストグループ名」パラメタに示す物理ホストグループ名が削除されたため、ISCM に登録されている物理ホストグループ情報を削除しました。

コマンド実行側には、パラメタに"\*"が表示されるメッセージが 1 回出力されます。

サーバ側（メッセージログ、モジュールトレースログ）には次の両方のメッセージが出力されます。

- パラメタに"\*"が表示されるメッセージが 1 回出力されます。
- パラメタに、削除された情報を表示したメッセージ（パラメタが"\*"でないメッセージ）が削除数分出力されます。

## KFUD14710-I

ストレージ情報を削除しました。データストア名=aa....aa

aa....aa：データストア名

### 説明

物理容量定義ファイルから「データストア名」パラメタに示すデータストア名が削除されたため、ISCM に登録されているストレージ（データストア）情報を削除しました。

コマンド実行側には、パラメタに"\*"が表示されるメッセージが 1 回出力されます。

サーバ側（メッセージログ、モジュールトレースログ）には次の両方のメッセージが出力されます。

- パラメタに"\*"が表示されるメッセージが 1 回出力されます。
- パラメタに、削除された情報を表示したメッセージ（パラメタが"\*"でないメッセージ）が削除数分出力されます。

## KFUD14711-I

ストレージ情報を削除しました。ストレージのリソース名=aa....aa, ストレージプール名=bb....bb

aa....aa：ストレージのリソース名

bb....bb：ストレージプール名

## 説明

物理容量定義ファイルから「ストレージのリソース名」「ストレージプール名」パラメタに示すストレージ情報が削除されたため、ISCMに登録されているストレージ情報を削除しました。

コマンド実行側には、パラメタすべてに"\*"が表示されるメッセージが1回出力されます。

サーバ側（メッセージログ、モジュールトレースログ）には次の両方のメッセージが出力されます。

- パラメタすべてに"\*"が表示されるメッセージが1回出力されます。
- 各パラメタに、削除された情報を表示したメッセージ（パラメタすべてが"\*"でないメッセージ）が削除数分出力されます。

## KFUD14712-I

仮想ホストの移動を検出しました。マスターイメージ ID=aa....aa, IP アドレス=bb....bb, ホスト名=cc....cc, 移動元=dd....dd, 移動先=ee....ee

aa....aa：マスターイメージ ID

bb....bb：仮想ホストの管理用 IP アドレス

cc....cc：仮想ホスト名

dd....dd：仮想ホストの移動元※

ee....ee：仮想ホストの移動先※

注※ 移動元, 移動先は次の形式で出力します。

物理ホスト：物理ホストの IP アドレス

リソースプール：物理ホストの IP アドレス/リソースプール名

## 説明

vMotion による仮想ホストの移動を検出して、物理構成情報、および物理リソース使用量を更新しました。

移動先, 移動元の物理ホストを各種操作の対象外にしている場合は、csdrscstatus コマンドを使用して操作対象に戻してください。

## KFUD14713-I

リソースプール情報を削除しました。IP アドレス=aa....aa, リソースプール名=bb....bb

aa....aa：物理ホストの IP アドレス

bb....bb：リソースプール名

## 説明

物理構成定義ファイルから「物理ホストの IP アドレス」「リソースプール名」パラメタに示すリソースプール情報が削除されたため、ISCM に登録されているリソースプール情報を削除しました。

コマンド実行側には、パラメタすべてに"\*"が表示されるメッセージが 1 回出力されます。

サーバ側（メッセージログ、モジュールトレースログ）には次の両方のメッセージが出力されます。

- パラメタすべてに"\*"が表示されるメッセージが 1 回出力されます。
- 各パラメタに、削除された情報を表示したメッセージ（パラメタすべてが"\*"でないメッセージ）が削除数分出力されます。

## KFUD14714-I

物理ホストからストレージ情報を削除しました。種別=aa....aa, IP アドレス=bb....bb, 名称 1=cc....cc, 名称 2=dd....dd

aa....aa：種別

DATASTORE：データストア

STORAGEPOOL：ストレージプール

bb....bb：物理ホストの IP アドレス

cc....cc：名称 1

種別が DATASTORE の場合：データストア名

種別が STORAGEPOOL の場合：ストレージのリソース名

dd....dd：名称 2

種別が DATASTORE の場合："\*"を出力

種別が STORAGEPOOL の場合：ストレージプール名

## 説明

物理構成定義ファイルからメッセージの各パラメタに示すデータストア情報、またはストレージプール情報が削除されたため、ISCM に登録されているストレージ情報を削除しました。

コマンド実行側には、パラメタすべてに"\*"が表示されるメッセージが 1 回出力されます。

サーバ側（メッセージログ、モジュールトレースログ）には次の両方のメッセージが出力されます。

- パラメタすべてに"\*"が表示されるメッセージが 1 回出力されます。
- 各パラメタに、削除された情報を表示したメッセージ（パラメタすべてが"\*"でないメッセージ）が削除数分出力されます。

## KFUD15002-I

業務システムの構築が完了しました。

### 説明

業務システム状態が deploying(pause)の場合は業務システムの構築がすべて完了していません。デプロイが完了してミドルウェアセットアップが開始前の状態となります。

## KFUD15003-I

業務システムの仮想ホストの削除が完了しました。

## KFUD15005-I

業務システムの構築処理を中断しました。マスターイメージ ID=aa....aa, 要求種別=bb....bb

aa....aa : マスターイメージ ID

bb....bb : 要求種別

### 説明

aa....aa に示すマスターイメージで処理 (bb....bb) が中断しました。bb....bb に表示される内容を次に示します。

DEPLOY : デプロイ

UNDEPLOY : アンデプロイ

UPDATE : アップデート

## KFUD15009-I

ミドルウェアセットアップを開始します。マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb, ミドルウェア種別=cc....cc

aa....aa : マスターイメージ ID

bb....bb : ホスト ID\*

cc....cc : ミドルウェア種別 (Cosminexus, HiRDB, マスターイメージ定義ファイルのミドルウェア識別子)

注※ ミドルウェア種別 (cc....cc) が「Cosminexus」の場合、ホスト ID (bb....bb) には"\*"が表示されます。

### 説明

ミドルウェアセットアップを開始します。

## KFUD15010-I

ミドルウェア更新用ファイルセットを SSH によりファイル転送します。マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb, ミドルウェア種別=cc....cc

aa....aa : マスターイメージ ID

bb....bb : ホスト ID

cc....cc : ミドルウェア種別 (Cosminexus, HiRDB, マスターイメージ定義ファイルのミドルウェア識別子)

### 説明

ミドルウェア更新用ファイルセット (ミドルパッチ本体 (ファイルセット)) の転送を開始します。

## KFUD15011-I

ミドルウェア更新用ファイルセットの転送が終了しました。マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb, ミドルウェア種別=cc....cc

aa....aa : マスターイメージ ID

bb....bb : ホスト ID

cc....cc : ミドルウェア種別 (Cosminexus, HiRDB, マスターイメージ定義ファイルのミドルウェア識別子)

### 説明

ミドルウェア更新用ファイルセット (ミドルパッチ本体 (ファイルセット)) の転送が終了しました。

## KFUD15012-I

ミドルウェア更新スクリプトを SSH により実行します。マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb, ミドルウェア種別=cc....cc

aa....aa : マスターイメージ ID

bb....bb : ホスト ID

cc....cc : ミドルウェア種別 (Cosminexus, HiRDB, マスターイメージ定義ファイルのミドルウェア識別子)

### 説明

ミドルウェア更新スクリプト (ミドルパッチ適用スクリプト) の実行を開始します。

## KFUD15013-I

ミドルウェア更新スクリプトの実行が終了しました。マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb, ミドルウェア種別=cc....cc

aa....aa : マスターイメージ ID

bb....bb : ホスト ID

cc....cc : ミドルウェア種別 (Cosminexus, HiRDB, マスターイメージ定義ファイルのミドルウェア識別子)

### 説明

ミドルウェア更新スクリプト (ミドルパッチ適用スクリプト) の実行が終了しました。

## KFUD15014-I

ミドルウェアセットアップが正常終了しました。マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb, ミドルウェア種別=cc....cc

aa....aa : マスターイメージ ID

bb....bb : ホスト ID

cc....cc : ミドルウェア種別 (Cosminexus, HiRDB, マスターイメージ定義ファイルのミドルウェア識別子)

### 説明

ミドルウェアセットアップが正常終了しました。

## KFUD15016-I

OS 更新用ファイルセットを SSH によりファイル転送します。マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb

aa....aa : マスターイメージ ID

bb....bb : ホスト ID

### 説明

OS 更新用ファイルセット (OS パッチ本体 (ファイルセット)) の転送を開始します。

## KFUD15017-I

OS 更新用ファイルセットのファイル転送が終了しました。マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb

aa....aa：マスターイメージ ID

bb....bb：ホスト ID

#### 説明

OS 更新用ファイルセット (OS パッチ本体 (ファイルセット)) の転送が終了しました。

#### KFUD15018-I

OS 更新実行スクリプトを SSH により実行します。マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb

aa....aa：マスターイメージ ID

bb....bb：ホスト ID

#### 説明

OS 更新実行スクリプト (OS パッチ適用スクリプト) の実行を開始しました。

#### KFUD15019-I

OS 更新実行スクリプトの実行が終了しました。マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb

aa....aa：マスターイメージ ID

bb....bb：ホスト ID

#### 説明

OS 更新実行スクリプト (OS パッチ適用スクリプト) の実行が終了しました。

#### KFUD15021-I

マスターイメージ ID=aa....aa の処理を開始します。要求種別=bb....bb

aa....aa：マスターイメージ ID

bb....bb：要求種別

#### 説明

aa....aa に示すマスターイメージで処理 (bb....bb) を開始します。bb....bb に表示される内容を次に示します。

DEPLOY：デプロイ

UNDEPLOY：アンデプロイ

UPDATE：アップデート

## KFUD15028-I

hosts ファイル転送を開始します。マスターイメージ ID=aa....aa

aa....aa：マスターイメージ ID

### 説明

確保した仮想ホストへの hosts ファイルの転送を開始します。

## KFUD15029-I

hosts ファイル転送を終了します。マスターイメージ ID=aa....aa

aa....aa：マスターイメージ ID

### 説明

確保した仮想ホストへの hosts ファイルの転送を終了します。

## KFUD15034-I

マスターイメージ ID=aa....aa の処理が終了しました。要求種別=bb....bb

aa....aa：マスターイメージ ID

bb....bb：要求種別

### 説明

aa....aa に示すマスターイメージで処理 (bb....bb) が終了しました。bb....bb に表示される内容を次に示します。

DEPLOY：デプロイ

UNDEPLOY：アンデプロイ

UPDATE：アップデート

## KFUD15041-I

仮想ホスト確保処理の実行が終了しました。マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb

aa....aa：マスターイメージ ID

bb....bb：ホスト ID

### 説明

jirmvmdploy コマンドの実行が終了しました。

## KFUD15042-I

OS 更新を開始します。マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb

aa....aa : マスターイメージ ID

bb....bb : ホスト ID

### 説明

OS 更新処理を開始します。

## KFUD15043-I

OS 更新を終了します。マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb

aa....aa : マスターイメージ ID

bb....bb : ホスト ID

### 説明

OS 更新処理を終了します。

## KFUD15050-I

仮想ホスト資源の解放が終了しました。マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb

aa....aa : マスターイメージ ID

bb....bb : ホスト ID

### 説明

jirmstatuschange コマンドの実行が終了しました。

## KFUD15052-I

仮想ホストパスワードを設定しました。

## KFUD15053-I

仮想サーバマネージャ管理者アカウントを設定しました。

## KFUD15054-I

業務システムの構築を受け付けました。マスターイメージ ID=aa....aa

aa....aa : マスターイメージ ID

## 説明

csdmideploy コマンドを受け付けました。

## KFUD15055-I

業務システムの構築解放を受け付けました。マスターイメージ ID=aa....aa

aa....aa : マスターイメージ ID

## 説明

csdmiundeploy コマンドを受け付けました。

## KFUD15056-I

業務システムの構築アップデートを受け付けました。マスターイメージ ID=aa....aa

aa....aa : マスターイメージ ID

## 説明

csdmiupdate コマンドを受け付けました。

## KFUD15057-I

業務システムの構築停止を受け付けました。マスターイメージ ID=aa....aa

aa....aa : マスターイメージ ID

## 説明

csdmistopdeploy コマンドを受け付けました。

## KFUD15058-I

仮想ホストに対するステータス変更が完了しました。マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb

aa....aa : マスターイメージ ID

bb....bb : ホスト ID

## 説明

jirmstatuschange コマンドの実行が終了しました。

## KFUD15059-I

ミドルウェア更新を開始します。マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb, ミドルウェア種別=cc....cc

aa....aa：マスターイメージ ID

bb....bb：ホスト ID\*

cc....cc：ミドルウェア種別 (Cosminexus, HiRDB)

注※ ミドルウェア種別 (cc....cc) が「Cosminexus」の場合、ホスト ID (bb....bb) には"\*"が表示されることがあります。

#### 説明

ミドルウェア (cc....cc) の更新処理を開始します。

#### KFUD15060-I

ミドルウェア更新を終了します。マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb, ミドルウェア種別=cc....cc

aa....aa：マスターイメージ ID

bb....bb：ホスト ID\*

cc....cc：ミドルウェア種別 (Cosminexus, HiRDB)

注※ ミドルウェア種別 (cc....cc) が「Cosminexus」の場合、ホスト ID (bb....bb) には"\*"が表示されることがあります。

#### 説明

ミドルウェア (cc....cc) の更新処理を終了します。

#### KFUD15061-I

仮想ホスト解放処理の実行が終了しました。マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb

aa....aa：マスターイメージ ID

bb....bb：ホスト ID

#### 説明

jirmundeploy コマンドの実行が終了しました。

#### KFUD15062-I

ミドルウェアアンセットアップを開始します。マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb, ミドルウェア種別=cc....cc

aa....aa：マスターイメージ ID

bb....bb：ホスト ID

cc....cc：ミドルウェア種別（Cosminexus, HiRDB, マスターイメージ定義ファイルのミドルウェア識別子）

#### 説明

ミドルウェアアンセットアップを開始します。

#### KFUD15063-I

ミドルウェアアンセットアップを終了しました。マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb, ミドルウェア種別=cc....cc

aa....aa：マスターイメージ ID

bb....bb：ホスト ID

cc....cc：ミドルウェア種別（Cosminexus, HiRDB, マスターイメージ定義ファイルのミドルウェア識別子）

#### 説明

ミドルウェアアンセットアップが終了しました。

#### KFUD16000-I

UOC の実行を開始しました。依頼元スレッド ID=aa....aa, マスターイメージ ID=bb....bb, ホスト名=cc....cc, 識別子=dd....dd, UOC 種別=ee....ee

aa....aa：依頼元スレッド ID

bb....bb：マスターイメージ ID

cc....cc：仮想ホスト名

dd....dd：識別子

ee....ee：UOC 種別

#### KFUD16001-I

UOC の実行を終了しました。依頼元スレッド ID=aa....aa, マスターイメージ ID=bb....bb, ホスト名=cc....cc, 識別子=dd....dd, UOC 種別=ee....ee

aa....aa：依頼元スレッド ID

bb....bb：マスターイメージ ID

cc....cc：仮想ホスト名

dd....dd : 識別子

ee....ee : UOC 種別

## 2.2 KFUD20000 から KFUD29999 までのメッセージ

---

KFUD20000 から KFUD29999 までのメッセージとその対処方法について説明します。

### KFUD21000-E

ISCM サービス(Hitachi IT System Configuration Manager - Manager)の起動に失敗しました。

#### 説明

このメッセージより前に表示されたメッセージに、起動に失敗した原因が出力されています。

#### (S)

ISCM サービス (Hitachi IT System Configuration Manager - Manager) を異常終了します。

#### (O)

以前にメッセージが出力されていれば、そのメッセージに従って対策してください。出力されていない場合は、csdinfoget コマンドでトラブルシュート情報を収集し、システム管理者に連絡してください。

### KFUD21001-E

ISCM サービス(Hitachi IT System Configuration Manager - Manager)の終了に失敗しました。

#### 説明

このメッセージより前に表示されたメッセージに、終了に失敗した原因が出力されています。

#### (S)

ISCM サービス (Hitachi IT System Configuration Manager - Manager) を異常終了します。

#### (O)

以前に出力されたメッセージに従い、対策してください。

### KFUD21002-E

ISCM サービス(Hitachi IT System Configuration Manager - Manager)を異常終了します。

#### 説明

このメッセージより前に表示されたメッセージに、異常終了した原因が出力されています。

#### (S)

ISCM サービス (Hitachi IT System Configuration Manager - Manager) を異常終了します。

#### (O)

以前に出力されたメッセージに従い、対策してください。

## KFUD21011-E

データ用のディレクトリに読み込み権限がありません。ディレクトリ名=aa....aa

aa....aa : ディレクトリ名 (フルパス)

### 説明

ディレクトリに読み込み権限がありません。

(S)

ISCM を異常終了します。

(O)

ディレクトリの権限を確認してください。

## KFUD21012-E

データ用のディレクトリに書き込み権限がありません。ディレクトリ名=aa....aa

aa....aa : ディレクトリ名 (フルパス)

### 説明

ディレクトリに書き込み権限がありません。

(S)

ISCM を異常終了します。

(O)

ディレクトリの権限を確認してください。

## KFUD21013-E

ディレクトリではなくファイルがあります。ファイル名=aa....aa

aa....aa : ファイル名 (フルパス)

### 説明

ディレクトリではなくファイルがあります。

(S)

ISCM を異常終了します。

(O)

ファイルを消去し、ディレクトリを作成してください。

## KFUD21014-E

ディレクトリの作成に失敗しました。ディレクトリ名=aa....aa

aa....aa : ディレクトリ名 (フルパス)

#### 説明

ディレクトリが作成できません。次の原因が考えられます。

- ディスク障害が発生しました。

(S)

ISCM を異常終了します。

(O)

ディスク障害が発生しているかどうかを確認ください。

### KFUD21020-W

JP1/ITRM が起動していない、または、起動の確認が失敗しました。原因コード=aa....aa。JP1/ITRM を起動したのち csdrscupdate コマンドを実行し、情報更新と ISCM からの接続性を確認してください。

aa....aa : 原因コード

#### 説明

JP1/ITRM が起動していません。

(S)

処理を続行します。

(O)

原因コードに従い、原因個所を調査してください。原因コード (aa....aa) については、マニュアル「JP1/IT Resource Management - Manager リファレンス」の jirmcontrolservice コマンドの戻り値を参照してください。

JP1/ITRM を使用しない場合は、システム定義で deploy.vmdeploy.use に n を指定して ISCM を再起動してください。

### KFUD21102-E

ISCM が異常終了しました。

#### 説明

ISCM が異常終了しました。

(S)

ISCM を異常終了します。

(O)

資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD21110-E

共用メモリのアクセスに失敗しました。

### 説明

共用メモリが作成されていないため、アクセスできませんでした。

#### (S)

ISCM を異常終了します。

#### (O)

システム管理者に連絡してください。

## KFUD21116-E

ISCM サーバのプロセスの起動でタイムアウトしました。

### 説明

ISCM サービスの開始後、10 分以内に ISCM サーバのプロセスの起動が完了しなかったため、タイムアウトしました。

#### (S)

ISCM を異常終了します。

#### (O)

ISCM サービスを再起動してください。繰り返し発生する場合は資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD21118-E

プロセスの起動に失敗しました。プロセス名=aa....aa, 保守情報 1=bb....bb, 保守情報 2=cc....cc

aa....aa：プロセス名 (cjstartapp, cjstartsv, または cprfstart)

bb....bb：保守情報 1 (ExitCode)

cc....cc：保守情報 2 (内部エラーのエラーコード)

### 説明

プロセス (aa....aa) が保守情報 2 のエラーコード (cc....cc) で終了し、プロセスの起動に失敗しました。

#### (S)

ISCM を異常終了します。

(O)

プロセス (aa....aa) が cjstartapp で、かつ保守情報 2 (cc....cc) が 3 の場合  
次の内容を確認したあと、必要に応じて対処してください。

- 前提製品がインストールされているか
- 範囲外のポート番号を指定していないか
- csdsetup.properties で定義している値が正しいか

プロセス (aa....aa) が cjstartapp または cjstartsv の場合

統合トレースログ、およびメッセージログにほかのエラーメッセージが出力されていないかを確認し、必要に応じて対処したあと、ISCM サービスを再起動してください。

繰り返し発生する場合は資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

プロセス (aa....aa) が cprfstart の場合

資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD21121-E

ISCM のプロセスの回復に失敗しました。

説明

ISCM のプロセスの回復に失敗しました。

(S)

ISCM を異常終了します。

(O)

ISCM サービスを再起動してください。

## KFUD21137-W

ISCM サービス(Hitachi IT System Configuration Manager - Manager)が停止されました。

説明

ISCM サービス (Hitachi IT System Configuration Manager - Manager) の開始処理中に、停止要求がありました。

(S)

ISCM を終了します。

(O)

ISCM サービスを再起動してください。

## KFUD21138-E

プロセスが停止しました。プロセス名=aa....aa

aa....aa：プロセス名

#### 説明

プロセスが何らかの原因で終了しました。

(S)

ISCM を異常終了します。

(O)

ISCM サービスを再起動してください。

#### KFUD21139-W

プロセスの停止処理でタイムアウトしました。プロセス名=aa....aa

aa....aa：プロセス名

#### 説明

プロセス (aa....aa) の停止処理でタイムアウトしました。

(S)

ISCM の終了処理を続行します。

(O)

再度サービスを起動する場合は、ISCM サービスを再起動してください。

#### KFUD21144-E

メモリを確保しようとした際、メモリ不足が発生しました。バイト数=aa....aa

aa....aa：確保しようとしたメモリ容量 (単位：バイト)

#### 説明

aa....aa バイトのメモリを確保しようとしてメモリ不足が発生しました。

(S)

ISCM を異常終了します。

(O)

必要なメモリ容量を確保してから再起動してください。繰り返し発生する場合は資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KFUD21145-E

環境情報=aa....aa の取得準備に失敗しました。原因コード 1=bb....bb, 原因コード 2=cc....cc

aa....aa：保守情報 (レジストリ名)

bb....bb：原因コード 1 (errno)

cc....cc：原因コード 2 (エラーコード)

#### 説明

環境情報 (aa....aa) の取得準備に失敗しました。

(S)

ISCM を異常終了します。

(O)

資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

### KFUD21146-W

System Error occurred while starting ISCM service.

#### 説明

ログの初期化に失敗しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

<ISCM のインストールディレクトリ>%mgr%conf 下にシステム定義ファイル (csd.properties) があるかどうかを確認してください。システム定義ファイルがない場合はファイル (csd.properties) を作成してください。システム定義ファイルがある場合は資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

### KFUD21147-E

プロパティファイルの設定値の取得に失敗しました。設定値を見直してください。プロパティファイル名=aa....aa, プロパティキー=bb....bb

aa....aa：プロパティファイル名

bb....bb：プロパティキーの名前

#### 説明

プロパティファイル (aa....aa) の設定値の取得に失敗しました。

(S)

ISCM を異常終了します。

(O)

プロパティファイルの設定値を見直してください。設定値が、数値の場合は範囲内に、文字列の場合は文字列の長さが最大長を超えないように修正してください。そのあと、ISCM サービスを再起動してください。

## KFUD21149-E

ISCM の実行環境はバージョン(aa....aa)の実行環境ではありません。セットアップを完了してから ISCM のサービスを起動して下さい。

aa....aa : ISCM サービスを登録した ISCM のバージョン

### 説明

ISCM のインストール後に、ISCM がセットアップされていません。

(S)

ISCM を異常終了します。

(O)

セットアップコマンドを実行してから再起動してください。

## KFUD21151-E

コマンドプロセスが起動できませんでした。コマンド=aa....aa, 保守情報 1=bb....bb, 保守情報 2=cc....cc

aa....aa : コマンドプロセス名

bb....bb : 保守情報 1 (GetLastError)

cc....cc : 保守情報 2 (内部エラーのエラーコード)

### 説明

コマンドプロセス (aa....aa) が起動できません。

(S)

ISCM を異常終了します。

(O)

資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD21152-E

コマンドプロセスがエラーで終了しました。コマンド=aa....aa, 保守情報 1=bb....bb, 保守情報 2=cc....cc

aa....aa : コマンドプロセス名

bb....bb：保守情報 1 (GetLastError)

cc....cc：保守情報 2 (内部エラーのエラーコード)

#### 説明

コマンドプロセス (aa....aa) がエラーで終了しました。

(S)

ISCM を異常終了します。

(O)

資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

### KFUD21157-E

DB が開始していないため、ISCM の起動に失敗しました。

#### 説明

DB が開始していません。

(S)

ISCM を異常終了します。

(O)

ISCM サービス (Hitachi IT System Configuration Manager - Manager DB Service) を再起動してください。

### KFUD21160-E

JP1/ITRM のインストール先ディレクトリの取得に失敗しました。

#### 説明

JP1/ITRM のインストール先ディレクトリの取得に失敗しました。

(S)

ISCM を異常終了します。

(O)

JP1/ITRM がインストールされているかどうかを確認してください。

JP1/ITRM を使用しない場合は、システム定義で `deploy.vmdeploy.use` に `n` を指定して ISCM を再起動してください。

### KFUD21161-E

統合トレースログの出力先ファイル名の取得に失敗しました。

## 説明

統合トレースログを出力するディレクトリとファイル名の取得に失敗しました。

(S)

ISCM を異常終了します。

(O)

統合トレースログ機能が正常にインストールされているかどうかを確認してください。

## KFUD21162-E

HNTRLib2 のライブラリインストール先パスの取得に失敗しました。

## 説明

HNTRLib2 のライブラリインストール先パスの取得に失敗しました。

(S)

ISCM を異常終了します。

(O)

資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD21201-E

リクエストの実行に必要なユーザ権限がありません。ユーザ名=aa....aa

aa....aa：コマンドを実行したユーザ名

## 説明

リクエストの実行に必要なユーザ権限がありません。

(S)

処理を中断します。

ISCM を操作するためのグループに所属しているかどうかを確認してください。

(O)

ISCM のプロパティファイルで ISCM のグループ名を変更するか、または OS の設定でユーザが所属するグループを変更してください。

## KFUD21202-E

リクエスト送信元のユーザ名が不正です。ユーザ名=aa....aa

aa....aa：リクエストを送信したユーザ名

## 説明

リクエストを送信したユーザ名が不正です。

(S)

処理を中断します。

(O)

ユーザ名に使用できない文字が含まれていないかどうかを確認してください。

## KFUD21204-E

リクエストに指定されたセッション ID が不正です。

### 説明

セッションがタイムアウトしたか、不正なリクエストを受信しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

アクセスログを参照し、不正なアクセスがないかどうかを確認してください。

## KFUD21205-E

ISCM サーバがビジーです。コマンドを再度実行してください。

### 説明

UUID をランダムに生成したところ、生成済みの値と重複しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

csdinfoget コマンドでトラブルシューティング情報を収集し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD21206-E

異常な形式の XML データを受け付けました。スキーマファイル名称=aa....aa

aa....aa：変換に失敗した XML ファイルに関するスキーマファイル名称

### 説明

異常な形式の XML データがクライアントから送られました。

(S)

処理を中断します。

(O)

XML のデータ形式を修正してください。

## KFUD21207-E

リクエストのセッション ID が入力されていません。

### 説明

セッション ID が設定されていません。

(S)

処理を中断します。

(O)

csdinfoget コマンドでトラブルシューティング情報を収集し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD21208-E

パスワード認証に失敗しました。ユーザ名=aa....aa

aa....aa：ユーザ名

### 説明

指定したユーザのパスワード認証に失敗しました。次の原因が考えられます。

- ユーザ名かパスワードが誤っています。
- 対象ユーザアカウントが OS の設定で無効になっているか、ログインを制限されています。
- 対象ユーザアカウントまたはパスワードの有効期限が切れています。
- 対象ホストが OS の設定でネットワーク経由のログインを制限しています。

(S)

処理を中断します。

(O)

ユーザ名、パスワードの指定を見直してください。また、システム管理者に連絡して、対象ユーザがログイン制限されていないかどうか設定を確認してください。

## KFUD21209-E

ユーザの所属グループの取得に失敗しました。ユーザ名=aa....aa

aa....aa：ユーザ名

### 説明

対象ユーザの ISCM での権限を確認するために、所属グループを取得しようとしたのですが、取得ができませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

ユーザ名の指定を見直してください。

## KFUD21300-E

ファイル I/O 処理中にエラーが発生しました。ディスク障害の可能性の他、ファイルがロックされている可能性があります。ファイル名=aa....aa

aa....aa：ファイル名(フルパス)

### 説明

ファイルの入出力エラーが発生しました。次の原因が考えられます。

- ディスク障害があります。
- ファイルがロックされています。

(S)

処理を中断します。

(O)

ディスク障害の有無、ファイルをロックするプロセスの有無を確認してください。

## KFUD21301-E

ISCM サーバへのリクエストで設定されるべきパラメタが設定されていません。パラメタ名=aa....aa

aa....aa：パラメタ名

### 説明

パラメタが設定されていません。

(S)

処理を中断します。

(O)

csdinfoget コマンドでトラブルシューティング情報を収集し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD21302-E

ISCM サーバへのリクエストで設定された値が異常です。パラメタ名=aa....aa, 値=bb....bb

aa....aa：パラメータ名

bb....bb：値

### 説明

リクエストに設定された値が異常です。

(S)

処理を中断します。

(O)

csdinfoget コマンドでトラブルシューティング情報を収集し、システム管理者に連絡してください。

### KFUD21303-E

ISCM サーバへのリクエストで設定された MasterImage の ID が不正な形式です。設定された値 =aa....aa

aa....aa : マスターイメージ ID

#### 説明

リクエストに設定された値が異常です。

(S)

処理を中断します。

(O)

csdinfoget コマンドでトラブルシューティング情報を収集し、システム管理者に連絡してください。

### KFUD21304-E

ISCM サーバへのリクエストで設定された Template の ID が不正な形式です。設定された値=aa....aa

aa....aa : テンプレート ID

#### 説明

リクエストに設定された値が異常です。

(S)

処理を中断します。

(O)

csdinfoget コマンドでトラブルシューティング情報を収集し、システム管理者に連絡してください。

### KFUD21305-E

ISCM サーバへのリクエストで設定された Template または MasterImage の名称に、正しいプレフィックスがついていません。設定されたプレフィックス=aa....aa

aa....aa : プレフィックス

#### 説明

リクエストに設定された値が異常です。

(S)

処理を中断します。

(O)

csdinfoget コマンドでトラブルシューティング情報を収集し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD21306-E

ログファイルの収集に失敗しました。取得対象のファイルが存在しません。

### 説明

取得を要求したファイルが ISCM サーバに存在しませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

要求対象のホスト名が正しいかどうかを確認してください。また、ISCM が対象ファイルを出力しているかどうかを確認してください。

## KFUD21307-E

ライブラリの読み込みに失敗しました。ライブラリ名=aa....aa

aa....aa：ライブラリ名

### 説明

外部ライブラリの読み込みに失敗しました。

(S)

ISCM を異常終了します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD21308-E

リクエストの実行に失敗しました。ユーザ名=aa....aa, 種別=bb....bb

aa....aa：要求元ユーザ名

bb....bb：リクエスト種別

LOGIN：ログイン

SEND\_FILE：ファイル送信

TEMPLATE\_LIST：テンプレート一覧取得

TEMPLATE\_INFO：テンプレート詳細情報取得

TEMPLATE\_FILE：テンプレートファイルダウンロード

TEMPLATE\_ATTACHMENT\_FILE：テンプレート付属ファイルダウンロード

MASTERIMAGE\_LIST：マスターイメージ一覧取得

MASTERIMAGE\_INFO：マスターイメージ詳細情報取得

MASTERIMAGE\_FILE：マスターイメージ定義ファイルダウンロード

MASTERIMAGE\_ATTACHMENT\_FILE：マスターイメージ付属ファイルダウンロード

MASTERIMAGE\_EXPORT：マスターイメージエクスポート

RESOURCE\_INFO：物理リソース情報取得

UCSD\_LOG：uCSD ログダウンロード

## 説明

ユーザからのリクエストの実行中にエラーが発生しました。

### (S)

処理を中断します。

### (O)

このメッセージの前に出力されたメッセージに従い対策してください。

## KFUD21309-W

リクエストの実行で取得に失敗した情報があります。ユーザ名=aa....aa, 種別=bb....bb

aa....aa：要求元ユーザ名

bb....bb：リクエスト種別

TEMPLATE\_INFO：テンプレート詳細情報取得

MASTERIMAGE\_INFO：マスターイメージ詳細情報取得

RESOURCE\_INFO：物理リソース情報取得

## 説明

ユーザから要求された情報で取得に失敗したものがありますが、処理は続行しました。

このメッセージが出力された場合は、この前に出力されたエラーメッセージのあとも処理を続行しています。

(S)

処理を続行します。

(O)

このメッセージの前に出力されたメッセージに従い対策してください。

## KFUD21310-E

ファイルの取得に失敗しました。収集したファイルのサイズが大き過ぎます。ファイル種別=aa....aa

aa....aa：ファイル種別

TEMPLATE\_FILE：テンプレートファイル

TEMPLATE\_ATTACHMENT\_FILE：テンプレート付属ファイル

MASTERIMAGE\_FILE：マスターイメージ定義ファイル

MASTERIMAGE\_ATTACHMENT\_FILE：マスターイメージ付属ファイル

MASTERIMAGE\_EXPORT：マスターイメージエクスポート

UCSD\_LOG：ISCM ログ

### 説明

取得したファイルのサイズが、100MB を超えました。

(S)

処理を中断します。

(O)

ファイル種別が TEMPLATE\_FILE / TEMPLATE\_ATTACHMENT\_FILE の場合  
csdtmpls コマンドで直接ファイルまたはディレクトリを取得してください。

ファイル種別が MASTERIMAGE\_FILE/MASTERIMAGE\_ATTACHMENT\_FILE の場合  
csdmils コマンドで直接ファイルまたはディレクトリを取得してください。

ファイル種別が MASTERIMAGE\_EXPORT の場合  
csdmiexport コマンドで直接スナップショットを取得してください。

ファイル種別が UCSD\_LOG の場合  
ログファイルを直接参照してください。

## KFUD21401-W

無効な定義項目が指定されています。定義項目名=aa....aa, ファイル名=bb....bb

aa....aa：無効な定義項目名

bb....bb：定義ファイル名

#### 説明

定義ファイルに無効な定義項目が指定されています。

(S)

処理を続行します。

(O)

定義項目 (aa....aa) を修正, または削除し, ISCM を再起動してください。

#### KFUD21403-E

無効な値が指定されています。定義項目名=aa....aa, ファイル名=bb....bb

aa....aa：定義項目名

bb....bb：定義ファイル名

#### 説明

定義ファイルに無効な値が指定されています。

(S)

ISCM を異常終了します。

(O)

定義項目 (aa....aa) を修正し, ISCM を再起動してください。

#### KFUD21404-E

ファイルが存在しない, または読み込み権限がありません。ファイル名=aa....aa

aa....aa：ファイル名 (フルパス) ※

注※ ファイル名が 256 バイトを超える場合は, 後ろから 256 バイト分表示します。

#### 説明

次の原因で ISCM を異常終了します。

- ファイルがありません。
- ファイルに読み込み権限がありません。

(S)

ISCM を異常終了します。

(O)

aa....aa に示すファイルがあるかどうかを確認してください。

## KFUD21407-E

定義ファイル中に不正な Unicode エスケープが存在します。ファイル名=aa....aa

aa....aa：ファイル名

### 説明

定義ファイル中に、不正な Unicode エスケープが含まれています。

(S)

ISCM を異常終了します。

(O)

定義ファイルから、不正な Unicode エスケープを削除してください。

## KFUD21408-E

定義解析に失敗しました。

### 説明

無効な値、または無効な定義項目が設定されています。

(S)

処理を中断します。

(O)

統合トレースログに出力される定義解析のエラーメッセージを確認して、定義を修正してください。

## KFUD21409-E

ファイル操作中に I/O エラーが起きました。

### 説明

ディスク障害などの致命的な障害が発生しました。

(S)

ISCM を異常終了します。

(O)

物理ディスクなどを確認してください。

## KFUD21500-E

統合トレースログの初期化に失敗しました。原因コード=aa....aa

aa....aa：原因コード

## 説明

統合トレースログの初期化に失敗しました。

原因コード (aa....aa) の意味を次の表に示します。

原因コード	意味
2	次のどれかの原因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"><li>• ファイルを作成できません。</li><li>• ファイルのオープンに失敗しました。</li><li>• ファイルにアクセス権がありません。</li><li>• ファイルを作成できないパスが指定されています。</li></ul>
3	ファイルのクローズに失敗しました。
4	ファイルの書き込みに失敗しました。
6	ファイルのメモリマッピングに失敗しました。
13	次のどちらかの原因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 指定されたパス中のディレクトリ部分が不正です。</li><li>• ディレクトリが作成できません。</li></ul>
15	ディレクトリの作成に失敗しました。
16	プロセス間の排他制御で排他ロックの獲得に失敗しました。
22	次のどちらかの原因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 日立共通ディレクトリ※に格納された HNTRLlib2 の DLL にアクセスできません。</li><li>• PATH 環境変数の値が不正です。</li></ul>

注※ 日立共通ディレクトリのデフォルト値は、<システムドライブ>:\Program Files\Common Files\Hitachi です。

### (S)

- コマンド側の場合  
コマンドを異常終了します。
- サーバ側の場合  
ISCM を異常終了します。

### (O)

原因コード (aa....aa) が 2, 3, 4, 13, 15 の場合

統合トレースログの出力先の「ディスク空き容量」, 「アクセス権限」, 「パス」を確認してください。  
ISCM が正しくインストールされているかどうかを確認してください。

原因コード (aa....aa) が 6 の場合

- コマンド側のとき  
ISCM サービスが起動しているかどうかを確認してください。
- サーバ側のとき

ISCM サービスが「ローカルシステムアカウント」のアカウントで起動されているかどうかを確認してください。メモリに十分に空きがあるかどうかを確認してください。

原因コード (aa....aa) が 16 の場合

しばらくたってから再度実行してください。

原因コード (aa....aa) が 22 の場合

日立共通ディレクトリ以下の「アクセス権限」を確認してください。PATH 環境変数に日立共通ディレクトリへのパスが設定されているかどうかを確認してください。ISCM を上書きで再インストールし、上書きで再セットアップしてください。

なお、問題が解決しない場合、または原因コードが上記以外の場合は、csdinfoget コマンドでトラブルシューティング情報を収集し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD21501-W

ログの初期化に失敗しました。ログ名=aa....aa, 原因コード=bb....bb, ファイルパス=cc....cc

aa....aa : 初期化に失敗したログの名前

bb....bb : 原因コード

cc....cc : ログファイルのファイル名 (フルパス) ※

注※ ファイル名が 256 バイトを超える場合は、後ろから 256 バイト分表示します。なお、ファイル名の世代番号以降は表示しません。

### 説明

統合トレースログを除く、ログ (aa....aa) の初期化に失敗しました。aa....aa に表示される内容を次に示します。

Access Log : アクセスログ

Command Trace Log : コマンドトレースログ

Message Log : メッセージログ

Module Trace Log : その他のログ

原因コード (bb....bb) の意味を次の表に示します。

原因コード	意味
2	次のどれかの原因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"><li>• ファイルを作成できません。</li><li>• ファイルのオープンに失敗しました。</li><li>• ファイルにアクセス権限がありません。</li><li>• ファイルを作成できないパスが指定されています。</li></ul>
3	ファイルのクローズに失敗しました。
4	ファイルの書き込みに失敗しました。

原因コード	意味
6	ファイルのメモリマッピングに失敗しました。
13	次のどちらかの原因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>指定されたパス中のディレクトリ部分が不正です。</li> <li>ディレクトリが作成できません。</li> </ul>
15	ディレクトリの作成に失敗しました。
16	プロセス間の排他制御で排他ロックの獲得に失敗しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

原因コード (bb....bb) が 2, 3, 4, 13, 15 の場合

aa....aa に示すログの出力先の「ディスク空き容量」, 「アクセス権限」, 「パス」を確認してください。ISCM が正しくインストールされているかどうかを確認してください。

原因コード (bb....bb) が 6 の場合

- コマンド側のとき  
ISCM サービスが起動しているかどうかを確認してください。
- サーバ側のとき  
ISCM サービスが「ローカルシステムアカウント」のアカウントで起動されているかどうかを確認してください。メモリに十分に空きがあるかどうかを確認してください。

原因コード (bb....bb) が 16 の場合

ログ出力に失敗したおそれがあります。実行結果を確認し、問題があれば、しばらくたってから再度実行してください。

なお、問題が解決しない場合、または原因コードが上記以外の場合は、csdinfoget コマンドでトラブルシューティング情報を収集し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD21502-W

ログの出力に失敗しました。ログ名=aa....aa, 原因コード=bb....bb, メッセージ ID=cc....cc, メッセージ=dd....dd

aa....aa : 出力に失敗したログの名前

bb....bb : 原因コード

cc....cc : 出力に失敗したメッセージのメッセージ ID

dd....dd : 出力に失敗したメッセージ

## 説明

ログ (aa....aa) の出力に失敗しました。aa....aa に表示される内容を次に示します。

Access Log：アクセスログ

Command Trace Log：コマンドトレースログ

Integration Trace Log：統合トレースログ

Message Log：メッセージログ

Module Trace Log：その他のログ

原因コード (bb....bb) の意味を次の表に示します。

原因コード	意味
2	次のどれかの原因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"><li>• ファイルを作成できません。</li><li>• ファイルのオープンに失敗しました。</li><li>• ファイルにアクセス権がありません。</li><li>• ファイルを作成できないパスが指定されています。</li></ul>
3	ファイルのクローズに失敗しました。
4	ファイルの書き込みに失敗しました。
6	ファイルのメモリマッピングに失敗しました。
13	次のどちらかの原因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 指定されたパス中のディレクトリ部分が不正です。</li><li>• ディレクトリが作成できません。</li></ul>
15	ディレクトリの作成に失敗しました。
16	プロセス間の排他制御で排他ロックの獲得に失敗しました。

## (S)

処理を続行します。

## (O)

原因コード (bb....bb) が 2, 3, 4, 13, 15 の場合

aa....aa に示すログの出力先の「ディスク空き容量」, 「アクセス権限」, 「パス」を確認してください。ISCM が正しくインストールされているかどうかを確認してください。

原因コード (bb....bb) が 6 の場合

- コマンド側のとき

ISCM サービスが起動しているかどうかを確認してください。

- サーバ側のとき

ISCM サービスが「ローカルシステムアカウント」のアカウントで起動されているかどうかを確認してください。メモリに十分に空きがあるかどうかを確認してください。

原因コード (bb....bb) が 16 の場合

ログ出力に失敗したおそれがあります。実行結果を確認し、問題があれば、しばらくたってから再度実行してください。

なお、問題が解決しない場合、または原因コードが上記以外の場合は、csdinfoget コマンドでトラブルシューティング情報を収集し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD21600-E

タイムアウトを検知しました。

### 説明

タイムアウトが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

必要に応じて、タイムアウト時間を定義で変更してください。

## KFUD21601-E

タイムアウトの要因=aa....aa, 詳細=bb....bb

aa....aa：原因コード (UOC, jirmvmdeploy, jirmnodeoperation, jirmvmdel, jirmstatuschange, または発生した例外の getMessage() の値)

bb....bb：詳細コード (UOC の種類など, 処理内容の種類)

### 説明

要因 (aa....aa) および詳細 (bb....bb) に対応する処理が、定義で決定した時間内に終了しませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

原因コードが UOC の場合

UOC 内で時間が掛かる処理を見直してください。

原因コードが jirmvmdeploy, jirmnodeoperation, jirmvmdel, または jirmstatuschange の場合

必要に応じて、タイムアウト時間を定義 (定義ファイル: csd.properties, 定義名: deploy.cmdtimer) で変更してください。

原因コードが上記以外の場合

csdinfoget コマンドでトラブルシューティング情報を収集し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD21800-E

ファイル、またはディレクトリの入出力に失敗しました。対象パス=aa....aa, 出力先パス=bb....bb

aa....aa : 圧縮 (解凍) 対象のファイル, およびディレクトリ名 (フルパス) ※

bb....bb : 出力先ディレクトリのディレクトリ名 (フルパス) ※

注※ パス長が 247 文字を超える場合は、後ろから 247 文字分表示します。

### 説明

ファイル、またはディレクトリでエラーが発生しました。次の原因が考えられます。

- I/O エラーが発生しました。
- ファイル、またはディレクトリにアクセス権がありません。
- ディスク容量が不足しています。

### (S)

処理を中断します。

### (O)

ディスク容量、またはディレクトリおよびファイルの権限を確認してください。

## KFUD21801-E

テンポラリディレクトリの作成に失敗しました。パス=aa....aa

aa....aa : ディレクトリ名 (フルパス) ※

注※ パス長が 247 文字を超える場合は、後ろから 247 文字分表示します。

### 説明

テンポラリディレクトリを作成できません。次の原因が考えられます。

- ディレクトリにアクセス権がありません。
- ディスク容量が不足しています。
- 作業ディレクトリがありません。

### (S)

処理を中断します。

### (O)

ディスク容量、ディレクトリの有無、または権限を確認してください。

ISCM インストール後または userdata.filepath の指定値を変更後、ISCM サービス (Hitachi IT System Configuration Manager - Manager) を一度も開始したことがない場合は、ISCM サービス (Hitachi IT System Configuration Manager) 開始後に、再度コマンドを実行してください。

## KFUD21802-E

対象ディレクトリが存在しません。パス=aa....aa

aa....aa：ディレクトリ名（フルパス）※

注※ パス長が 247 文字を超える場合は、後ろから 247 文字分表示します。

### 説明

指定したディレクトリが見つかりません。次の原因が考えられます。

- 不正なディレクトリパスを指定しました。
- ディレクトリにアクセス権限がありません。

(S)

処理を中断します。

(O)

ディレクトリの有無、または権限を確認してください。

## KFUD21803-E

対象ディレクトリの中身が空です。パス=aa....aa

aa....aa：ディレクトリ名（フルパス）※

注※ パス長が 247 文字を超える場合は、後ろから 247 文字分表示します。

### 説明

指定したディレクトリは空です。次の原因が考えられます。

- 対象ディレクトリ内にファイル、またはディレクトリがありません。
- 対象ディレクトリ内のファイル、またはディレクトリにアクセス権限がありません。

(S)

処理を中断します。

(O)

ファイル、およびディレクトリの有無、または権限を確認してください。

## KFUD21804-E

対象ファイルが存在しません。パス=aa....aa

aa....aa：ファイル名（フルパス）※

注※ パス長が 247 文字を超える場合は、後ろから 247 文字分表示します。

## 説明

指定したファイルが見つかりません。次の原因が考えられます。

- 不正なディレクトリパスを指定しました。
- ファイルにアクセス権がありません。

(S)

処理を中断します。

(O)

ファイルの有無, または権限を確認してください。

## KFUD21805-W

テンポラリディレクトリの削除に失敗しました。パス=aa....aa

aa....aa : ファイル名, またはディレクトリ名 (フルパス) ※

注※ パス長が 247 文字を超える場合は, 後ろから 247 文字分表示します。

## 説明

テンポラリディレクトリを削除できません。次の原因が考えられます。

- ファイル, またはディレクトリがありません。
- ファイル, またはディレクトリにアクセス権がありません。

(S)

処理を続行します。

(O)

ファイル, およびディレクトリの有無, または権限を確認してください。不要なテンポラリディレクトリは削除してください。

## KFUD21806-E

同名のファイルが存在します。パス=aa....aa

aa....aa : ファイル名 (フルパス) ※

注※ パス長が 247 文字を超える場合は, 後ろから 247 文字分表示します。

## 説明

指定した名称と同じ名称のファイルがあります。次の原因が考えられます。

- 不正なパスを指定しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

ファイルを確認してください。

## KFUD21807-E

対象ディレクトリの中身が空ではありません。パス=aa....aa

aa....aa：ディレクトリ名（フルパス）※

注※ パス長が 247 文字を超える場合は、後ろから 247 文字分表示します。

### 説明

指定したディレクトリは空ではありません。次の原因が考えられます。

- 不正なパスを指定しました。
- ディレクトリにアクセス権限がありません。

(S)

処理を中断します。

(O)

ディレクトリの有無、または権限を確認してください。

## KFUD21808-E

対象ファイル、または対象ディレクトリのパス長が制限を超えています。パス=aa....aa

aa....aa：ファイル、およびディレクトリ名（フルパス）※

注※ パス長が 247 文字を超える場合は、後ろから 247 文字分表示します。

### 説明

対象ファイル、またはディレクトリのフルパスの文字数が 248 文字以上です。

(S)

処理を中断します。

(O)

ファイル、またはディレクトリのパス長を確認してください。

## KFUD21809-E

圧縮ファイル内のファイル、またはディレクトリのパスが不正な形式です。ファイル名=aa....aa、パス=bb....bb

aa....aa：圧縮ファイル名（フルパス）※

bb....bb：エラーの発生した圧縮ファイル内のファイル，およびディレクトリ。名前の取得ができなかった場合は"\*"※

注※ パス長が 247 文字を超える場合は，後ろから 247 文字分表示します。

## 説明

圧縮ファイルに格納されているファイル，またはディレクトリのパスが不正なため，取得できませんでした。次の要因が考えられます。

- ファイルまたはディレクトリの名前に半角英数字，半角記号以外で，かつ UTF-8 以外の文字コードを使用しています（パスは"\*"を出力します）。
- ファイルまたはディレクトリが絶対パスで格納されています。
- ファイルまたはディレクトリの出力先が，カレントディレクトリ，そのサブディレクトリ以外のパスになっています（格納パスに".."が使われていて上位ディレクトリを指している場合など）。

(S)

処理を中断します。

(O)

入力に使用した圧縮ファイルの内容を確認してください。

## KFUD21810-W

JP1/ITRM コマンドの実行に失敗しました。コマンド=aa....aa，コマンドライン=(bb....bb)

aa....aa：実行したコマンド名

bb....bb：実行したコマンドライン。コマンド実行中に ISCM でスレッド割り込みや I/O エラーなどが発生した場合は"\*"

## 説明

ISCM から実行した JP1/ITRM のコマンドでエラーが発生しました。

(S)

処理を継続します。

(O)

このあとに出力される [KFUD21811-W](#) メッセージから要因を確認してください。

JP1/ITRM を使用しない場合は，システム定義で `deploy.vmdeploy.use` に `n` を指定して ISCM を再起動してください。

## KFUD21811-W

詳細=(aa....aa)

aa....aa：コマンドが出力したメッセージ。コマンド実行中に ISCM でスレッド割り込みや I/O エラーなどが発生した場合は例外情報

## 説明

JP1/ITRM のコマンドが出力したメッセージを出力します。JP1/ITRM のコマンドの実行中に ISCM でスレッド割り込みや I/O エラーなどが発生した場合は例外情報を出力します。

(S)

処理を継続します。

(O)

詳細に出力されたメッセージから要因を確認して、対処後に csdrscupdate コマンドを実行してください。問題が解決しない場合、または詳細に例外情報が出力された場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD21812-E

JP1/ITRM コマンドの実行に失敗しました。コマンド=aa....aa, コマンドライン=(bb....bb)

aa....aa：実行したコマンド名

bb....bb：実行したコマンドライン。コマンド実行中に ISCM でスレッド割り込みや I/O エラーなどが発生した場合は"\*"

## 説明

ISCM から実行した JP1/ITRM のコマンドでエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

このあとに出力される [KFUD21813-E](#) メッセージから要因を確認してください。

JP1/ITRM を使用しない場合は、システム定義で `deploy.vmdeploy.use` に `n` を指定して ISCM を再起動してください。

## KFUD21813-E

詳細=(aa....aa)

aa....aa：コマンドが出力したメッセージ。コマンド実行中に ISCM でスレッド割り込みや I/O エラーなどが発生した場合は例外情報

## 説明

JP1/ITRM のコマンドが出力したメッセージを出力します。JP1/ITRM のコマンドの実行中に ISCM でスレッド割り込みや I/O エラーなどが発生した場合は例外情報を出力します。

(S)

処理を中断します。

(O)

詳細に出力されたメッセージから要因を確認して、対処後に再度処理を実行してください。問題が解決しない場合、または詳細に例外情報が出力された場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD22001-E

DB の起動に失敗しました。

説明

DB の起動に失敗しました。

(S)

ISCM を異常終了します。

(O)

csdinfoget コマンドでトラブルシューティング情報を収集し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD22101-E

DB でエラーが発生しました。処理が継続できません。

説明

DB でエラーが発生しました。処理が継続できません。

(S)

ISCM を異常終了します。

(O)

csdinfoget コマンドでトラブルシューティング情報を収集し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD22102-E

DB に接続できないため、処理が継続できません。

説明

DB に接続できないため、処理が継続できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

DB サービスを再起動し、操作を再度実行してください。

解決しない場合は、csdinfoget コマンドでトラブルシューティング情報を収集し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD22103-E

DB の処理に必要なメモリが不足しています。

### 説明

DB の処理に必要なメモリが不足しています。

#### (S)

処理を中断します。

#### (O)

実行に必要なメモリを確保し、再度実行してください。

解決しない場合は、csdinfoget コマンドでトラブルシューティング情報を収集し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD22104-E

DB の処理でタイムアウトが発生しました。原因コード=aa....aa

aa....aa：原因コード

### 説明

DB の処理でタイムアウトが発生しました。

原因コード (aa....aa) の意味を次の表に示します。

原因コード	意味
LOCK_WAIT	排他待ちによって、DB への要求がタイムアウトしました。
MAX_USER	DB への接続数が最大同時接続数を超過しました。
SQL_RESPONSE	時間内に DB からの応答がありませんでした。

#### (S)

処理を中断します。

#### (O)

原因コードに従って対処を実施してください。

原因コードが LOCK\_WAIT の場合

しばらく時間をおいたあと、操作を再度実行してください。

解決しない場合は、必要に応じて csd\_receive\_timeout の値を見直してください。

原因コードが MAX\_USER または SQL\_RESPONSE の場合

csdinfoget コマンドでトラブルシューティング情報を収集し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD22107-E

DB アクセス時にエラーが発生しました。保守情報=aa....aa

aa....aa：保守情報（DB アクセス時に発生した例外情報）

### 説明

DB へのアクセス時にエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD23006-E

同じ名前のテンプレートが既に登録されています。

### 説明

テンプレートを登録、または更新（名称変更）しようとしたが、同じ名前のテンプレートはすでに登録されています。

(S)

処理を中断します。

(O)

テンプレートファイル内のテンプレート名を変更して、再度コマンドを実行してください。

## KFUD23010-E

指定したテンプレートは上書きできません。

### 説明

テンプレートを更新しようとしたが、上書き不可の属性になっています。

(S)

処理を中断します。

(O)

csdtmcontrol コマンドでテンプレートの上書き属性を変更してから、再度コマンドを実行してください。

## KFUD23012-E

指定したテンプレートは使用中です。

## 説明

指定したテンプレートをマスターイメージが使用しているため、テンプレートに対する要求を受け付けられません。

(S)

処理を中断します。

(O)

テンプレートを更新、属性変更、または削除するためには、テンプレートを使用しているマスターイメージを削除する必要があります。

## KFUD23013-E

指定したテンプレートに対する要求が実行中です。

## 説明

テンプレートを登録中、更新中、属性変更中、もしくは削除中、またはテンプレートファイル取得中のため、テンプレートに対する要求を受け付けられません。

(S)

処理を中断します。

(O)

実行中の要求が完了してから、再度コマンドを実行してください。

## KFUD23014-E

指定したテンプレートが存在しません。

## 説明

指定したテンプレート ID、またはテンプレート名に対応するテンプレートが登録されていません。

(S)

処理を中断します。

(O)

csdtmlpls コマンドでテンプレート ID、またはテンプレート名を確認して、再度コマンドを実行してください。

## KFUD23015-E

内部矛盾が発生しました。保守情報=aa....aa

aa....aa：保守情報（エラーコード）

## 説明

内部矛盾が発生しました。

(S)

ISCM を異常終了します。

(O)

csdinfoget コマンドでトラブルシューティング情報を収集し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD23016-E

内部矛盾が発生しました。

### 説明

内部矛盾が発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

csdinfoget コマンドでトラブルシューティング情報を収集し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD23017-E

サポートしていない操作が要求されました。操作種別=aa....aa, 保守情報=bb....bb

aa....aa : 操作種別

LIST : テンプレート参照

bb....bb : 保守情報

UNSUPPORTED\_INFO : 未サポートの情報取得が要求された場合

### 説明

サポートしていない操作が要求されました。次の原因が考えられます。

- 要求元のサービステンプレートに対して、ISCM サーバのバージョンが古いです。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の対策をしてください。

- ISCM サーバのバージョンが要求元のサービステンプレートの前提バージョンであるか確認してください。バージョンが古い場合、ISCM サーバのバージョンを更新してから再度実行してください。
- 上記で解決しない場合、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD23103-E

同じ名前のマスターイメージが既に登録されています。

### 説明

マスターイメージ名が重複しています。

(S)

処理を中断します。

(O)

マスターイメージ定義ファイル内のマスターイメージ名を変更して、再度コマンドを実行してください。

## KFUD23104-E

指定したマスターイメージが登録されていません。

### 説明

指定したマスターイメージは登録されていません。

(S)

処理を中断します。

(O)

csdmils コマンドでマスターイメージ ID、またはマスターイメージ名を確認して、再度コマンドを実行してください。

## KFUD23105-E

指定したマスターイメージの状態が不正です。

### 説明

指定したマスターイメージは、コマンドで指定された要求を受け付けられない状態です。

(S)

処理を中断します。

(O)

csdmils コマンドでマスターイメージの状態を確認して、再度コマンドを実行してください。

## KFUD23106-E

指定したマスターイメージ名・セクションまたはマスターイメージ ID が不正です。

### 説明

指定したマスターイメージ名とセクション、またはマスターイメージ ID に対応するマスターイメージが登録されていません。

(S)

処理を中断します。

(O)

csdmils コマンドでマスターイメージ名とセクション, またはマスターイメージ ID を確認して, 再度コマンドを実行してください。

## KFUD23107-E

マスターイメージのスナップショットに必要なファイルが存在しません。ファイル名=aa....aa

aa....aa : ファイル名

### 説明

マスターイメージのスナップショットに必要なファイルがありません。

(S)

処理を中断します。

(O)

csdmiregister コマンドの-m オプションに指定したディレクトリを見直してください。または, csdmiexport コマンドでマスターイメージをエクスポートして, 再度コマンドを実行してください。

## KFUD23108-E

リソース予約済みのホストがあります。

### 説明

マスターイメージにリソース予約済みのホストがあるため, 処理を続行できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

csdmirelease コマンドでリソース予約を解除して, 再度コマンドを実行してください。

## KFUD23109-E

マスターイメージに登録するホスト数が最大値を超えています。ホスト数=aa....aa

aa....aa : ホスト数

### 説明

マスターイメージに登録するホスト数の合計が最大値を超えています。

(S)

処理を中断します。

- (O)  
使用するテンプレートファイルとサイジング UOC を見直して、再度コマンドを実行してください。

#### KFUD23110-E

マスターイメージ定義ファイルに指定したコンポーネント ID 数が構成パターンテンプレートファイルと不一致です。

#### 説明

マスターイメージ定義ファイルに指定したコンポーネント ID 数が不正です。

- (S)  
処理を中断します。

- (O)  
マスターイメージ定義ファイルの構成を見直して、再度コマンドを実行してください。

#### KFUD23113-E

マスターイメージ定義ファイルに指定したテンプレートが存在しません。テンプレート名=aa....aa

aa....aa : テンプレート名

#### 説明

マスターイメージ定義ファイルで指定したテンプレートが、ISCM に登録されていません。

- (S)  
処理を中断します。

- (O)  
マスターイメージ定義ファイル内のテンプレート名を見直して、再度コマンドを実行してください。

#### KFUD23114-E

マスターイメージ定義ファイルに指定した値が不正です。原因コード=aa....aa, 値=bb....bb

aa....aa : 原因コード

bb....bb : 値

#### 説明

マスターイメージ定義ファイルで指定したパラメータが不正です。

原因コード (aa....aa) の意味を次の表に示します。

原因コード	意味
COMPONENT_ID	コンポーネント ID が不正です。

原因コード	意味
MIDDLEWARE_ID	ミドルウェア識別子が不正です。
TEMPLATE_NAME	構成パターンテンプレートファイル、またはコンポーネントテンプレートファイルの名前が不正です。
VLAN_ID	VLAN ID が不正です。
SECTION_NAME	マスターイメージ定義ファイルのセクション名が不正です。

(S)

処理を中断します。

(O)

マスターイメージ定義ファイルと、使用するテンプレートファイルを見直して、再度コマンドを実行してください。

## KFUD23115-E

サイジング UOC から不正な値が返されました。原因コード=aa....aa

aa....aa：原因コード

### 説明

サイジング UOC の出力結果が不正です。

原因コード (aa....aa) の意味を次の表に示します。

原因コード	意味
INVALID	次のどちらかの原因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>戻り値のリストに必要なコンポーネント ID が設定されていません。</li> <li>java.util.Properties クラスのキー、または設定値が不正です。</li> </ul>
NONE	戻り値、または戻り値の内部クラスに null が設定されました。
NUMBER	戻り値のリストの要素数が、コンポーネント ID 数と不一致です。

(S)

処理を中断します。

(O)

サイジング UOC を見直して、再度コマンドを実行してください。

## KFUD23117-E

マスターイメージ定義ファイルとインポート元マスターイメージのスナップショットの構成が一致しません。

## 説明

マスターイメージ定義ファイルと、インポート元マスターイメージのスナップショットのコンポーネント ID 数が不一致です。

(S)

処理を中断します。

(O)

マスターイメージ定義ファイルの構成を見直して、再度コマンドを実行してください。

## KFUD23118-E

マスターイメージ定義ファイルとコピー元マスターイメージの構成が一致しません。

## 説明

マスターイメージ定義ファイルと、コピー元マスターイメージのコンポーネント ID 数が不一致です。

(S)

処理を中断します。

(O)

マスターイメージ定義ファイルの構成を見直して、再度コマンドを実行してください。

## KFUD23119-E

指定したマスターイメージに対する要求が実行中です。

## 説明

マスターイメージに対する要求が実行中のため、新たな要求を受け付けられません。

(S)

処理を中断します。

(O)

実行中の要求が完了してから、再度コマンドを実行してください。

## KFUD23120-E

マスターイメージ定義ファイルのパッチ情報が不正です。原因コード=aa....aa, パッチ名=bb....bb

aa....aa : 原因コード

bb....bb : パッチ名

## 説明

マスターイメージ定義ファイルに記述されたパッチ情報が誤っているため、マスターイメージを登録、または更新できません。

原因コード (aa....aa) の意味を次の表に示します。

原因コード	意味
CANNOT_MODIFY	適用済みのパッチを変更しようとしています。
MISSING	適用済みのパッチがマスターイメージ定義ファイルに指定されていません。
ORDER	パッチの適用順序が不正です。適用済みパッチよりも大きい値にしてください。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
原因コードに基づいてマスターイメージ定義ファイルを見直して、再度コマンドを実行してください。

### KFUD23121-E

マスターイメージ定義ファイルに指定したテンプレートが不正です。テンプレート名=aa....aa

aa....aa：テンプレート名

#### 説明

マスターイメージ定義ファイルに記述されたテンプレートファイルがありません。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
マスターイメージ定義ファイルと、使用するテンプレートファイルを見直して、再度コマンドを実行してください。

### KFUD23122-E

マスターイメージ定義ファイルと、登録済みマスターイメージの構成が一致しません。原因コード=aa....aa, 値=bb....bb

aa....aa：原因コード

bb....bb：値

#### 説明

マスターイメージ定義ファイルの内容が、更新対象のマスターイメージの構成と一致していません。  
原因コード (aa....aa) の意味を次の表に示します。

原因コード	意味
COMPONENT_ID	値 (bb....bb) が示すコンポーネント ID が不正です。

原因コード	意味
TEMPLATE_NAME	値 (bb....bb) が示す構成パターンテンプレートファイル, またはコンポーネントテンプレートファイルの名前が不正です。
VLAN_ID	値 (bb....bb) が示す VLAN ID が不正です。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
原因コードに基づいてマスターイメージ定義ファイルを見直して, 再度コマンドを実行してください。

## KFUD23123-E

リソース予約処理中にエラーが発生しました。

### 説明

リソース予約中にサーバでエラーを検知しました。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
別に出力されるエラーメッセージを基に, 原因を調査してください。

## KFUD23124-E

マスターイメージ更新中にエラーが発生しました。

### 説明

マスターイメージ更新中にサーバでエラーを検知しました。

- (S)  
処理を中断します。
- (O)  
別に出力されるエラーメッセージを基に, 原因を調査してください。

## KFUD23125-E

サイジング UOC から不正な値が返されました。原因コード=aa....aa, コンポーネント ID=bb....bb, Key=(cc....cc), Value=(dd....dd)

aa....aa : 原因コード

bb....bb : コンポーネント ID

cc....cc : キー

dd....dd : 値

## 説明

サイジング UOC の出力結果で、キー、または値が不正です。

原因コード (aa....aa) の意味を次の表に示します。

原因コード	意味
DUPLICATE	重複した値を指定しました。
INVALID	次のどれかの原因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 使用できない文字です。</li><li>• テンプレートと、コンポーネント ID, ミドルウェア識別子などが不一致です。</li><li>• 不正なキーです。</li></ul>
LENGTH	指定できない長さの文字列です。
MISSING	必須項目を省略しました。
RANGE	指定できない値です。

(S)

処理を中断します。

(O)

サイジング UOC を見直して、再度コマンドを実行してください。

## KFUD23126-E

マスターイメージ定義ファイルに指定したコンポーネントテンプレートファイルのティア情報が、構成パターンテンプレートファイルと不整合です。コンポーネントテンプレートファイル名=aa....aa

aa....aa : コンポーネントテンプレートファイル名 (コンポーネントテンプレートファイルに記載したテンプレート名)

## 説明

コンポーネントテンプレートファイルに記述されたティア定義数またはティア名が、構成パターンテンプレートファイルと不一致であるため、マスターイメージを登録、または更新できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

マスターイメージ定義ファイルと、使用するテンプレートファイルを見直して、再度コマンドを実行してください。

## KFUD23127-E

マスターイメージ定義ファイルに指定したコンポーネントテンプレートファイルの NIC 情報が、構成パターンテンプレートファイルと不整合です。コンポーネントテンプレートファイル名=aa....aa

aa....aa：コンポーネントテンプレートファイル名（コンポーネントテンプレートファイルに記載したテンプレート名）

### 説明

コンポーネントテンプレートファイルに記述された NIC 定義数が、構成パターンテンプレートファイルの接続先ネットワーク定義数より少ないため、マスターイメージを登録、または更新できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

マスターイメージ定義ファイルと、使用するテンプレートファイルを見直して、再度コマンドを実行してください。

## KFUD23128-E

マスターイメージ定義ファイルに指定したテンプレートの種別が不正です。テンプレート名=aa....aa

aa....aa：テンプレート名

### 説明

マスターイメージ定義ファイルに記述されたテンプレートの種別が不正であるため、マスターイメージを登録、または更新できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

マスターイメージ定義ファイルと、使用するテンプレートファイルを見直して、再度コマンドを実行してください。

## KFUD23129-E

マスターイメージ定義ファイルに指定したテンプレートに対する要求が実行中です。テンプレート名=aa....aa

aa....aa：テンプレート名

### 説明

マスターイメージ定義ファイルに記述されたテンプレートを操作中のため、マスターイメージを登録、または更新できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

マスターイメージ定義ファイルと、使用するテンプレートファイルを確認して、再度コマンドを実行してください。

## KFUD23130-E

サポートしていない操作が要求されました。操作種別=aa....aa, 保守情報=bb....bb

aa....aa : 操作種別

LIST : マスターイメージ参照

bb....bb : 保守情報

UNSUPPORTED\_INFO : 未サポートの情報取得が要求された場合

### 説明

サポートしていない操作が要求されました。次の原因が考えられます。

- 要求元のサービステンプレートに対して、ISCM サーバのバージョンが古いです。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の対策をしてください。

- ISCM サーバのバージョンが要求元のサービステンプレートの前提バージョンであるか確認してください。バージョンが古い場合、ISCM サーバのバージョンを更新してから再度実行してください。
- 上記で解決しない場合、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD23131-E

マスターイメージ定義ファイルに指定したコンポーネントテンプレートファイルの情報が、構成パターンテンプレートファイルと不整合です。原因コード=aa....aa, テンプレート名=bb....bb

aa....aa : 原因コード

LoadBalancerServiceIpId : ロードバランサ業務 IP 識別子不正

LoadBalancer : ロードバランサ使用有無

bb....bb : コンポーネントテンプレートのテンプレート名

## 説明

コンポーネントテンプレートファイルに書かれた構成パターンテンプレートファイルの構成と一致しないため、マスターイメージを登録または更新できません。

原因コードに LoadBalancerServiceIpId が出力された場合：

- コンポーネントテンプレートファイルに記載したロードバランサ業務 IP 識別子と同じ名称を持つ、構成パターンテンプレートの接続先ネットワークの用途が存在しません。
- コンポーネントテンプレートファイルにロードバランサ業務 IP 識別子を記載していないが、構成パターンテンプレートの接続先ネットワークに業務 LAN を複数定義しています。

原因コードに LoadBalancer が出力された場合：

- コンポーネントテンプレートファイルにロードバランサを使用と定義しているが、構成パターンテンプレートの接続先ネットワークに業務 LAN が定義されていません。

## (S)

処理を中断します。

## (O)

マスターイメージ定義ファイルと使用するテンプレートファイルを見直して、再度コマンドを実行してください。

## KFUD23132-E

マスターイメージ定義ファイルに指定したコンポーネントテンプレートと構成パターンテンプレート間に不整合があるため、この組み合わせで使用できません。

コンポーネントテンプレート名=aa....aa, 親要素=bb....bb, 要素=cc....cc, 属性=dd....dd, 値=ee....ee, 構成パターンテンプレート名=ff....ff, 親要素=gg....gg, 要素=hh....hh, 属性=ii....ii, 値=jj....jj

aa....aa：マスターイメージ定義ファイルに指定したコンポーネントテンプレート名

bb....bb："VirtualSystem(id=xxx)"

cc....cc："ProductSection"

dd....dd："class"

ee....ee："pp.xxx"

注 xxx：hitachi.Cosminexus 以外のミドルウェア識別子

ff....ff：マスターイメージ定義ファイルに指定した構成パターンテンプレート名

gg....gg："ProductSection(class=tier.xxx)"

hh....hh："Property"

ii....ii : "key"

jj....jj : "tiertype"

#### 説明

コンポーネントテンプレートに指定したミドルウェア識別子が hitachi.Cosminexus 以外で、構成パターンテンプレートにティア種別が指定されています。

#### (S)

処理を中断します。

#### (O)

次のどちらかを実行してください。

- コンポーネントテンプレートにミドルウェア識別子 hitachi.Cosminexus を指定して構成パターンテンプレートにティア種別を指定してください。
- コンポーネントテンプレートにミドルウェア識別子 hitachi.Cosminexus 以外を指定して構成パターンテンプレートでティア種別を指定しないようにして再度コマンドを実行してください。

### KFUD23133-E

物理ホストの情報取得に失敗しました。IP アドレス=aa....aa

aa....aa : 物理ホストの IP アドレス

#### 説明

物理ホストの情報がデータベースに存在しませんでした。データベースの情報が欠損している可能性があります。

#### (S)

処理を中断します。

#### (O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

### KFUD23137-E

マスターイメージ定義ファイルに指定したコンポーネントテンプレートファイルに、同じマスターイメージで使用できない組み合わせがあります。原因コード=aa....aa, テンプレート名 1=bb....bb, テンプレート名 2=cc....cc

aa....aa : 原因コード

bb....bb : コンポーネントテンプレート名 1

cc....cc : コンポーネントテンプレート名 2

## 説明

マスターイメージ定義ファイルで指定されたコンポーネントテンプレートに、同じマスターイメージで使用できない組み合わせがあります。

原因コード (aa....aa) の意味を次の表に示します。

原因コード	意味
HYPERVISOR_TYPE	同じマスターイメージで使用できないハイパーバイザ種別の組み合わせがあります。

### (S)

処理を中断します。

### (O)

マスターイメージ定義ファイルを見直し、組み合わせ可能なコンポーネントテンプレートファイルを指定して再度コマンドを実行してください。

## KFUD23138-E

マスターイメージ定義ファイルに指定したコンポーネントテンプレートファイルは、現在のシステム定義ファイルの指定では使用できません。プロパティ名=aa....aa, 指定値=bb....bb, テンプレート名=cc....cc

aa....aa：システム定義のプロパティ名

bb....bb：プロパティの指定値

cc....cc：コンポーネントテンプレート名

## 説明

現在のシステム定義ファイルの指定では使用できないコンポーネントテンプレートをマスターイメージ定義ファイルに記載しています。

### (S)

処理を中断します。

### (O)

PaaS 利用者の場合：マスターイメージ定義ファイルを見直し、使用可能なコンポーネントテンプレートファイルを指定して再度コマンドを実行してください。問題が解決しない場合は、PaaS 提供者に連絡してください。

PaaS 提供者の場合：システム定義ファイルの設定を見直してください。

## KFUD23139-E

指定したマスターイメージは仮想ホストのデプロイを行わない設定のため、要求された操作を実行できません。

## 説明

指定したマスターイメージで使用しているコンポーネントテンプレートは仮想ホストのデプロイを行わない設定になっているため、要求された操作は実行できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

仮想ホストのデプロイを行わない場合は、実行するコマンドの手順を見直して、正しいコマンドを実行してください。

仮想ホストのデプロイを行う場合は、マスターイメージ定義ファイルおよびコンポーネントテンプレートファイルの設定を見直してください。

## KFUD23150-E

内部矛盾が発生しました。保守情報=aa....aa

aa....aa：保守情報（エラーコードまたは設計書名）

## 説明

内部矛盾が発生しました。

(S)

ISCM を異常終了します。

(O)

csdinfoget コマンドでトラブルシュート情報を収集し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD23201-E

入力 XML ファイルのフォーマットが不正です。ファイル種別=aa....aa, 要因=bb....bb

aa....aa：ファイル種別

bb....bb：XML パーサーが出力するメッセージ

## 説明

入力 XML ファイル (aa....aa) の形式が、XML スキーマに従っていません。

aa....aa に表示される内容を次に示します。

COMPONENT\_TEMPLATE：コンポーネントテンプレートファイル

PATTERN\_TEMPLATE：構成パターンテンプレートファイル

TEMPLATE\_FILE：テンプレートファイル

MASTERIMAGE\_DEFINE：マスターイメージ定義ファイル

MASTERIMAGE\_OVF：マスターイメージ構成ファイル

(S)

処理を中断します。

(O)

要因 (bb...bb) の内容を確認してください。

## KFUD23202-E

入力 XML ファイルに指定した値が不正です。ファイル種別=aa...aa, 親要素=bb...bb, 要素=cc...cc, 属性=dd...dd, 値=ee...ee, 原因コード=ff...ff

aa...aa : ファイル種別

bb...bb : 親要素

cc...cc : 要素

dd...dd : 属性

ee...ee : 値

ff...ff : 原因コード

### 説明

入力 XML ファイル (aa...aa) に指定したテキストノード, または属性の値が, ISCM の文法に従っていません。

aa...aa に表示される内容を次に示します。

COMPONENT\_TEMPLATE : コンポーネントテンプレートファイル

PATTERN\_TEMPLATE : 構成パターンテンプレートファイル

TEMPLATE\_FILE : テンプレートファイル

MASTERIMAGE\_DEFINE : マスターイメージ定義ファイル

MASTERIMAGE\_OVF : マスターイメージ構成ファイル

bb...bb に表示される内容を次に示します。

入力 XML ファイルに指定した要素または次の値

- Item (CPU) : CPU クロック・コア数の値の範囲を指定した Item 要素
- Item (MEMORY) : メモリサイズの値の範囲を指定した Item 要素
- Item (FC-HBA) : ホストに割り当てられた FC-HBA の情報を指定した Item 要素

cc...cc に表示される内容を次に示します。

入力 XML ファイルに指定した要素または次の値

- Item (CPU) : CPU クロック・コア数の値の範囲を指定した Item 要素
- Item (MEMORY) : メモリサイズの値の範囲を指定した Item 要素

- Item (FC-HBA)：ホストに割り当てられた FC-HBA の情報を指定した Item 要素  
原因コード (ff....ff) の意味を次の表に示します。

原因コード	意味
BYTES	範囲外のバイト数を指定しました。
CHARACTER	次のどちらかの原因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>指定できない文字を指定しました。</li> <li>指定できないパス形式を指定しました。</li> </ul>
DUPLICATE	重複した値を指定しました。
ITEM	次のどちらかの原因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>固定文字列、または接頭辞付きのパラメータに対して、指定できない文字、または範囲外の文字数を指定しました。</li> <li>指定できないパス形式を指定しました。</li> </ul>
LENGTH	範囲外の文字数を指定しました。
NOT_SAME_VALUE	同じ値を指定していません。
NOT_SET_VALUE	値を指定していません。
RANGE	範囲外の値を指定しました。
PATH	値がパッチの場合 パッチ名がパッチ・ディレクトリより上位を指しています。 値がパッチ以外の場合 ee....ee に示すファイル、またはディレクトリが、コマンドの-d オプションで指定したディレクトリより上位を指しています。
HYPERVISOR_TYPE	入力 XML ファイルのハイパーバイザ種別では指定不可能な値を指定しています。

(S)

処理を中断します。

(O)

原因コードに従い、XML ファイル (aa....aa) の要素、または属性の設定値を見直してください。

## KFUD23203-E

入力 XML ファイルに指定した要素数が不正です。ファイル種別=aa....aa, 親要素=bb....bb, 要素=cc....cc, 最大要素数=dd....dd, 指定要素数=ee....ee

aa....aa：ファイル種別

bb....bb：親要素

cc....cc：要素

dd....dd：最大要素数

ee....ee：指定要素数

## 説明

入力 XML ファイル (aa....aa) に指定した要素の数が、ISCM の文法に従っていません。

aa....aa に表示される内容を次に示します。

COMPONENT\_TEMPLATE：コンポーネントテンプレートファイル

PATTERN\_TEMPLATE：構成パターンテンプレートファイル

TEMPLATE\_FILE：テンプレートファイル

MASTERIMAGE\_DEFINE：マスターイメージ定義ファイル

MASTERIMAGE\_OVF：マスターイメージ構成ファイル

cc....cc に表示される内容を次に示します。

入力 XML ファイルに指定した要素または次の値

- Item (CPU)：CPU クロック・コア数の値の範囲を指定した Item 要素
- Item (MEMORY)：メモリサイズの値の範囲を指定した Item 要素
- Item (FC-HBA)：ホストに割り当てられた FC-HBA の情報を指定した Item 要素

(S)

処理を中断します。

(O)

原因の要素を見直してください。

## KFUD23204-E

テンプレートの保存ディレクトリが存在しません。ディレクトリパス=aa....aa

aa....aa：テンプレートの保存ディレクトリの絶対パス※

注※ システム定義ファイルの userdata.filepath キーの設定値が示すディレクトリ下にある、template ディレクトリの絶対パスを示します。

## 説明

テンプレートの保存ディレクトリがありません。

(S)

ISCM を異常終了します。

(O)

システム定義ファイルの userdata.filepath キーの設定値を見直してください。

または、userdata.filepath キーの変更に合わせてデータを移動したかどうかを確認してください。

## KFUD23205-E

マスターイメージの保存ディレクトリが存在しません。ディレクトリパス=aa....aa

aa....aa：マスターイメージの保存ディレクトリの絶対パス※

注※ システム定義ファイルの userdata.filepath キーの設定値が示すディレクトリに格納されたディレクトリの絶対パスを示します。

### 説明

マスターイメージの保存ディレクトリがありません。

(S)

ISCM を異常終了します。

(O)

システム定義ファイルの userdata.filepath キーの設定値を見直してください。

または、userdata.filepath キーの変更に合わせてデータを移動したかどうかを確認してください。

## KFUD23206-E

テンプレートのファイルが壊れています。テンプレート ID=aa....aa

aa....aa：テンプレート ID

### 説明

テンプレート ID に対応するテンプレートが保持するファイルが破損しています。

(S)

ISCM を異常終了します。

(O)

csdinfoget コマンドでトラブルシューティング情報を収集し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD23207-E

マスターイメージのファイルが壊れています。マスターイメージ ID=aa....aa

aa....aa：マスターイメージ ID

### 説明

マスターイメージ ID に対応するマスターイメージが保持するファイルが破損しています。

(S)

ISCM を異常終了します。

(O)

csdinfoget コマンドでトラブルシューティング情報を収集し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD23208-E

入力 XML ファイルに指定してはいけない要素が存在します。ファイル種別=aa....aa, 親要素=bb....bb, 要素=cc....cc

aa....aa：ファイル種別

bb....bb：親要素

cc....cc：要素

### 説明

入力 XML ファイル (aa....aa) に指定してはならない要素を指定しています。

aa....aa に表示される内容を次に示します。

COMPONENT\_TEMPLATE：コンポーネントテンプレートファイル

PATTERN\_TEMPLATE：構成パターンテンプレートファイル

TEMPLATE\_FILE：テンプレートファイル

MASTERIMAGE\_DEFINE：マスターイメージ定義ファイル

MASTERIMAGE\_OVF：マスターイメージ構成ファイル

cc....cc に表示される内容を次に示します。

入力 XML ファイルに指定した要素または次の値

- Item (CPU)：CPU クロック・コア数の値の範囲を指定した Item 要素
- Item (MEMORY)：メモリサイズの値の範囲を指定した Item 要素
- Item (FC-HBA)：ホストに割り当てられた FC-HBA の情報を指定した Item 要素

(S)

処理を中断します。

(O)

原因の要素を見直してください。

## KFUD23209-E

入力 XML ファイルに指定してはいけない属性が存在します。ファイル種別=aa....aa, 親要素=bb....bb, 要素=cc....cc, 属性=dd....dd

aa....aa：ファイル種別

bb....bb：親要素

cc....cc：要素

dd....dd：属性

## 説明

入力 XML ファイル (aa....aa) に指定してはならない属性を指定しています。

aa....aa に表示される内容を次に示します。

COMPONENT\_TEMPLATE：コンポーネントテンプレートファイル

PATTERN\_TEMPLATE：構成パターンテンプレートファイル

TEMPLATE\_FILE：テンプレートファイル

MASTERIMAGE\_DEFINE：マスターイメージ定義ファイル

MASTERIMAGE\_OVF：マスターイメージ構成ファイル

(S)

処理を中断します。

(O)

原因の属性を見直してください。

## KFUD23210-E

ISCM サーバのファイル操作でエラーが発生しました。原因コード=aa....aa

aa....aa：原因コード

## 説明

ISCM サーバのファイル操作でエラーが発生しました。

原因コード (aa....aa) の意味を次の表に示します。

原因コード	意味
BROKEN	ファイル操作に失敗したため、ISCM サーバが管理するファイルが、破損したおそれがあります。
INTERNAL	内部処理エラーが発生しました。
NOT_CHANGE	ファイル操作に失敗しましたが、ISCM サーバが管理するファイルは操作前の状態です。

(S)

処理を中断します。または、ISCM を異常終了します。

(O)

原因コードが BROKEN、または NOT\_CHANGE の場合

次の内容を確認してください。ISCM サーバが異常終了したときは、確認後、ISCM サーバを再起動してください。

- ISCM サーバのシステム定義ファイルの userdata.filepath キーで指定したディレクトリを格納しているディスクに空き容量があるか

- ISCM サーバのシステム定義ファイルの `userdata.filepath` キーで指定したディレクトリ、およびそのディレクトリ下にあるサブディレクトリやファイルが、ほかのプログラムで使用されていないか
- ISCM サーバのシステム定義ファイルの `userdata.filepath` キーで指定したディレクトリ、およびそのディレクトリ下にあるサブディレクトリやファイルに必要なアクセス権限が設定されているか

なお、原因コードが `BROKEN` の場合に、確認後に ISCM サーバを再起動できなかったときは、`csdinfoget` コマンドでトラブルシュート情報を収集し、システム管理者に連絡してください。

原因コードが `INTERNAL` の場合

システム管理者に連絡してください。

## KFUD23211-E

テンプレートに付属するデータディレクトリは存在しません。テンプレート ID=`aa....aa`

`aa....aa` : テンプレート ID

### 説明

`csdtmpls` コマンドで `-d` オプションを指定しましたが、ISCM 内に付属ファイルが登録されていません。

(S)

処理を中断します。

(O)

処置はありません。

## KFUD23212-E

マスターイメージに付属するデータディレクトリは存在しません。マスターイメージ ID=`aa....aa`

`aa....aa` : マスターイメージ ID

### 説明

`csdmils` コマンドで `-d` オプションを指定しましたが、ISCM 内に付属ファイルが登録されていません。

(S)

処理を中断します。

(O)

処置はありません。

## KFUD23213-E

入力 XML ファイルに指定必須の要素が存在しません。ファイル種別=`aa....aa`, 親要素=`bb....bb`, 要素=`cc....cc`

aa....aa：ファイル種別

bb....bb：親要素

cc....cc：要素

#### 説明

入力 XML ファイル (aa....aa) に必要な要素が指定されていません。

aa....aa に表示される内容を次に示します。

COMPONENT\_TEMPLATE：コンポーネントテンプレートファイル

PATTERN\_TEMPLATE：構成パターンテンプレートファイル

TEMPLATE\_FILE：テンプレートファイル

MASTERIMAGE\_DEFINE：マスターイメージ定義ファイル

MASTERIMAGE\_OVF：マスターイメージ構成ファイル

bb....bb に表示される内容を次に示します。

入力 XML ファイルに指定した要素または次の値

- Item (CPU)：CPU クロック・コア数の値の範囲を指定した Item 要素
- Item (MEMORY)：メモリサイズの値の範囲を指定した Item 要素
- Item (FC-HBA)：ホストに割り当てられた FC-HBA の情報を指定した Item 要素

(S)

処理を中断します。

(O)

原因の要素を見直してください。

### KFUD23214-E

入力 XML ファイルに指定必須の属性が存在しません。ファイル種別=aa....aa, 親要素=bb....bb, 要素=cc....cc, 属性=dd....dd

aa....aa：ファイル種別

bb....bb：親要素

cc....cc：要素

dd....dd：属性

#### 説明

入力 XML ファイル (aa....aa) に必要な属性が指定されていません。

aa....aa に表示される内容を次に示します。

COMPONENT\_TEMPLATE：コンポーネントテンプレートファイル

PATTERN\_TEMPLATE：構成パターンテンプレートファイル  
TEMPLATE\_FILE：テンプレートファイル  
MASTERIMAGE\_DEFINE：マスターイメージ定義ファイル  
MASTERIMAGE\_OVF：マスターイメージ構成ファイル

(S)

処理を中断します。

(O)

原因の属性を見直してください。

## KFUD23215-E

入力 XML ファイルの解析に失敗しました。ファイル種別=aa....aa, 原因コード=bb....bb

aa....aa：ファイル種別

bb....bb：原因コード

### 説明

入力 XML ファイル (aa....aa) の解析に失敗しました。

aa....aa に表示される内容を次に示します。

COMPONENT\_TEMPLATE：コンポーネントテンプレートファイル  
PATTERN\_TEMPLATE：構成パターンテンプレートファイル  
TEMPLATE\_FILE：テンプレートファイル  
MASTERIMAGE\_DEFINE：マスターイメージ定義ファイル  
MASTERIMAGE\_OVF：マスターイメージ構成ファイル

原因コード (bb....bb) の意味を次の表に示します。

原因コード	意味
INTERNAL	内部矛盾が発生しました。

(S)

処理を中断します。または、ISCM を異常終了します。

(O)

csdinfoget コマンドでトラブルシューティング情報を収集し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD23216-E

入力 XML ファイルに指定したディレクトリが存在しません。ファイル種別=aa....aa, ディレクトリ名=bb....bb

aa....aa：ファイル種別

bb....bb：ディレクトリ名

#### 説明

入力 XML ファイル (aa....aa) に指定したディレクトリがありません。

aa....aa に表示される内容を次に示します。

COMPONENT\_TEMPLATE：コンポーネントテンプレートファイル

PATTERN\_TEMPLATE：構成パターンテンプレートファイル

TEMPLATE\_FILE：テンプレートファイル

MASTERIMAGE\_DEFINE：マスターイメージ定義ファイル

MASTERIMAGE\_OVF：マスターイメージ構成ファイル

(S)

処理を中断します。

(O)

原因のディレクトリを見直してください。

### KFUD23217-E

入力 XML ファイルに指定したファイルが存在しません。ファイル種別=aa....aa, ファイル名=bb....bb

aa....aa：ファイル種別

bb....bb：ファイル名

#### 説明

入力 XML ファイル (aa....aa) に指定したファイルがありません。

aa....aa に表示される内容を次に示します。

COMPONENT\_TEMPLATE：コンポーネントテンプレートファイル

PATTERN\_TEMPLATE：構成パターンテンプレートファイル

TEMPLATE\_FILE：テンプレートファイル

MASTERIMAGE\_DEFINE：マスターイメージ定義ファイル

MASTERIMAGE\_OVF：マスターイメージ構成ファイル

(S)

処理を中断します。

(O)

原因のファイルを見直してください。

### KFUD23218-E

入力 XML ファイルに指定した値の関係性が不正です。ファイル種別=aa....aa, 親要素=bb....bb, 要素=cc....cc

aa....aa：ファイル種別

bb....bb：親要素

cc....cc：要素

## 説明

入力 XML ファイル (aa....aa) に指定した要素の値に、不正な大小関係の値を指定しています。

aa....aa に表示される内容を次に示します。

COMPONENT\_TEMPLATE：コンポーネントテンプレートファイル

PATTERN\_TEMPLATE：構成パターンテンプレートファイル

TEMPLATE\_FILE：テンプレートファイル

MASTERIMAGE\_DEFINE：マスターイメージ定義ファイル

MASTERIMAGE\_OVF：マスターイメージ構成ファイル

bb....bb に表示される内容を次に示します。

入力 XML ファイルに指定した要素または次の値

- Item (CPU)：CPU クロック・コア数の値の範囲を指定した Item 要素
- Item (MEMORY)：メモリサイズの値の範囲を指定した Item 要素
- Item (FC-HBA)：ホストに割り当てられた FC-HBA の情報を指定した Item 要素
- Item (NIC)：ホストに割り当てられた NIC の情報を指定した Item 要素

(S)

処理を中断します。

(O)

原因の要素を見直してください。

## KFUD23219-E

XML 宣言が不正です。ファイル種別=aa....aa, 原因コード=bb....bb

aa....aa：ファイル種別

bb....bb：原因コード

## 説明

ファイル (aa....aa) の XML 宣言が不正です。

aa....aa に表示される内容を次に示します。

TEMPLATE\_FILE：テンプレートファイル

MASTERIMAGE\_DEFINE：マスターイメージ定義ファイル

MASTERIMAGE\_OVF：マスターイメージ構成ファイル

原因コード (bb....bb) の意味を次の表に示します。

原因コード	意味
CONSTRUCTION	次のどちらかの原因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"><li>• XML 宣言の構文が不正です。</li><li>• 文字コードが UTF-8 ではありません。</li></ul>
ENCODING	XML 宣言の encoding 属性が UTF-8 ではありません。

(S)

処理を終了します。

(O)

原因コードが CONSTRUCTION の場合

XML ファイルの 1 行目に指定する XML 宣言を見直してください。または、XML ファイルの文字コードに UTF-8 を指定してください。

原因コードが ENCODING の場合

XML 宣言の encoding 属性に UTF-8 を指定してください。

## KFUD23220-E

入力 XML ファイルに指定したパスに存在するディレクトリまたはファイル名が長すぎます。ファイル種別=aa....aa, 親要素=bb....bb, 要素=cc....cc, 属性=dd....dd, 値=ee....ee, パス名=ff....ff

aa....aa：ファイル種別

bb....bb：親要素

cc....cc：要素

dd....dd：属性

ee....ee：値

ff....ff：パス名

### 説明

入力 XML ファイル (aa....aa) に指定したディレクトリ内のディレクトリ名、またはファイル名が長すぎます。

aa....aa に表示される内容を次に示します。

TEMPLATE\_FILE：テンプレートファイル

MASTERIMAGE\_DEFINE：マスターイメージ定義ファイル

MASTERIMAGE\_OVF：マスターイメージ構成ファイル

(S)

処理を中断します。

(O)

原因のディレクトリ名, またはファイル名を見直してください。

## KFUD23221-E

入力 XML ファイルに指定した値の組み合わせが不正です。ファイル種別=aa....aa, 親要素=bb....bb, 要素=cc....cc

aa....aa : ファイル種別

bb....bb : 親要素

cc....cc : 要素

### 説明

入力 XML ファイル (aa....aa) に指定した要素の値に不正な組み合わせの値を指定しています。

aa....aa に表示される内容を次に示します。

COMPONENT\_TEMPLATE : コンポーネントテンプレートファイル

PATTERN\_TEMPLATE : 構成パターンテンプレートファイル

TEMPLATE\_FILE : テンプレートファイル

MASTERIMAGE\_DEFINE : マスターイメージ定義ファイル

MASTERIMAGE\_OVF : マスターイメージ構成ファイル

(S)

処理を中断します。

(O)

原因の要素を見直してください。

## KFUD23222-E

ファイル, またはディレクトリの入出力に失敗しました。ファイル種別=aa....aa, 対象パス=bb....bb, 保守情報=cc....cc

aa....aa : ファイル種別

bb....bb : 対象パス

cc....cc : 保守情報 (発生した例外情報※)

注※ 例外情報が発生していない場合は, "\*"が表示されます。

## 説明

入力 XML ファイル (aa....aa) に指定したファイル、ディレクトリ、またはディレクトリ下で入出力エラーが発生しました。

aa....aa に表示される内容を次に示します。

COMPONENT\_TEMPLATE：コンポーネントテンプレートファイル

PATTERN\_TEMPLATE：構成パターンテンプレートファイル

TEMPLATE\_FILE：テンプレートファイル

MASTERIMAGE\_DEFINE：マスターイメージ定義ファイル

MASTERIMAGE\_OVF：マスターイメージ構成ファイル

## (S)

処理を中断します。

## (O)

次の原因が考えられます。入力 XML ファイルの定義値を見直してください。

- 定義値 (パス) の形式が不正です。
- 容量が不足しています。
- 権限がありません。

また、ディスク容量、またはファイルもしくはディレクトリの権限を確認してください。

なお、問題が解決しない場合は、csdinfoget コマンドでトラブルシューティング情報を収集し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD23223-E

入力 XML ファイルに指定必須の属性が存在しません。ファイル種別=aa....aa, 要素=bb....bb, 子要素=cc....cc, 属性=dd....dd, 値=ee....ee

aa....aa：ファイル種別

bb....bb：要素

cc....cc：子要素

dd....dd：属性

ee....ee：値

## 説明

入力 XML ファイル (aa....aa) に指定必須の属性が指定されていません。

aa....aa に表示される内容を次に示します。

COMPONENT\_TEMPLATE：コンポーネントテンプレートファイル

PATTERN\_TEMPLATE：構成パターンテンプレートファイル

TEMPLATE\_FILE：テンプレートファイル

MASTERIMAGE\_DEFINE：マスターイメージ定義ファイル

MASTERIMAGE\_OVF：マスターイメージ構成ファイル

bb...bb に表示される内容を次に示します。

入力 XML ファイルに指定した要素または次の値

- Item (CPU)：CPU クロック・コア数の値の範囲を指定した Item 要素
- Item (MEMORY)：メモリサイズの値の範囲を指定した Item 要素
- Item (FC-HBA)：ホストに割り当てられた FC-HBA の情報を指定した Item 要素

(S)

処理を中断します。

(O)

原因の値を見直してください。

## KFUD23224-E

登録済みマスターイメージがリソース制約定義ファイルの範囲外の値となるため、マスターイメージ定義ファイルに指定した情報を更新できません。マスターイメージ ID=aa....aa, セクション名=bb....bb, ホスト ID=cc....cc

aa....aa：マスターイメージ ID

bb....bb：セクション名

cc....cc：ホスト ID

### 説明

登録済みマスターイメージの保持する仮想ホスト情報が、リソース制約定義ファイルで許可されていない値となるため、マスターイメージの更新処理に失敗しました。

(S)

コマンドを終了します。

(O)

PaaS 利用者の場合：マスターイメージ定義ファイルの内容を確認してください。そのあと、再度コマンドを実行してください。

PaaS 提供者の場合：リソース制約定義ファイルの内容を確認してください。そのあと、再度コマンドを実行してください。

## KFUD23225-E

登録時と異なる方法ではマスターイメージを更新できません。

## 説明

次のどちらかの理由でマスターイメージを更新できません。

- マスターイメージ定義ファイルで登録したマスターイメージを設計書で更新しようとした。
- 設計書から登録したマスターイメージをマスターイメージ定義ファイルで更新しようとした。

### (S)

処理を中断します。

### (O)

次のどちらかの方法でマスターイメージのソースを確認し、ソースと同じ方法でマスターイメージを更新してください。

- csdmils コマンドでマスターイメージ詳細を表示する。
- csdmils -m コマンドでマスターイメージ情報ファイルを出力する。

## KFUD23226-E

設計書のマスターイメージ基本情報シートに記載されているコンポーネント情報が変更されているため、マスターイメージを更新できません。コンポーネント ID=aa....aa, 列名=bb....bb, 原因コード=cc....cc

aa....aa : コンポーネント ID

bb....bb : 列名

cc....cc : 原因コード

## 説明

設計書のマスターイメージ基本情報シートに記載されているコンポーネント情報が、リソース予約時から変更されているため、マスターイメージを更新できません。

原因コード (cc....cc) の意味を次の表に示します。

原因コード	意味
CHANGED	セルの値が変更されました。

### (S)

処理を中断します。

### (O)

原因コードに従いエラー要因を取り除き、再度実行してください。

なお、変更前の設計書は、csdmiexport コマンドで取得できます。

原因コードが CHANGED の場合

リソース予約後に変更したコンポーネント情報をリソース予約前のコンポーネント情報に戻して、再度実行してください。または、リソース予約を解除してから再度実行してください。

## KFUD23227-E

設計書が登録されているため、設計書以外の方法でリソース予約できません。

### 説明

設計書が登録されているため、リソース定義ファイルを指定してリソース予約を行うことはできません。

#### (S)

処理を中断します。

#### (O)

リソース予約時に-f オプションを指定しないで、再度実行してください。

## KFUD23228-E

指定した設計書ファイルは使用できません。原因コード=aa....aa

aa....aa：原因コード

### 説明

次のどちらかの理由で設計書を使用できません。

原因コード (aa....aa) の意味を次の表に示します。

原因コード	意味
OPEN	設計書のファイルをオープンできません。
FORMAT	解析できないファイルが指定されました。

#### (S)

処理を中断します。

#### (O)

原因コードに従い、エラー要因を取り除き、再度実行してください。

原因コードが OPEN の場合は、入力ファイルにパスワードが設定されていないかどうかを確認し、パスワードが設定されている場合は、パスワードを削除してください。上記で解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

原因コードが FORMAT の場合は、次の点を確認してください。

- ファイルが壊れていないか
- 使用できるファイル形式か

上記で解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

なお、リソース予約時にこのメッセージが出力された場合は、エラー要因を取り除いたあと、csdmiupdate コマンド (JP1/AO 連携の場合はサービス) を実行してマスターイメージを更新してから、再度実行してください。

## KFUD23229-E

設計書に入力した値が不正です。シート= aa....aa, 表=bb....bb, 行=cc....cc, 列=dd....dd, 原因コード=ee....ee

aa....aa：シート名

bb....bb：表名

cc....cc：行番号

dd....dd：列番号

ee....ee：原因コード

### 説明

設計書を読み込み中に、次のどれかの理由でエラーが発生しました。

表名 (bb....bb) の意味を次の表に示します。

表名	意味
ANALYSIS_INFO	解析情報表
COLUMN_NAME_DEF	列名定義表
COMPONENT_INFO	コンポーネント情報表
MASTERIMAGE_INFO	マスターイメージ基本情報表
PARAM_VALUE_INFO	パラメータと設定値情報表
NETWORK_INFO	ネットワーク情報表
SHEET_NAME_DEF	シート名定義表
SIZING_UOC_INFO	サイジング UOC 入力パラメータ表
SPECIAL_STRING_DEF	特殊文字定義表
OPTION_DEF	設計書オプション定義表

原因コード (ee....ee) の意味を次の表に示します。

原因コード	意味
ERROR_VALUE	シート中のセルにエラー値が存在します。
NOT_EMPTY	入力してはいけないセルにデータが記載されています。
LENGTH	入力値の文字数が制限を超えています。
RANGE	入力範囲外の値が記載されています。
CHARACTER	入力できない文字が記載されています。または、入力すべき文字が含まれていません。
DUPLICATION	他の入力値と重複する値が記載されています。

原因コード	意味
OTHER	上記以外の原因でエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

原因コードに従い、エラー要因を取り除き、再度実行してください。

原因コードが ERROR\_VALUE の場合は、値を修正してください。

原因コードが NOT\_EMPTY の場合は、値を削除してください。

原因コードが LENGTH の場合は、入力値の長さが制限を超えないように修正してください。

原因コードが RANGE の場合は、入力値が範囲内になるように修正してください。

原因コードが CHARACTER の場合は、入力可能な文字に修正してください。エラーとなった個所が設計書のパラメータ定義シートの可変部定義名を記載するセルに該当し、かつ、入力した値の先頭 5 文字が「CsdU\_」でない場合は、入力した値の先頭 5 文字を「CsdU\_」に修正してください。

原因コードが DUPLICATION の場合は、重複した値を別の値に修正してください。

原因コードが OTHER の場合は、使用した設計書のセルに外部のファイルを参照しているセルが存在しているおそれがあります。そのため、外部のファイルを参照しているセルがないか確認し、必要に応じて修正してください。

なお、リソース予約時にこのメッセージが出力された場合は、エラー要因を取り除いたあと、csdmiupdate コマンド (JP1/AO 連携の場合はサービス) を実行してマスターイメージを更新してから、再度実行してください。

上記で問題が解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD23230-E

設計書にシートが存在しません。シート=aa....aa

aa....aa : シート名

### 説明

設計書にシートが存在しません。

(S)

処理を中断します。

(O)

シート名に誤りがある場合は、正しいシート名に修正して再度実行してください。

シートが存在しない場合は、シートを追加して再度実行してください。

なお、リソース予約時にこのメッセージが出力された場合は、エラー要因を取り除いたあと、csdmiupdate コマンド (JP1/AO 連携の場合はサービス) を実行してマスターイメージを更新してから、再度実行してください。

## KFUD23231-E

設計書では使用できないテンプレートを指定したため、処理を続行できません。テンプレート名=aa....aa, 原因コード=bb....bb

aa....aa：テンプレート名

bb....bb：原因コード

### 説明

設計書では使用できないテンプレートを指定したため、処理を続行できません。  
原因コード (bb....bb) の意味を次の表に示します。

原因コード	意味
HYPERVISOR_TYPE	ハイパーバイザ種別が誤っています。

### (S)

処理を中断します。

### (O)

原因コードが HYPERVISOR\_TYPE の場合、テンプレート一覧表示 (csdtmpls コマンドの実行結果) の「HVType」が「-」であるコンポーネントテンプレートを設計書 (マスターイメージ基本情報シート) のマスターイメージ基本情報表) に指定し、再度コマンドを実行してください。

## KFUD23232-E

設計書に表が存在しません。シート= aa....aa, 表=bb....bb

aa....aa：シート名

bb....bb：表名

### 説明

設計書に表が存在しないため、表を解析できません。  
表名 (bb....bb) の意味を次の表に示します。

表名	意味
ANALYSIS_INFO	解析情報表
COLUMN_NAME_DEF	列名定義表
COMPONENT_INFO	コンポーネント情報表
MASTERIMAGE_INFO	マスターイメージ基本情報表
PARAM_VALUE_INFO	パラメータと設定値情報表
NETWORK_INFO	ネットワーク情報表

表名	意味
SHEET_NAME_DEF	シート名定義表
SIZING_UOC_INFO	サイジング UOC 入力パラメータ表

(S)

処理を中断します。

(O)

設計書に表の記載がない場合は、表を記載して再度実行してください。設計書に表の記載がある場合は、記載ルールに従って表を修正し、再度実行してください。表の記載ルールは、マニュアル「Hitachi IT System Configuration Manager 解説」を参照してください。

なお、リソース予約時にこのメッセージが出力された場合は、エラー要因を取り除いたあと、csdmiupdate コマンド (JP1/AO 連携の場合はサービス) を実行してマスターイメージを更新してから、再度実行してください。

## KFUD23233-E

設計書の表に記載した列名が重複しています。シート= aa....aa, 表=bb....bb, 行=cc....cc, 列=dd....dd

aa....aa : シート名

bb....bb : 表名

cc....cc : 行番号

dd....dd : 列番号

### 説明

設計書の表に記載されている列名が、同一の行に複数存在します。

表名 (bb....bb) の意味を次の表に示します。

表名	意味
ANALYSIS_INFO	解析情報表
COLUMN_NAME_DEF	列名定義表
COMPONENT_INFO	コンポーネント情報表
MASTERIMAGE_INFO	マスターイメージ基本情報表
PARAM_VALUE_INFO	パラメータと設定値情報表
NETWORK_INFO	ネットワーク情報表
SHEET_NAME_DEF	シート名定義表
SIZING_UOC_INFO	サイジング UOC 入力パラメータ表

表名	意味
SPECIAL_STRING_DEF	特殊文字定義表
OPTION_DEF	設計書オプション定義表

(S)

処理を中断します。

(O)

列名が誤っていないかどうかを確認し、誤っている場合は、正しい列名に修正してください。列名が正しい場合は、重複している列を削除して再度実行してください。

なお、リソース予約時にこのメッセージが出力された場合は、エラー要因を取り除いたあと、csdmiupdate コマンド (JP1/AO 連携の場合はサービス) を実行してマスターイメージを更新してから、再度実行してください。

## KFUD23234-E

設計書に記載すべき表の列が不足しています。シート= aa....aa, 表=bb....bb, 行=cc....cc

aa....aa : シート名

bb....bb : 表名

cc....cc : 行番号

### 説明

設計書の表に記載する列名が不足しています。

表名 (bb....bb) の意味を次の表に示します。

表名	意味
ANALYSIS_INFO	解析情報表
COLUMN_NAME_DEF	列名定義表
COMPONENT_INFO	コンポーネント情報表
MASTERIMAGE_INFO	マスターイメージ基本情報表
PARAM_VALUE_INFO	パラメータと設定値情報表
NETWORK_INFO	ネットワーク情報表
SHEET_NAME_DEF	シート名定義表
SIZING_UOC_INFO	サイジング UOC 入力パラメータ表
SPECIAL_STRING_DEF	特殊文字定義表

(S)

処理を中断します。

(O)

不足している列名を追加して再度実行してください。表の記載ルールは、マニュアル「Hitachi IT System Configuration Manager 解説」を参照してください。

なお、リソース予約時にこのメッセージが出力された場合は、エラー要因を取り除いたあと、csdmiupdate コマンド (JP1/AO 連携の場合はサービス) を実行してマスターイメージを更新してから、再度実行してください。

## KFUD23235-E

設計書の表に値が入力されていません。シート= aa....aa, 表=bb....bb, 行=cc....cc, 列=dd....dd

aa....aa : シート名

bb....bb : 表名

cc....cc : 行番号

dd....dd : 列番号

### 説明

設計書の表に値が入力されていません。

表名 (bb....bb) の意味を次の表に示します。

表名	意味
ANALYSIS_INFO	解析情報表
COLUMN_NAME_DEF	列名定義表
COMPONENT_INFO	コンポーネント情報表
MASTERIMAGE_INFO	マスターイメージ基本情報表
PARAM_VALUE_INFO	パラメータと設定値情報表
NETWORK_INFO	ネットワーク情報表
SHEET_NAME_DEF	シート名定義表
SIZING_UOC_INFO	サイジング UOC 入力パラメータ表

(S)

処理を中断します。

(O)

リソース予約時にこのメッセージが出力された場合は、設計書に値を入力して csdmiupdate コマンド (JP1/AO 連携の場合はサービス) で更新したあと、再度実行してください。

リソース予約以外のときにこのメッセージが出力された場合は、設計書に値を入力して再度実行してください。

## KFUD23236-E

設計書のネットワーク情報シートに記載されている情報が変更されているため、マスターイメージを更新できません。コンポーネント ID=aa....aa, IP アドレス=bb....bb, 列名=cc....cc, 原因コード=dd....dd

aa....aa : コンポーネント ID

bb....bb : IP アドレス※

cc....cc : 列名

dd....dd : 原因コード

注※ 原因がコンポーネント ID の増減である場合は"\*"を表示します。

### 説明

設計書のネットワーク情報シートに記載されている情報が、リソース予約時から変更されているため、マスターイメージを更新できません。

原因コード (dd....dd) の意味を次の表に示します。

原因コード	意味
ADDED	行が追加されました。
DELETED	行が削除されました。
CHANGED	セルの値が変更されました。

### (S)

処理を中断します。

### (O)

原因コードに従い、エラー要因を取り除き、再度実行してください。

なお、変更前の設計書は、csdmiexport コマンドで取得できます。

原因コードが ADDED の場合は、リソース予約後に追加したネットワーク情報を削除し、再度実行してください。または、リソース予約を解除してから再度実行してください。

原因コードが DELETED の場合は、リソース予約後に削除したネットワーク情報を追加して再度実行してください。または、リソース予約を解除してから再度実行してください。

原因コードが CHANGED の場合は、リソース予約後に変更したネットワーク情報をリソース予約前のネットワーク情報に戻して、再度実行してください。または、リソース予約を解除してから再度実行してください。

## KFUD23237-E

設計書において区切り文字で連結した設定値の文字数が制限を超えています。シート= aa....aa, 表=bb....bb, 可変部定義名=cc....cc, ホスト名=dd....dd

aa....aa：シート名

bb....bb：表名

cc....cc：可変部定義名

dd....dd：ホスト名※

注※ 設計書に記載されたデフォルト値が該当する場合は、"DEFAULT\_VALUE"を表示します。

## 説明

設計書に指定した、区切り文字と設定値を連結した文字数が制限を超えています。

表名 (bb....bb) の意味を次の表に示します。

表名	意味
PARAM_VALUE_INFO	パラメータと設定値情報表

(S)

処理を中断します。

(O)

可変部定義名が指定された行の指定値が正しいかどうかを見直してください。正しい場合、区切り文字や設定値の文字数を減らすか、または、区切り文字で連結する設定値の数を減らし、連結した文字列が制限内におさまるように変更してください。

なお、リソース予約時にこのメッセージが出力された場合は、エラー要因を取り除いたあと、csdmiupdate コマンド (JP1/AO 連携の場合はサービス) を実行してマスターイメージを更新してから、再度実行してください。

## KFUD23238-E

設計書で可変部定義名が重複しています。シート=aa....aa, 表=bb....bb, 可変部定義名=cc....cc

aa....aa：重複した可変部定義名が記載されているシート名

bb....bb：表名

cc....cc：可変部定義名

## 説明

設計書で可変部定義名が重複しています。

表名 (bb....bb) の意味を次の表に示します。

表名	意味
PARAM_VALUE_INFO	パラメータと設定値情報表

(S)

処理を中断します。

(O)

設計書を確認し、可変部定義名を重複しない値に変更し、csdmiupdate コマンドまたはマスターイメージの更新（設計書入力）サービスを実行してください。

## KFUD23239-E

設計書の表に記載したホスト名が重複しています。シート=aa....aa, 表=bb....bb, 行=cc....cc, 列=dd....dd, ホスト=ee....ee

aa....aa：シート名

bb....bb：表名

cc....cc：行番号

dd....dd：列番号

ee....ee：ホスト名

### 説明

設計書の表に記載したホスト名が重複しています。

表名 (bb....bb) の意味を次の表に示します。

表名	意味
PARAM_VALUE_INFO	パラメータと設定値情報表

(S)

処理を中断します。

(O)

ホスト名が重複している列を見直し、重ならないホスト名に変更するか、不要であれば列を削除してください。ホスト名の重複を解消後、csdmiupdate コマンドまたはマスターイメージの更新（設計書入力）サービスを実行してください。

## KFUD23240-E

ホスト数が指定されていません。コンポーネント ID=aa....aa

aa....aa：コンポーネント ID

### 説明

設計書でマスターイメージを登録する場合、設計書のコンポーネント情報表、またはサイジング UOC のどれかでホスト数を指定（算出）する必要があります。

(S)

処理を中断します。

(O)

次のどちらかを実施してください。

- 設計書のコンポーネント情報表にホスト数を指定して、再度コマンド (JP1/AO 連携の場合はサービス) を実行してください。
- ホスト数を算出するようにサイジング UOC を変更し、サイジングオプションを指定して再度コマンド (JP1/AO 連携の場合はサービス) を実行してください。

## KFUD23241-W

設計書に記載した値に注意すべき文字が含まれています。シート= aa....aa, 表= bb....bb, 行= cc....cc, 列= dd....dd, 原因コード= ee....ee, 値= ff....ff

aa....aa : シート名

bb....bb : 表名

cc....cc : 行番号

dd....dd : 列番号

ee....ee : 原因コード

ff....ff : 値

### 説明

設計書に記載した値に注意すべき文字が含まれています。

表名 (bb....bb) の意味を次の表に示します。

表名	意味
PARAM_VALUE_INFO	パラメータと設定値情報表
SIZING_UOC_INFO	サイジング UOC 入力パラメータ表
SPECIAL_STRING_DEF	特殊文字定義表

原因コード (ee....ee) の意味を次の表に示します。

原因コード	意味
SPACE	値に全角/半角スペースが含まれています。
LINE_FEED	値に改行が含まれています。
FULLWIDTH_CHAR	値に全角文字が含まれています。

(S)

処理を続行します。

(O)

意図しない入力である場合は、原因コードに従い、エラー要因を取り除いてください。意図した入力である場合は修正しなくても問題ありません。

原因コードが SPACE の場合は、設計書の該当セルに入力された値から全角/半角スペースを取り除き、コマンドを再度実行してください。

原因コードが LINE\_FEED の場合は、設計書の該当セルに入力された値から改行を取り除き、コマンドを再度実行してください。

原因コードが FULLWIDTH\_CHAR の場合は、設計書の該当セルに入力された値から全角文字を取り除き、コマンドを再度実行してください。

## KFUD23242-E

設計書のコンポーネント情報表に記載した値と一致しません。シート= aa....aa, 表= bb....bb, 原因コード= cc....cc, 値= dd....dd

aa....aa : シート名

bb....bb : 表名

cc....cc : 原因コード

dd....dd : 値

### 説明

設計書のコンポーネント情報表に記載した値と一致しません。

表名 (bb....bb) の意味を次の表に示します。

表名	意味
ANALYSIS_INFO	解析情報表
NETWORK_INFO	ネットワーク情報表

原因コード (cc....cc) の意味を次の表に示します。

原因コード	意味
MISSING_HOST	ホストが不足しています。
EXCESS_HOST	ホストが超過しています。
INVALID_VALUE	無効な値を指定しています。

(S)

処理を中断します。

(O)

原因コードに従い、エラー要因を取り除いてください。

原因コードが MISSING\_HOST の場合は、コンポーネント情報表に記載したホスト台数を減らすか、または、ネットワーク情報表に不足するホスト分のネットワーク情報を追加して、再度実行してください。

原因コードが EXCESS\_HOST の場合は、コンポーネント情報表に記載したホスト台数を増やすか、または、ネットワーク情報表に記載した余分なホストのネットワーク情報を削除して、再度実行してください。

原因コードが INVALID\_VALUE の場合は、コンポーネント情報表に記載した値と一致しているかどうかを確認してください。一致していない場合は値を修正してから、再度実行してください。

## KFUD23243-W

設計書のネットワーク情報表に記載した値と一致しません。シート= aa....aa, 表= bb....bb, 原因コード= cc....cc, 値= dd....dd

aa....aa : シート名

bb....bb : 表名

cc....cc : 原因コード

dd....dd : 値

### 説明

設計書のネットワーク情報表に記載した値と一致しません。

表名 (bb....bb) の意味を次の表に示します。

表名	意味
PARAM_VALUE_INFO	パラメータと設定値情報表

原因コード (cc....cc) の意味を次の表に示します。

原因コード	意味
MISSING_HOST	ホストが不足しています。
EXCESS_HOST	ホストが超過しています。

(S)

処理を続行します。

(O)

原因コードに従い、エラー要因を取り除いてください。

原因コードが MISSING\_HOST の場合は、次のどちらかの対処をしたあと、再度 csdcheck コマンドを実行してください。

- ネットワーク情報表に記載したホストのネットワーク情報を削除する。
- パラメータと設定値情報表に個別設定値列を追加し、該当するホストのホスト名とホストに適用する値を設定する。

原因コードが EXCESS\_HOST の場合は、次のどちらかの対処をしたあと、再度 csdcheck コマンドを実行してください。

- ネットワーク情報表に該当するホストのネットワーク情報を追加する。
- パラメータと設定値情報表に記載した該当するホストの個別設定値列を削除する。

## KFUD23999-E

内部矛盾が発生しました。コマンド=aa....aa, 保守情報=bb....bb

aa....aa：コマンド名

bb....bb：保守情報（スタックトレース情報）

### 説明

内部矛盾が発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD24000-E

指定したパスにファイルが存在しません。ファイルパス=aa....aa

aa....aa：ファイルパス

### 説明

指定されたパスからファイルを取得しようとしたますが、取得できませんでした。

(S)

コマンドを終了します。

(O)

指定したパス、またはファイル名でファイルが格納されているかどうかを確認し、ISCM サービス起動時の場合は csdrscupdate コマンドを、それ以外の場合は失敗したコマンドを再度実行してください。

## KFUD24001-E

ファイルのフォーマットが正しくありません。ファイル名=aa....aa, エラー情報=bb....bb

aa....aa：ファイル名

bb....bb：フォーマットエラーとなった文字列

注1 XML パーサでエラーとなった場合は、XML パーサのエラー情報が出力されます。

注2 CSV レコードの項目数が不正な場合、またはファイルの文字コードが不正な場合は、"\*"を出力します。

#### 説明

ファイルの内容が、フォーマットに従って記述されていません。

(S)

処理を終了します。

(O)

ファイルの記述内容がフォーマットに従って記述されているか、また文字コードが ISCM で指定されているものかどうかを確認し、csdrscupdate コマンドを実行してください。

### KFUD24002-E

物理構成定義ファイルが存在しません。

#### 説明

< ISCM インストールディレクトリ >¥mgr¥conf ディレクトリに物理構成定義ファイルが格納されていません。

(S)

物理構成情報の更新を中断します。

(O)

< ISCM インストールディレクトリ >¥mgr¥conf ディレクトリに物理構成定義ファイルを格納し、csdrscupdate コマンドを実行してください。

ISCM で物理構成、物理容量情報の管理をしない場合は、システム定義で deploy.vmdeploy.use に n を指定して ISCM を再起動してください。

### KFUD24003-E

物理容量定義ファイルが存在しません。

#### 説明

< ISCM インストールディレクトリ >¥mgr¥conf ディレクトリに物理容量定義ファイルが格納されていません。

(S)

物理構成情報の更新を中断します。

(O)

< ISCM インストールディレクトリ>%mgr%conf ディレクトリに物理容量定義ファイルを格納し、csdrscupdate コマンドを実行してください。

ISCM で物理構成、物理容量情報の管理をしない場合は、システム定義で deploy.vmdeploy.use に n を指定して ISCM を再起動してください。

## KFUD24004-E

物理配置制約ファイルのフォーマットが正しくありません。エラー情報=aa....aa

aa....aa：フォーマットエラーとなった文字列（XML パーサでエラーとなった場合は、XML パーサのエラー情報が出力されます）

### 説明

物理配置制約ファイルがフォーマットに従って記述されていません。

(S)

コマンドを終了します。

(O)

物理配置制約ファイルの記述内容（aa....aa）がフォーマットに従って記述されているか、また文字コードが ISCM で指定されているものかどうかを確認し、再度 csdmipos コマンドを実行してください。

## KFUD24005-E

リソース定義ファイルのフォーマットが正しくありません。行番号=aa....aa, エラー情報=bb....bb

aa....aa：エラーの発生した行番号

bb....bb：フォーマットエラーとなった文字列、またはエラー情報

### 説明

リソース定義ファイルがフォーマットに従って記述されていません。

エラー情報（bb....bb）の意味を次の表に示します。

エラー情報	意味
COLUMN_COUNT	リソース定義ファイルのカラム数不正（カラムが足りない、余分なカラムが存在する、不正なカラムが存在する）。
Host ID is empty	ホスト ID を指定していません。
Both IP address and IP address groups number are empty	IP アドレスと、IP アドレスグループ番号が両方とも省略されています。
Both IP address and IP address groups number cannot be set in a resource definition file	IP アドレスと、IP アドレスグループ番号が両方とも指定されています。

エラー情報	意味
The IP Address is not found in pool	IP アドレス設定ファイルに存在しない IP アドレスが指定されています。
Illegal double management IP address definitions are found	同一ホスト ID 内で管理 LAN の IP アドレスが複数指定されています。
Illegal double business IP address definitions are found	同一ホスト ID 内で業務 LAN の IP アドレスが複数指定されています。
Illegal double XXX virtual network device purpose definitions are found	同一ホスト ID 内で同一の仮想ネットワークデバイス用途が複数指定されています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• XXX：仮想ネットワークデバイス用途</li> </ul>
Host XXX requires a business IP address definition	業務 LAN の IP アドレスが指定されていません。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• XXX：ホスト ID</li> </ul>
Host XXX requires a management IP address definition	管理 LAN の IP アドレスが指定されていません。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• XXX：ホスト ID</li> </ul>
Host XXX requires all virtual network device purpose definition	すべての仮想ネットワークデバイス用途が指定されていません。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• XXX：ホスト ID</li> </ul>
Host XXX requires network device purpose definition: YYY	仮想ネットワークアダプタに指定されている仮想ネットワークデバイス用途が指定されていません。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• XXX：ホスト ID</li> <li>• YYY：仮想ネットワークアダプタに指定されている仮想ネットワークデバイス用途</li> </ul>
Host XXX Illegal virtual network device purpose definition: YYY	不正な仮想ネットワークデバイスの用途が指定されています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• XXX：ホスト ID</li> <li>• YYY：仮想ネットワークデバイス用途</li> </ul>

(S)

コマンドを終了します。

(O)

リソース定義ファイルの記述内容がフォーマットに従って記述されているかどうかを確認し、再度 csdmireserve コマンドを実行してください。

## KFUD24006-E

物理配置制約ファイルの要素の数が仮想ホスト数と等しくありません。要素=aa....aa

aa....aa：物理配置制約ファイルの要素（タグ）名

### 説明

物理配置制約ファイルに要素（aa....aa）が仮想ホスト数と同じ数分記述されていません。

(S)

コマンドを終了します。

(O)

要素 (aa....aa) を仮想ホスト数分記述し、再度 csdmipos コマンドを実行してください。

## KFUD24007-E

物理配置制約ファイルに指定した値が不正です。要素=aa....aa, 属性=bb....bb, 値=cc....cc

aa....aa : 要素

bb....bb : 属性

cc....cc : 値※

注※ 空文字を指定している場合は, "\*"が表示されます。

### 説明

物理配置制約ファイルに指定した属性の値が, ISCM の文法に従っていません。

(S)

コマンドを終了します。

(O)

エラーメッセージに出力された属性の値を見直し, 文字コードが ISCM で指定されているものかどうかを確認してから, 再度 csdmipos コマンドを実行してください。

## KFUD24008-E

ファイルに指定した値が不正です。ファイル名=aa....aa, 要素=bb....bb, 属性=cc....cc, 値=dd....dd

aa....aa : ファイル名

bb....bb : 要素

cc....cc : 属性

dd....dd : 値 (空文字指定は "\*" を表示)

### 説明

次の原因が考えられます。

- ファイルに指定した属性の値が ISCM の文法に従っていません。
- 物理構成定義ファイルに cx\_resourcepool, 属性指定時に cx\_CPUclock 属性, cx\_memory 属性が指定されていません。
- 物理構成定義ファイルに cx\_resourcepool 属性と cx\_resourcepool 要素が同時に指定されています。

- 物理構成定義ファイルに cx\_datastore 属性と cx\_datastore 要素が同時に指定されています。
- 物理構成定義ファイルに cx\_datastore 属性と cx\_datastore 要素が指定されていません。
- 物理構成定義ファイルにリソースプール名が重複して指定されています（同一物理ホスト内）。
- 物理構成定義ファイルにデータストア名が重複して指定されています（同一物理ホスト内）。

(S)

処理を終了します。

(O)

エラーメッセージに出力された属性の値を見直し、また文字コードが ISCM で指定されているものかどうかを確認し、csdrscupdate コマンドを実行してください。

## KFUD24009-E

物理情報取得処理が実行できませんでした。エラー情報=aa....aa

aa....aa：エラー情報

Interrupt：ほかのプロセスの物理情報取得処理が実行中

### 説明

ほかのプロセスの物理情報取得処理が実行中のため、物理情報取得処理が実行できませんでした。

(S)

物理構成情報の更新を中断します。

(O)

実行中の物理情報取得処理の完了後、必要に応じて csdrscupdate コマンドを実行してください。

## KFUD24010-E

続行不可能なエラーが発生しました。ISCM を異常終了します。エラー情報=aa....aa

aa....aa：エラー情報（例外、またはエラーオブジェクトの詳細メッセージ文字列）

### 説明

続行できないエラーが発生しました。ISCM を異常終了します。

(S)

ISCM サービス（Hitachi IT System Configuration Manager - Manager）を異常終了します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD24012-E

1つの物理ホスト内に異なるハイパーバイザ情報を同時に定義できません。IP アドレス=aa....aa

aa....aa：物理ホストの IP アドレス

#### 説明

物理構成定義ファイルの cx\_physicalhost 要素の子要素として、cx\_VMware 要素と cx\_HVM 要素を同時に定義できません。

(S)

処理を終了します。

(O)

物理構成定義ファイルの 1 つの物理ホスト内に、単一のハイパーバイザ情報を定義し、csdrscupdate コマンドを実行してください。

### KFUD24013-E

物理ホストにハイパーバイザ情報が定義されていません。IP アドレス=aa....aa

aa....aa：物理ホストの IP アドレス

#### 説明

物理構成定義ファイルの cx\_physicalhost 要素の子要素として、cx\_VMware 要素と cx\_HVM 要素のどちらも定義されていません。

(S)

処理を終了します。

(O)

物理構成定義ファイルの物理ホスト内に、VMware または HVM のどちらかのハイパーバイザ情報を定義し、csdrscupdate コマンドを実行してください。

### KFUD24014-E

物理容量定義ファイルにストレージ情報が定義されていません。

#### 説明

物理容量定義ファイルの cx\_storages\_doc 要素の子要素として、cx\_datastore 要素と、cx\_storagepool 要素のどちらも定義されていません。

(S)

処理を終了します。

(O)

物理容量定義ファイルにデータストア情報またはストレージプール情報を定義し、csdrscupdate コマンドを実行してください。

## KFUD24015-E

ファイルに指定した値が不正です。ファイル名=aa....aa, 要素=bb....bb, 属性 1=cc....cc, 値 1=dd....dd, 属性 2=ee....ee, 値 2=ff....ff

aa....aa : ファイル名

bb....bb : 要素

cc....cc : 属性 1 (ストレージのリソース名の情報)

dd....dd : 値 1 (ストレージのリソース名の情報)

ee....ee : 属性 2 (ストレージプール名の情報)

ff....ff : 値 2 (ストレージプール名の情報)

### 説明

物理容量定義ファイルに定義したストレージプール情報が重複しています。

物理構成定義ファイルに定義したストレージプール情報が重複しています (同一物理ホスト内)。

(S)

処理を終了します。

(O)

物理構成定義ファイル, 物理容量定義ファイルに重複した情報がないかどうかを確認してください。

## KFUD24016-E

システム定義ファイルに指定した値では使用できないマスターイメージが登録済みのため, ISCM を起動できません。プロパティ名=aa....aa, 指定値=bb....bb, マスターイメージ ID=cc....cc

aa....aa : プロパティ名

bb....bb : プロパティの指定値

cc....cc : マスターイメージ ID

### 説明

登録済みのマスターイメージに, システム定義ファイルのプロパティに指定した値では使用できないマスターイメージがあります。

(S)

処理を中断します。

(O)

プロパティの指定値を対象マスターイメージ登録時の値に戻し, 対象マスターイメージを削除してから指定値の変更を行ってください。

## KFUD24017-E

設計書の記述内容が正しくありません。シート=aa....aa, 表=bb....bb, 行=cc....cc, 列名=dd....dd, エラー情報=ee....ee

aa....aa : シート名

bb....bb : 表名

cc....cc : 行番号

dd....dd : 列名

ee....ee : フォーマットエラーとなった文字列, またはエラー情報

### 説明

設計書がフォーマットに従って記述されていません。

エラー情報 (ee....ee) の意味を次の表に示します。

エラー情報	意味
COLUMN_COUNT	設計書のカラム数不正 (カラムが足りない, 余分なカラムが存在する, 不正なカラムが存在する)。
The IP Address is not found in pool	IP アドレス設定ファイルに存在しない IP アドレスが指定されています。
Illegal double management IP address definitions are found	同一ホスト ID 内で管理 LAN の IP アドレスが複数指定されています。
Illegal double business IP address definitions are found	同一ホスト ID 内で業務 LAN の IP アドレスが複数指定されています。
Illegal double XXX virtual network device purpose definitions are found	同一ホスト ID 内で同一の仮想ネットワークデバイス用途が複数指定されています。 <ul style="list-style-type: none"><li>• XXX : 仮想ネットワークデバイス用途</li></ul>
Requires a business IP address definition	業務 LAN の IP アドレスが指定されていません。
Requires a management IP address definition	管理 LAN の IP アドレスが指定されていません。
Requires all virtual network device purpose definition	すべての仮想ネットワークデバイス用途が指定されていません。
Requires network device purpose definition: XXX	仮想ネットワークアダプタに指定されている仮想ネットワークデバイス用途が指定されていません。 <ul style="list-style-type: none"><li>• XXX : 仮想ネットワークアダプタに指定されている仮想ネットワークデバイス用途</li></ul>
Illegal virtual network device purpose definition: XXX	不正な仮想ネットワークデバイスの用途が指定されています。 <ul style="list-style-type: none"><li>• XXX : 仮想ネットワークデバイス用途</li></ul>

(S)

処理を中断します。

(O)

設計書の記述内容がフォーマットに従って記述されているかどうかを確認し、csdmiupdate コマンド (JP1/AO 連携の場合はサービス) を実行してマスターイメージを更新してから、再度実行してください。

## KFUD24101-E

指定した IP アドレスの物理ホストが存在しません。IP アドレス=aa....aa

aa....aa : 物理ホストの IP アドレス

### 説明

指定した IP アドレスの物理ホストがありません。

(S)

コマンドを終了します。

(O)

物理ホストの IP アドレスを確認し、再度コマンドを実行してください。

## KFUD24102-E

物理構成が登録されていません。

### 説明

物理ホスト、および物理ホストグループが登録されていません。

(S)

コマンドを終了します。

(O)

JP1/ITRM の監視状況、および物理構成定義ファイルを確認したあと、csdrsupdate コマンドを実行してください。csdrsupdate コマンドが正常終了したあとに、csdrscls コマンドを実行してください。

## KFUD24103-E

ファイルの出力に失敗しました。ファイル名=aa....aa

aa....aa : ファイル名、またはディレクトリ名

### 説明

ファイルを出力できません。次の原因が考えられます。

- I/O エラーが発生しました。
- ファイルにアクセス権限がありません。

- ディスク容量が不足しています。

(S)

コマンドを終了します。

(O)

ディスク容量, またはディレクトリおよびファイルの権限を確認したあと, 再度コマンドを実行してください。

#### KFUD24104-E

ファイルの削除に失敗しました。ファイル名=aa....aa

aa....aa : ファイル名

#### 説明

I/O エラーが発生しました。

権限がありません。

(S)

コマンドを終了します。

(O)

ディスク障害の有無, ディレクトリおよびファイルの権限, またはファイルをロックするプロセスの有無を確認してください。

#### KFUD24105-E

指定した名称の物理ホストグループが存在しません。物理ホストグループ名=aa....aa

aa....aa : 物理ホストグループ名

#### 説明

指定した名称の物理ホストグループがありません。

(S)

コマンドを終了します。

(O)

物理構成定義ファイルに指定した物理ホストグループの名称を確認したあと, csdrscls コマンドを実行してください。

#### KFUD24106-E

指定した IP アドレスが不正です。IP アドレス=aa....aa

aa....aa : IP アドレス

## 説明

IP アドレスが正しい形式ではありません。次の原因が考えられます。

- IP アドレスを指定していません。
- IP アドレスとして指定できる形式ではありません。

(S)

処理を中断します。

(O)

IP アドレスを見直し、再度コマンド (JP1/AO 連携の場合はサービス) を実行してください。

## KFUD24107-E

指定した物理ホストグループ名が不正です。物理ホストグループ名=aa....aa

aa....aa：物理ホストグループ名

## 説明

物理ホストグループ名が正しい形式ではありません。次の要因が考えられます。

- 物理ホストグループ名を指定していません。
- 物理ホストグループ名として使用できない文字が含まれています。
- 物理ホストグループ名として指定できる文字数を超えています。

(S)

処理を中断します。

(O)

物理ホストグループ名を見直し、再度コマンド (JP1/AO 連携の場合はサービス) を実行してください。

## KFUD24203-E

定義可変部=aa....aa が変換されなかったため、ファイル名=bb....bb が作成されませんでした。マスターイメージ ID=cc....cc, コンポーネント ID=dd....dd

aa....aa：定義可変部

bb....bb：ファイル名 (相対パス)

cc....cc：マスターイメージ ID

dd....dd：コンポーネント ID

## 説明

パラメータファイルに可変部の値を定義していません。

(S)

コマンドを終了します。

(O)

次の点を確認し、誤っている場合は修正したあと、再度コマンドを実行してください。

- マスターイメージ定義ファイルまたは設計書で指定した定義パラメータに不足がないか
- サイジング UOC で設定した定義パラメータに不足がないか
- 設計書のパラメータ定義シートに指定した設定対象識別子がコンポーネントテンプレートと合っているか

上記で解決しない場合、コンポーネントテンプレートが誤っていることが考えられます。

PaaS 利用者の場合、PaaS 提供者に連絡してください。

PaaS 提供者の場合、コンポーネント ID (dd....dd) に該当するコンポーネントテンプレートに次の誤りがないか確認し、誤っているときは修正したあと、コンポーネントテンプレートを更新してください。

- テンプレートファイルに記載した可変部をパラメータファイルで定義しているか
- テンプレートファイルに不要な可変部がないか
- テンプレートファイルおよびパラメータファイルに定義した可変部名称に誤りがないか

問題が解決しない場合、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD24205-E

DB アクセスエラーが発生しました。

### 説明

DB で SQL アクセスエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

csdinfoget コマンドでトラブルシュート情報を収集し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD24209-E

物理構成情報取得時にエラーが発生しました。原因コード=aa....aa

aa....aa：原因コード (jirminfolist コマンドのエラー値)

### 説明

JP1/ITRM の jirminfolist コマンド実行時にエラーが発生しました。

(S)

コマンド実行を終了します。

(O)

エラー種別 (aa....aa) を確認したあと、マニュアル「JP1/IT Resource Management - Manager リファレンス」の対処方法を参照し、対処してください。そのあと、csdrscupdate コマンドを実行してください。

## KFUD24211-E

ファイルの読み込みに失敗しました。ファイル名=aa....aa

aa....aa：ファイル名，またはディレクトリ名

### 説明

ファイル (aa....aa) の読み込みに失敗しました。次の原因が考えられます。

- I/O エラーが発生しました。
- ファイルにアクセス権限がありません。

(S)

コマンド実行を終了します。

(O)

ファイル (aa....aa) の内容，ならびにディレクトリおよびファイルの権限を確認したあと，ISCM サービス起動時の場合は csdrscupdate コマンドを，それ以外の場合は失敗したコマンドを再度実行してください。

## KFUD24216-E

物理構成情報取得時にタイムアウトが発生しました。

### 説明

JP1/ITRM の jirminfolist コマンド実行時にタイムアウトが発生しました。

(S)

物理構成情報の更新を中断します。

(O)

csdrscupdate コマンド実行時に何度もタイムアウトが発生する場合は，csdinfoget コマンドでトラブルシュート情報を収集し，システム管理者に連絡してください。

## KFUD24217-E

テンプレートファイルに誤りがあります。挿入に失敗しました。ファイル名=aa....aa，マスターイメージ ID=bb....bb，保守情報=cc....cc

aa....aa：テンプレートファイル名（相対パス）

bb....bb：マスターイメージ ID

cc....cc：保守情報（定義生成（Velocity）実行で発生した例外情報）

#### 説明

テンプレートファイルのフォーマットが不正です。

(S)

コマンドを終了します。

(O)

テンプレートファイルの記述内容に誤りがないかどうかを確認し、再度コマンドを実行してください。

#### KFUD24218-E

ミドルウェア定義ファイルの作成に失敗しました。ミドルウェア定義ファイル名=aa....aa, マスターイメージ ID=bb....bb, コンポーネント ID=cc....cc

aa....aa：定義ファイル名（相対パス）

bb....bb：マスターイメージ ID

cc....cc：コンポーネント ID

#### 説明

ミドルウェア定義ファイルが作成できません。次の原因が考えられます。

- ファイル出力先のディスク容量が不足しています。
- ファイルを作成する権限がありません。
- デプロイ先仮想ホストのパスワードの取得に失敗しました。

(S)

コマンドを終了します。

(O)

- ディスク容量またはディレクトリ、およびファイルの権限を確認し、再度コマンドを実行してください。
- 上記の対策で解決しない場合、資料を採取し、保守員に連絡してください。

#### KFUD24219-E

マスターイメージからの情報取得に失敗しました。

#### 説明

マスターイメージの情報が欠損しています。

(S)

処理を中断します。

(O)

csdinfoget コマンドでトラブルシューティング情報を収集し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD24220-E

OS 定義ファイルの作成に失敗しました。OS 定義ファイル名=aa....aa, マスターイメージ ID=bb....bb, コンポーネント ID=cc....cc

aa....aa : 定義ファイル名 (相対パス)

bb....bb : マスターイメージ ID

cc....cc : コンポーネント ID

### 説明

OS 定義ファイルが作成できません。次の原因が考えられます。

- ファイル出力先のディスク容量が不足しています。
- ファイルを作成する権限がありません。
- デプロイ先仮想ホストのパスワードの取得に失敗しました。

(S)

コマンドを終了します。

(O)

- ディスク容量またはディレクトリ、およびファイルの権限を確認し、再度コマンドを実行してください。
- 上記の対策で解決しない場合、資料を採取し、保守員に連絡してください。

## KFUD24221-E

リソース予約に失敗しました。マスターイメージ ID=aa....aa, 原因コード=bb....bb

aa....aa : マスターイメージ ID

bb....bb : 原因コード

### 説明

次のどちらかの理由で、リソース予約に失敗しました。

- IP アドレス設定ファイルに使用可能な IP アドレスが存在しない、またはリソース制約定義ファイルで許可されていません。
- デプロイを行わないホストに対してリソース定義ファイルで IP アドレス、ホスト名を指定していません。

原因コード (bb....bb) の意味を次の表に示します。

原因コード	意味
IPaddress-shortage	使用できる IP アドレスがありません。
VLAN_ID	使用できる VLAN ID がありません。
Host XXX requires IP address definitions: (XXX: ホスト ID)	デプロイを行わないホストの NIC に対して IP アドレスを未指定です。
Host XXX requires a host name definition:(XXX:ホスト ID)	デプロイを行わないホストに対してホスト名を未指定です。

(S)

コマンドを終了します。

(O)

PaaS 利用者の場合：IP アドレス設定ファイルの内容を確認します。または、リソース定義ファイルで使用可能な IP アドレスまたは VLANID を個別指定します。そのあと、再度 csdmireserve コマンドを実行してください。

PaaS 提供者の場合：IP アドレス設定ファイル、またはリソース制約定義ファイルの内容を確認してください。そのあと、再度コマンドを実行してください。

原因コードが Host XXX requires で始まる場合は、リソース定義ファイルを見直して必要な情報を指定してください。

## KFUD24222-E

指定したホストの状態が不正です。ホスト ID=aa....aa

aa....aa：ホスト ID

### 説明

指定したホストの状態が不正です。

(S)

コマンドを終了します。

(O)

ホスト ID、または仮想ホストの状態を見直してください。そのあと、再度 csdmireserve コマンドを実行してください。

## KFUD24223-E

物理配置算出時の情報でリソース予約できません。ホスト ID=aa....aa, 原因コード=bb....bb

aa....aa：ホスト ID

bb....bb：原因コード

## 説明

csdmipos 実行後、次のどれかの理由で物理配置算出どおりのリソースを予約できません。

- 他ユーザがリソース予約を行った
- 物理構成情報が変更された
- 物理配置候補の物理ホストが csdrscstatus コマンドでリソース予約の対象外に設定された原因コード (bb....bb) の意味を次の表に示します。

原因コード	意味
Physicalhost Not Available	物理ホストが使用できません。
Not Match Restriction of Deployed VM	配置済み仮想ホストの制約を満たしていません。
LB Not Available	ロードバランサが使用できません。
Storage Size Shortage	ストレージ容量が不足しています。
Memory Shortage	メモリ容量が不足しています。
CPU Clock Shortage	CPU クロック数が不足しています。
Storage Not Available	ストレージが使用できません。
Resource Pool Not Available	リソースプールが使用できません。
Not Match VirtualNetworkDevice	仮想ホストが必要とする仮想ネットワークデバイスを保持した物理ホストが存在しません。
Not Match IPAddressRange	IP アドレス範囲が不一致です。

## (S)

コマンドを終了します。

## (O)

csdmipos コマンドを実行し、物理配置候補算出処理をしたあと、再度 csdmireserve コマンドを実行してください。

## KFUD24224-E

ファイル I/O 中にエラーが発生しました。読み込みファイル名=aa....aa, 出力ファイル名=bb....bb

aa....aa : 読み込みファイル名, またはディレクトリ名

bb....bb : 出力ファイル名, またはディレクトリ名

## 説明

ファイルでエラーが発生しました。次の原因が考えられます。

- I/O エラーが発生しました。
- ファイル, またはディレクトリにアクセス権限がありません。

- ディスク容量が不足しています。

(S)

コマンドを終了します。

(O)

ディスク容量，またはディレクトリおよびファイルの権限を確認してください。

### KFUD24225-E

指定した仮想ホストは存在しません。マスターイメージ ID=aa....aa， ホスト ID=bb....bb

aa....aa：マスターイメージ ID

bb....bb：ホスト ID

#### 説明

コマンドパラメータに指定した仮想ホストがありません。

(S)

コマンドを終了します。

(O)

コマンドパラメータに指定したホスト ID を確認し，再度コマンドを実行してください。

### KFUD24226-E

処理対象の仮想ホストが存在しません。マスターイメージ ID=aa....aa

aa....aa：マスターイメージ ID

#### 説明

csdmipos コマンド，csdmireserve コマンド，または csdmirelease コマンド実行時に，処理対象となるステータスの仮想ホストがありません。

(S)

コマンドを終了します。

(O)

仮想ホストのステータスを確認し，再度コマンドを実行してください。

### KFUD24227-E

リソース予約に失敗しました。マスターイメージ ID=aa....aa，コンポーネント ID=bb....bb，IP アドレス=cc....cc，ホスト名=dd....dd，原因コード=ee....ee

aa....aa：マスターイメージ ID

bb....bb：コンポーネント ID

cc....cc：IP アドレス（原因が IP アドレス未指定の場合は "\*" が表示されます。）

dd....dd：ホスト名（原因がホスト名未指定の場合は "\*" が表示されます。）

ee....ee：原因コード

## 説明

次の理由で、リソース予約に失敗しました。

- 設計書のネットワーク情報シートの解析対象となる列に値が指定されていません。

原因コード (ee....ee) の意味を次の表に示します。

原因コード	意味
Requires IP address definitions	該当するコンポーネント ID のネットワーク情報に不足があります。

## (S)

処理を中断します。

## (O)

次を確認し、再度 csdmupdate コマンドと csdmreserve コマンドを実行してください。

- ネットワーク情報シートに、マスターイメージ基本情報シートのコンポーネント情報で指定したホスト台数分のネットワーク情報が指定されているかどうかを確認してください。
- ネットワーク情報シートに、各ホストの仮想 NIC がすべて指定されているかどうかを確認してください。仮想 NIC 数は csdmils コマンドの -e オプションで確認できます。
- 同一コンポーネント ID 内で重複するホスト名を指定していないかどうかを確認してください。

## KFUD24228-E

定義ファイルが存在しません。定義ファイル名=aa....aa

aa....aa：定義ファイル名

constraint\_condition.xml：リソース制約定義ファイル

## 説明

リソース制約定義ファイルの場合：< ISCM インストールディレクトリ >¥mgr¥conf ディレクトリにリソース制約定義ファイルが格納されていません。

PaaS 利用者の場合：PaaS 提供者へ連絡してください。

PaaS 提供者の場合：仮想ホストで使用する業務 NIC を 2 以上定義するとき、リソース制約定義ファイルを定義する必要があります。

(S)

コマンドを終了します。

(O)

定義ファイルを指定場所に格納し、csdrscupdate コマンド実行後、再度コマンドを実行してください。

## KFUD24229-E

ホスト間で一致するネットワークがないため、処理を続行できません。マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID1=bb....bb, ホスト ID2=cc....cc, 原因コード=dd....dd

aa....aa : マスターイメージ ID

bb....bb : エラーとなった仮想ホストのホスト ID

(原因コードが TIERTYPE の場合は"\*"を出力する)

cc....cc : 接続不可となった仮想ホストのホスト ID

dd....dd : 原因コード

### 説明

指定したリソースでは、接続可能なネットワークとして構築できません。

http と j2ee, j2ee と DB 間など、接続を必要とする仮想ホスト間で、次の場合に出力されます。

- 共通する仮想ネットワークデバイス用途が存在しない。
- 共通する仮想ネットワークデバイス用途が存在するが、VLAN ID が不一致であるか、または用途が省略されていて VLAN ID 不一致である。
- j2ee-tier に対応する http-tier が存在しない。

原因コード (dd....dd) の意味を次に示します。

PURPOSE : 一致する用途が存在しない

VLAN\_ID : VLAN ID 不一致

TIERTYPE : ティア種別が不正

(S)

コマンドを終了します。

(O)

PaaS 利用者の場合：リソース定義ファイルおよびマスターイメージ定義ファイルで指定した VLANID を確認してください。そのあと、再度コマンドを実行してください。

PaaS 提供者の場合：コンポーネントテンプレート、構成パターンテンプレート、リソース制約定義ファイルの内容を確認してください。

そのあと、再度コマンドを実行してください。

## KFUD24230-E

ファイル編集中にエラーが発生しました。ファイル名=aa....aa, マスターイメージ ID=bb....bb, 保守情報=cc....cc

aa....aa : テンプレートファイルの相対パス

bb....bb : マスターイメージ ID

cc....cc : 保守情報 (ファイル編集中に発生した例外情報)

### 説明

ファイル編集中にエラーが発生しました。

テンプレートファイルのフォーマットが不正であるおそれがあります。

### (S)

処理を中断します。

### (O)

PaaS 利用者の場合 : 資料採取ツールで資料を採取し, システム管理者に連絡してください。

PaaS 提供者の場合 : テンプレートファイルの記載に誤りがないか確認してください。誤りがあるときは, コンポーネントテンプレートを更新し, 再度コマンドを実行してください。

誤りがないときは, 資料採取ツールで資料を採取し, システム管理者に連絡してください。

## KFUD24301-E

指定したリソース定義で IP アドレスの予約ができませんでした。ホスト ID=aa....aa, NIC 名=bb....bb, IP アドレス=cc....cc, IP アドレスグループ=dd....dd, IP アドレス種別=ee....ee, VLAN-ID=ff....ff, ホスト名称=gg....gg, 原因コード=hh....hh

aa....aa : ホスト ID

bb....bb : NIC 名

cc....cc : IP アドレス

dd....dd : IP アドレスグループ番号

ee....ee : IP アドレス種別

ff....ff : VLAN-ID

gg....gg : 仮想ホスト名

hh....hh : 原因コード

### 説明

指定されたリソース定義の内容で IP アドレスを予約できませんでした。

原因コード (hh....hh) の意味を次の表に示します。

原因コード	意味
IPAddressGroup And IPAddressType Not Available	IP アドレスグループ, および IP アドレス種別は使用できません。
IPAddress Not Available	IP アドレスは使用できません。
IPAddressGroup Not Available	IP アドレスグループは使用できません。
VLAN_ID	VLAN ID が使用できません。

(S)

コマンドを終了します。

(O)

リソース定義ファイル, および IP アドレス設定ファイルの内容を確認してください。そのあと, 再度 csdmireserve コマンドを実行してください。

## KFUD24302-W

IP アドレス設定ファイルのフォーマットが正しくありません。ファイル名=aa....aa, 行番号=bb....bb, エラー情報=cc....cc

aa....aa : IP アドレス設定ファイル名

bb....bb : エラーの発生した行番号

cc....cc : フォーマットエラーとなった文字列, または次の理由を示す文字列

COLUMN\_COUNT : IP アドレス設定ファイルのカラム数が不正です (カラムが足りない, 余分なカラムが存在する, または不正なカラムが存在する)。

ipaddress : IP アドレスが指定されていません。

subnetmask : サブネットマスクが指定されていません。

ipaddressstype : IP アドレス種別が指定されていません。

### 説明

IP アドレス設定ファイルの内容がフォーマットに従って記述されていません。

(S)

処理を中断します。

(O)

IP アドレス設定ファイルの内容を確認してください。そのあと, csdrscupdate コマンドを実行してください。

## KFUD24303-E

IP アドレス設定ファイルが不正です。ファイル名=aa....aa, 行番号=bb....bb, エラー情報=cc....cc

aa....aa : IP アドレス設定ファイル名

bb....bb : エラーの発生した行番号

cc....cc : フォーマットエラーとなった文字列, または次の理由を示す文字列

Illegal double IP Address definitions [XXX] in YYY

IP アドレスが重複しています。

- ・ XXX : IP アドレス
- ・ YYY : IP アドレス設定ファイル名

Illegal double IP Address definitions [XXX] in YYY and ZZZ

ほかの定義ファイルで指定した IP アドレスと重複しています。

- ・ XXX : IP アドレス
- ・ YYY : IP アドレス設定ファイル
- ・ ZZZ : 重複している定義ファイル名

### 説明

IP アドレス設定ファイルの内容が不正です。

(S)

処理を中断します。

(O)

IP アドレス設定ファイルの内容を確認してください。そのあと、csdrscupdate コマンドを実行してください。

## KFUD24304-E

IP アドレス設定ファイルで、同じ IP アドレスグループに異なる種別の IP アドレスが定義されました。ファイル名=aa....aa, IP アドレスグループ=bb....bb, IP アドレス=cc....cc

aa....aa : IP アドレス設定ファイル名

bb....bb : IP アドレスグループ番号

cc....cc : IP アドレス

## 説明

IP アドレス設定ファイルの内容が不正です。IP アドレスグループには、業務、または管理のどちらか片方だけを設定してください。

(S)

処理を中断します。

(O)

IP アドレス設定ファイルの内容を確認してください。そのあと、必要に応じて csdrscupdate コマンドを実行してください。

## KFUD24305-E

IP アドレス設定ファイルが変更されましたが、IP アドレスが使用中のため属性を変更できません。  
ファイル名=aa....aa, IP アドレス=bb....bb

aa....aa : IP アドレス設定ファイル名

bb....bb : IP アドレス

## 説明

使用中の IP アドレスの属性は変更できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

IP アドレス設定ファイルの内容を確認してください。そのあと、必要に応じて csdrscupdate コマンドを実行してください。

## KFUD24306-E

IP アドレス設定ファイルから IP アドレス定義が削除されましたが、IP アドレスが使用中です。ファイル名=aa....aa, IP アドレス=bb....bb

aa....aa : IP アドレス設定ファイル名

bb....bb : IP アドレス

## 説明

使用中の IP アドレスは削除できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

IP アドレス設定ファイルの内容を確認してください。そのあと、必要に応じて csdrscupdate コマンドを実行してください。

## KFUD24307-E

IP アドレス設定ファイルに指定可能な IP アドレス数の上限を超えています。

### 説明

IP アドレス設定ファイルに指定した IP アドレス数が 65,535 個を超えています。

(S)

処理を中断します。

(O)

IP アドレス設定ファイルに指定した IP アドレス数が 65535 個以下に修正してから csdrscupdate コマンドを実行してください。

## KFUD24500-E

コマンド実行に必要な権限がありません。ユーザ名=aa....aa

aa....aa：ユーザ名

### 説明

リソース制約定義ファイルで制限されているため、コマンドを実行できません。

(S)

コマンドを終了します。

(O)

PaaS 利用者の場合：PaaS 提供者へ連絡してください。

PaaS 提供者の場合：コマンド実行時のユーザ名およびリソース制約定義ファイルの内容を確認してください。そのあと、再度コマンドを実行してください。

## KFUD24501-E

リソース制約定義ファイルに記載の無い情報が指定されたため、処理を続行できません。ユーザ名=aa....aa, 制約名=bb....bb, 値=cc....cc

aa....aa：ユーザ名（すべてのユーザに関する制約の場合"\*"を表示します）。

bb....bb：制約名 ("cx\_physicalhostIP", "cx\_networkConnection", "cx\_user", "cx\_template", "cx\_loadBalancer") を出力します。

cc....cc：値

### 説明

リソース制約定義ファイルで許可していないリソースを次に記載しているため、コマンドを実行できません。

- マスターイメージ定義ファイル

- 物理配置制約ファイル
- リソース定義ファイル
- 構成パターンテンプレートファイル
- コンポーネントテンプレートファイル

(S)

コマンドを終了します。

(O)

PaaS 利用者の場合：PaaS 提供者へ連絡してください。

PaaS 提供者の場合：リソース制約定義ファイルの内容を確認してください。そのあと、再度コマンドを実行してください。

## KFUD24502-E

使用可能な IP アドレスが存在しません。ユーザ名=aa....aa, テンプレート名=bb....bb, セクション名=cc....cc

aa....aa：ユーザ名

bb....bb：テンプレート名

cc....cc：セクション名

### 説明

リソース制約定義ファイルで許可していないリソースを、以下のファイルに記載しているため、コマンドを実行できません。または、使用可能な IP アドレス範囲が、複数のリソースで一致しない場合も出力されます。

- マスターイメージ定義ファイル
- 物理配置制約ファイル
- リソース定義ファイル
- 構成パターンテンプレートファイル
- コンポーネントテンプレートファイル

(S)

コマンドを終了します。

(O)

PaaS 利用者の場合：PaaS 提供者へ連絡してください。

PaaS 提供者の場合：リソース制約定義ファイルの内容を確認してください。そのあと、再度コマンドを実行してください。

## KFUD24503-E

登録済みマスターイメージが使用中のため、リソース制約定義ファイルが更新できません。制約種別=aa....aa, 制約名 1=bb....bb, 制約値 1=cc....cc, 制約名 2=dd....dd, 制約値 2=ee....ee

aa....aa : cx\_condition の子要素 ("cx\_physicalCondition", "cx\_networkCondition", "cx\_templateCondition", "cx\_loadBalancerCondition", "cx\_userCondition") を出力します。

bb....bb : 制約名 1 (制約種別の子要素の属性名 ("cx\_physicalhostIP", "cx\_networkConnection", "cx\_template", "cx\_loadBalancer", "cx\_user") を出力します)。

cc....cc : 制約値 1 (属性に設定した値を出力します)。

dd....dd : 制約名 2 (制約名 1 の子要素の属性名 ("cx\_virtualNetworkDevice", "cx\_section") または、制約名 1 の子要素名 ("cx\_ipAddress", "cx\_vlanId") を出力します)。

ee....ee : 制約値 2 (属性に設定した値を出力します。制約値 1 が不正の場合、または制約名 2 が "cx\_ipAddress", "cx\_vlanId" の場合は "\*" を表示します)。

### 説明

仮想ホストが使用中のため、リソース制約定義ファイルの内容を反映できません。

マスターイメージと仮想ホストの状態によって、使用中の情報は異なります。

- マスターイメージ登録後  
ユーザ名  
セクション名  
マスターイメージ定義に記載した VLAN ID
- 仮想ホストリソース予約後  
IP アドレス  
VLAN ID

### (S)

処理を終了します。

### (O)

使用中の値をリソース制約定義ファイルに追加し、csdrscupdate コマンドを実行してください。または、使用中の仮想ホストのリソース予約解除、必要に応じてマスターイメージの削除を行い、csdrscupdate コマンドを実行してください。

## KFUD24504-E

リソース制約定義ファイルに指定した値が不正です。制約種別=aa....aa, 制約名 1=bb....bb, 制約値 1=cc....cc, 制約名 2=dd....dd, 制約値 2=ee....ee, 値=ff....ff, 原因コード=gg....gg

aa....aa : cx\_condition の子要素 ("cx\_physicalCondition", "cx\_networkCondition", "cx\_templateCondition", "cx\_loadBalancerCondition", "cx\_userCondition") を出力します。

bb....bb：制約名 1（制約種別の子要素の属性名("cx\_physicalhostIP", "cx\_networkConnection", "cx\_template", "cx\_loadBalancer", "cx\_user") を出力します)。

cc....cc：制約値 1（属性に設定した値を出力します）。

dd....dd：制約名 2（制約名 1 の子要素の属性名("cx\_virtualNetworkDevice", "cx\_section") または、制約名 1 の子要素名("cx\_ipAddress", "cx\_vlanId") を出力します。制約値 1 が不正の場合は"\*"を表示します）。

ee....ee：制約値 2（属性に設定した値を出力します。制約値 1 が不正の場合、または制約名 2 が "cx\_ipAddress", "cx\_vlanId" の場合は"\*"を表示します）。

ff....ff：値（エラーとなった値を出力します）。

gg....gg：原因コード

## 説明

リソース制約定義ファイルに指定した値に誤りがあります。

原因コード (gg....gg) の意味を次の表に示します。

原因コード	意味
FORMAT	フォーマットが異なる値を設定しています。
DUPLICATION	重複する値を設定しています。
IP_FORMAT	IP アドレスにフォーマットが異なる値を設定しています。
VLANID_FORMAT	VLANID にフォーマットが異なる値を設定しています。
IP_MIN_MAX	IP アドレスの最小値に最大値を超える値を設定しています。
VLANID_MIN_MAX	VLANID の最小値に最大値を超える値を設定しています。

## (S)

処理を終了します。

## (O)

原因コードに従い、リソース制約定義ファイル内のエラーとなった値を確認してください。そのあと、csdrscupdate コマンドを実行してください。

## KFUD24505-E

種別=aa....aa, 値=bb....bb, マスターイメージ ID=cc....cc, ホスト ID=dd....dd

aa....aa：種別 ("cx\_ipAddress", "cx\_vlanId", "cx\_section") を出力します。

bb....bb：値（エラーとなった値を出力します）

cc....cc：マスターイメージ ID

dd....dd：ホスト ID

次のどちらかに該当する場合は、「dd....dd：ホスト ID」に"\*"を出力します。

・「aa....aa：種別」が cx\_vlanId で、かつマスターイメージ定義ファイルに記載されている VLAN ID が「bb....bb：値」に表示されている（VLAN ID がマスターイメージ定義ファイルで使用されている場合）。

・「aa....aa：種別」が cx\_section で、かつマスターイメージ定義ファイルに記載されているセクションが「bb....bb：値」に表示されている（セクションがマスターイメージ定義ファイルで使用されている場合）。

#### 説明

種別、値、マスターイメージ ID、およびホスト ID を詳細情報として出力します。

このメッセージは NIC の数だけ出力します。

(S)

物理構成更新処理を中断します。

(O)

このメッセージの前に出力されたメッセージに従い対策してください。

### KFUD24506-W

リソース制約定義ファイルが無効になりました。

#### 説明

リソース制約定義ファイルが無効になりました。

(S)

処理を続行します。

### KFUD24507-E

ファイル、ディレクトリの入出力に失敗しました。対象パス=aa....aa, 保守情報=bb....bb

aa....aa：対象パス（ファイルまたはディレクトリの絶対パスを出力します）。

bb....bb：保守情報（発生した例外の情報。発生していない場合は"\*"を出力します）。

#### 説明

対象ファイル、ディレクトリ、またはディレクトリ配下で入出力エラーが発生しました。

次の原因が考えられます。

- ・ ディスク容量が不足しています。
- ・ ファイルまたはディレクトリにアクセス権限がありません。

(S)

処理を中断します。

- (O)  
ディスク容量、ファイルまたはディレクトリの権限を確認してください。  
問題が解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD24600-E

物理配置候補が決定していない仮想ホストがあります。

### 説明

次のどれかの理由で、物理配置候補を決定できなかった仮想ホストが存在します。

- 物理ホストの CPU、メモリ、データストアなどのリソース容量が不足している。
- 物理配置制約ファイルの制約を満たす物理ホストが存在しない。
- リソース制約ファイルの制約を満たす物理ホストが存在しない。
- 物理ホストが `csdsrcstatus` コマンドで物理配置候補の対象外に設定されている。

- (S)  
コマンドを終了します。

- (O)  
物理配置制約ファイルの制約条件を見直して、再度 `csdmipos` コマンドを実行してください。問題が解決しない場合は PaaS 提供者に連絡してください。  
PaaS 提供者の場合：物理配置制約ファイルおよびリソース制約ファイルの制約条件、物理ホストのリソース容量と状態を見直して、再度 `csdmipos` コマンドを実行してください。

## KFUD24601-E

定義してはいけないケースの制約が定義されています。原因コード=`aa....aa`、制約条件名 1=`bb....bb`、制約条件名 2=`cc....cc`

`aa....aa`：原因コード

`bb....bb`：制約条件名 1

`cc....cc`：制約条件名 2 (1 つの制約条件によるエラーの場合は "\*" を出力します)

### 説明

物理配置制約ファイルに定義した制約条件が正しくありません。

原因コード (`aa....aa`) の意味を次の表に示します。

原因コード	意味
Same Value	同じ値を指定しています。
PhysicalHost Doesn't Exist in PhysicalHost Group	指定した物理ホストグループに、指定した物理ホストが存在しません。
PhysicalHost Group Doesn't Exist	物理ホストグループが存在しません。

原因コード	意味
PhysicalHost Doesn't Exist	物理ホストが存在しません。
LB Doesn't Exist	LB が存在しません。
Storage Doesn't Exist	ストレージが存在しません。
Resource Pool Doesn't Exist in PhysicalHost	指定した物理ホスト内に指定したリソースプールが存在しません。

- (S)  
コマンドを終了します。
- (O)  
物理配置制約ファイルに定義した制約条件に誤りがないかどうかを確認し、誤りがあれば物理配置制約ファイルを修正し、再度コマンドを実行してください。

## KFUD24602-E

DB から情報の取得に失敗しました。エラー情報=aa....aa

aa....aa：エラー情報（DB 取得に失敗した値）

### 説明

物理構成定義ファイルに記載された情報が、ISCM に登録されていません。

- (S)  
コマンドを終了します。
- (O)  
エラー情報に出力された値が ISCM に登録されているかどうかを確認してください。物理構成定義が誤っている場合は、誤りを修正して csdrscupdate コマンドを実行してください。そのあと、再度コマンドを実行してください。

## KFUD24603-E

DB から情報の取得に失敗しました。エラー情報 1=aa....aa, エラー情報 2=bb....bb

aa....aa：エラー情報 1※

bb....bb：エラー情報 2※

注※ DB 取得に失敗した値

### 説明

物理構成定義ファイルまたは物理容量定義ファイルに記載された情報が、ISCM に登録されていません。

- (S)  
コマンドを終了します。

(O)

エラー情報に出力された値の情報が、ISCMに登録されているかどうかを確認してください。物理構成定義または物理容量定義が誤っていた場合、誤りを修正して csdrscupdate コマンドを実行してください。その後、再度コマンドを実行してください。

## KFUD24604-E

物理配置制約ファイルに指定した制約条件が不正です。ホスト ID=aa....aa, 制約条件名=bb....bb, 原因コード=cc....cc

aa....aa : ホスト ID

bb....bb : 制約条件名

cc....cc : 原因コード

### 説明

物理配置制約ファイルに指定した制約条件が正しくない場合に出力されます。

原因コード (cc....cc) の意味を次の表に示します。

原因コード	意味
MISSING	<ul style="list-style-type: none"><li>ストレージのリソース名を指定する制約条件 storage_resource と、ストレージプール名を指定する制約条件 storage_pool を同時に指定していません。</li><li>リソースプールを指定する制約条件 resource_pool を指定する際に、物理ホストの IP アドレスを指定する制約条件 physicalhost_IP を指定していません。</li></ul>
HYPERVISOR TYPE MISMATCH	<ul style="list-style-type: none"><li>仮想ホストのハイパーバイザ種別が VMware の場合に、制約条件 storage_resource, storage_pool を指定しています。</li><li>仮想ホストのハイパーバイザ種別が HVM の場合に、制約条件 datastore, resource_pool を指定しています。</li></ul>

(S)

コマンドを終了します。

(O)

原因コードが示す制約条件の指定を物理配置制約ファイルにしている場合は、物理配置制約ファイルを修正してから、再度 csdmipos コマンドを実行してください。

## KFUD24701-W

JP1/ITRM が管理する物理ホストの CPU クロック数×CPU コア数が、ISCM で利用している CPU クロック数を下回っています。この物理ホストは利用できません。IP アドレス=aa....aa

aa....aa : 物理ホストの IP アドレス

## 説明

物理ホストの CPU コア数, および CPU クロック数を変更しましたが, ISCM で使用中の値よりも低いため, 設定値を反映できません。

(S)

警告メッセージが出力された物理ホストは利用できなくなりますが, 物理構成更新処理は続行します。

(O)

この物理ホストの CPU コア数を, ISCM で使用している CPU コア数以上に修正してください。

## KFUD24702-W

JP1/ITRM が管理する物理ホストのメモリ容量が, ISCM で利用しているメモリ容量を下回っています。この物理ホストは利用できません。IP アドレス=aa....aa

aa....aa : 物理ホストの IP アドレス

## 説明

物理ホストのメモリ容量を変更しましたが, ISCM で使用中の値よりも低いため, 設定値を反映できません。

(S)

警告メッセージが出力された物理ホストは利用できなくなりますが, 物理構成更新処理は続行します。

(O)

この物理ホストのメモリ容量を, ISCM で使用しているメモリ容量以上に修正してください。

## KFUD24703-W

更新時に情報を取得できなかった物理ホストが存在します。この物理ホストは利用できません。

## 説明

物理ホストに障害などが発生し, JP1/ITRM で管理されていない状態になっています。

(S)

このメッセージが出力された物理ホストが利用できなくなりますが, 物理構成更新処理は続行します。

(O)

このメッセージとともに出力された詳細情報を基に, 情報を取得できなかった物理ホストの状態を確認してください。

## KFUD24705-W

物理容量定義ファイルで指定した全容量が, ISCM で利用している全容量を下回ったので, 更新できません。名称=aa....aa

aa....aa : ストレージ名

## 説明

物理容量定義ファイルの全容量を変更しましたが、ISCM で使用中の値よりも低いため、設定値を反映できません。

(S)

警告メッセージが出力されますが、物理構成更新処理は続行します。

(O)

メッセージに表示されたストレージの全容量を、ISCM で利用している容量以上に修正してください。その後、csdrscupdate コマンドを実行してください。

## KFUD24706-W

物理構成定義ファイルに指定した物理構成定義が JP1/ITRM が管理する物理構成情報に存在しません。IP アドレス=aa....aa

aa....aa：物理ホストの IP アドレス

## 説明

物理構成定義ファイルに指定した物理構成定義が、JP1/ITRM が管理する物理構成情報に存在しません。コマンド実行側には、「IP アドレス」パラメタに"\*"が表示されるメッセージが 1 回出力されます。サーバ側（メッセージログ、モジュールトレースログ）には次の両方のメッセージが出力されます。

- 「IP アドレス」パラメタに"\*"が表示されるメッセージが 1 回出力されます。
- 「IP アドレス」パラメタに物理ホストの IP アドレスが表示されるメッセージが、JP1/ITRM が管理する物理構成情報に存在しない数分出力されます。

(S)

警告メッセージが出力されますが、物理構成更新処理は続行します。

(O)

メッセージログに出力された同一メッセージを基に、問題がある物理構成定義を確認して、次の対策をしてください。対策後に必要に応じて、csdrscupdate コマンドを実行してください。

- 物理構成定義ファイルに指定した物理構成定義が正しいかどうかを見直してください。
- 物理構成情報が JP1/ITRM で管理されているかどうかを見直してください。

## KFUD24707-E

仮想ホストが使用中のため、物理ホストグループを削除できませんでした。名称=aa....aa

aa....aa：物理ホストグループ名

## 説明

物理構成定義ファイルから物理ホストグループ定義を削除しましたが、仮想ホストが使用中です。

(S)

物理構成更新処理を中断します。

(O)

このメッセージとともに出力される **KFUD24708-E** メッセージを基に、この物理ホストグループを使用している仮想ホストを確認してください。そのあと必要に応じて、この物理ホストグループを使用している仮想ホストのリソースを解放して、`csdrscupdate` コマンドを実行してください。

## KFUD24708-E

マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb

aa....aa : マスターイメージ ID

bb....bb : ホスト ID

### 説明

マスターイメージ ID, ホスト ID を詳細情報として出力します。

(S)

物理構成更新処理を中断します。

(O)

このメッセージの前に出力されたメッセージに従って対策してください。

## KFUD24709-E

仮想ホストが使用中のため、ストレージ情報を削除できませんでした。名称=aa....aa

aa....aa : ストレージ名

### 説明

物理容量定義ファイルからストレージ情報を削除しましたが、仮想ホストが使用中です。

(S)

物理構成更新処理を中断します。

(O)

このメッセージとともに出力される **KFUD24708-E** メッセージを基に、このストレージを使用している仮想ホストを確認してください。そのあと必要に応じて、このストレージを使用している仮想ホストのリソースを解放して、`csdrscupdate` コマンドを実行してください。

## KFUD24710-E

負荷分散機接続設定プロパティファイルを削除しましたが、負荷分散機が使用中です。名称=aa....aa

aa....aa : 負荷分散機接続設定プロパティファイル名

## 説明

負荷分散機接続設定プロパティファイルを削除しましたが、負荷分散機が使用中です。

(S)

物理構成更新処理を中断します。

(O)

csdmils コマンドで、この負荷分散機を使用している業務システムを確認してください。

そのあと必要に応じて、業務システムのリソースを解放して、csdrscupdate コマンドを実行してください。

## KFUD24714-E

仮想ホストが使用中のため、物理ホスト情報を削除できませんでした。IP アドレス=aa....aa

aa....aa：物理ホストの IP アドレス

## 説明

物理構成定義ファイルから物理ホスト定義を削除しましたが、仮想ホストが使用中です。

(S)

物理構成更新処理を中断します。

(O)

このメッセージとともに出力される [KFUD24708-E](#) メッセージを基に、この物理ホストを使用している仮想ホストを確認してください。そのあと必要に応じて、この物理ホストを使用している仮想ホストのリソースを解放して、csdrscupdate コマンドを実行してください。

## KFUD24715-W

物理構成定義ファイルに指定したストレージ情報が存在しませんが、物理ホスト情報を登録しました。  
名称=aa....aa

aa....aa：ストレージ名

## 説明

物理構成定義ファイルに指定したストレージ情報はありますが、物理ホスト情報を登録しました。

(S)

物理リソースの更新処理を続行します。

(O)

物理構成定義ファイルの内容を確認してください。または、物理構成定義ファイルに指定したストレージ情報を物理容量定義ファイルに記載し、csdrscupdate コマンドを実行してください。

## KFUD24716-W

負荷分散機接続設定プロパティファイル名が長すぎます。ファイル名=aa....aa

aa....aa：負荷分散機接続設定プロパティファイル名

### 説明

負荷分散機接続設定プロパティファイル名が長過ぎるため、情報が反映できません。

(S)

物理リソースの更新処理を続行します。

(O)

ファイル名を短くして csdrscupdate コマンドを実行してください。

## KFUD24717-W

物理構成定義ファイルで指定した全 CPU クロック数が、ISCM で利用している全 CPU クロック数を下回ったので、更新できません。IP アドレス=aa....aa

aa....aa：物理ホストの IP アドレス

### 説明

物理容量定義ファイルで指定したリソースプールの全 CPU クロック数が ISCM で利用しているリソースプールの全 CPU クロック数を下回ったため、変更できません。

(S)

警告メッセージが出力されますが、物理構成更新処理は続行します。警告メッセージが出力された物理ホストの更新はしませんが、それ以降の物理ホストは更新します。

(O)

このメッセージのあとに出力される、[KFUD24727-W](#) メッセージの詳細情報のリソースプール名を基に、物理構成定義ファイルの内容を確認後、csdrscupdate コマンドを実行してください。

## KFUD24718-W

物理構成定義ファイルで指定した全メモリ容量が、ISCM で利用している全メモリ容量を下回ったので、更新できません。IP アドレス=aa....aa

aa....aa：物理ホストの IP アドレス

### 説明

物理容量定義ファイルで指定したリソースプールの全メモリ容量が、ISCM で利用しているリソースプールの全メモリ容量を下回ったため、変更できません。

(S)

警告メッセージが出力されますが、物理構成更新処理は続行します。警告メッセージが出力された物理ホストの更新はしませんが、それ以降の物理ホストは更新します。

(O)

このメッセージのあとに出力される、[KFUD24727-W](#) メッセージの詳細情報のリソースプール名を基に、物理構成定義ファイルの内容を確認後、`csdrscupdate` コマンドを実行してください。

## KFUD24719-W

JP1/ITRM が管理する物理ホストの仮想化構成ツリーパスを取得できませんでした。この物理ホストは利用できません。IP アドレス=aa....aa

aa....aa：物理ホストの IP アドレス

### 説明

JP1/ITRM が管理する物理ホストの仮想化構成ツリーパスを取得できませんでした。この物理ホストは利用できません。

この物理ホストが物理配置候補として算出されるとデプロイに失敗します。回避するには、`csdrscstatus` コマンド `-b` オプションを実行して「対象外」に変更してください。

(S)

警告メッセージが出力されますが、物理構成更新処理は続行します。

(O)

次の対策をしてください。

- 物理構成定義ファイルに記述された物理ホストのハイパーバイザ種別が正しいかどうかを見直してください。そのあと、`csdrscupdate` コマンドを実行してください。
- JP1/ITRM が vCenter を認識しているかどうかを見直してください。そのあと、`csdrscupdate` コマンドを実行してください。
- 上記の対策で解決しない場合、保守員に連絡してください。

## KFUD24720-W

物理構成定義ファイルに指定したストレージ情報が存在しませんが、物理ホスト情報を登録しました。ストレージのリソース名=aa....aa, ストレージプール名=bb....bb

aa....aa：ストレージのリソース名

bb....bb：ストレージプール名

### 説明

物理構成定義ファイルに指定したストレージ情報が ISCM に登録されていません。

(S)

警告メッセージが出力されますが、物理構成更新処理は続行されます。

(O)

メッセージに表示されたストレージ情報を物理容量定義ファイルに定義し、csdrscupdate コマンドを実行してください。

## KFUD24721-W

物理容量定義ファイルに定義したストレージ情報が、JP1/ITRM で管理するストレージ情報に存在しません。ストレージのリソース名=aa....aa, ストレージプール名=bb....bb

aa....aa : ストレージのリソース名

bb....bb : ストレージプール名

### 説明

物理容量定義ファイルに指定したストレージ情報が JP1/ITRM で管理されていません。

(S)

警告メッセージが出力されますが、物理リソースの更新処理は続行されます。

(O)

メッセージに表示されたストレージ情報が JP1/ITRM で管理されているか、また物理容量定義ファイルの内容が正しいかどうかを確認し、csdrscupdate コマンドを実行してください。

## KFUD24722-W

JP1/ITRM から取得したストレージの全容量が、ISCM で管理しているストレージの容量を下回ったので、更新できません。ストレージのリソース名=aa....aa, ストレージプール名=bb....bb

aa....aa : ストレージのリソース名

bb....bb : ストレージプール名

### 説明

ストレージプールの全容量を変更しましたが、ISCM で使用しているストレージ容量を下回っているため、ストレージプールの全容量を反映できません。

(S)

警告メッセージが出力されますが、物理リソースの更新処理は続行されます。

(O)

メッセージに表示されたストレージプールの全容量を、ISCM で利用している容量以上に修正してください。

## KFUD24723-E

仮想ホストが使用中のため、ストレージ情報を削除できませんでした。ストレージのリソース名=aa....aa, ストレージプール名=bb....bb

aa....aa：ストレージのリソース名

bb....bb：ストレージプール名

### 説明

物理容量定義ファイルからストレージプール情報を削除しましたが、定義から削除したストレージプールを仮想ホストが使用中です。

(S)

処理を終了します。

(O)

物理容量定義ファイルから削除したストレージプール情報を再定義し、csdrscupdate コマンドを実行してください。

## KFUD24724-W

物理構成定義ファイルに指定したストレージ情報が存在しませんが、物理ホスト情報を更新しました。  
名称=aa....aa

aa....aa：ストレージ名

### 説明

物理構成定義ファイルに指定したストレージ情報が ISCM に登録されていません。

(S)

警告メッセージが出力されますが、物理構成更新処理は続行されます。

(O)

メッセージに表示されたストレージ情報を物理容量定義ファイルに定義し、csdrscupdate コマンドを実行してください。

## KFUD24725-W

物理構成定義ファイルに指定したストレージ情報が存在しませんが、物理ホスト情報を更新しました。  
ストレージのリソース名=aa....aa, ストレージプール名=bb....bb

aa....aa：ストレージのリソース名

bb....bb：ストレージプール名

### 説明

物理構成定義ファイルに指定したストレージ情報が ISCM に登録されていません。

(S)

警告メッセージが出力されますが、物理構成更新処理は続行されます。

(O)

メッセージに表示されたストレージ情報を物理容量定義ファイルに定義し、csdrscupdate コマンドを実行してください。

## KFUD24726-E

仮想ホストが使用中のため、リソースプールのリソースを更新できませんでした。IP アドレス=aa....aa, リソースプール名=bb....bb, リソース=cc....cc, 変更前=dd....dd, 変更後=ee....ee

aa....aa：物理ホストの IP アドレス

bb....bb：リソースプール名

cc....cc：リソース

CPU Clock：CPU クロック数

Memory：メモリ容量

dd....dd：変更前の値

ee....ee：変更後の値

### 説明

仮想ホストが使用中の場合、次に示すリソースプールの更新はできません。

リソース	条件	処理
CPU Clock の場合	リソースプールの CPU クロック数が 0 のとき	1~1,022,976 の範囲の値に変更します。
	リソースプールの CPU クロック数が 1~1,022,976 の範囲の値のとき	0 に変更します。
Memory の場合	リソースプールのメモリ容量が 0 のとき	256~1,022,976 の範囲の値に変更します。
	リソースプールのメモリ容量が 256~1,022,976 の範囲の値のとき	0 に変更します。

(S)

処理を中断します。

(O)

このメッセージのあとに出力される [KFUD24708-E](#) メッセージを基に、このリソースプールを使用している仮想ホストを確認してください。そのあと必要に応じて、このリソースプールを使用している仮想ホストのリソースを解放して、csdrscupdate コマンドを実行してください。

## KFUD24727-W

IT リソース名=aa....aa

aa....aa : IT リソース名

### 説明

詳細情報として、IT リソース名を出力します。

### (S)

警告メッセージを出力しますが、処理を続行します。警告メッセージが出力された物理ホストの更新はしませんが、それ以降の物理ホストは更新します。

### (O)

このメッセージの前に出力されるメッセージに従って対策してください。

## KFUD24728-W

物理リソースの使用量が上限を超えました。対象=aa....aa, 種別=bb....bb, サイズ=cc....cc

aa....aa : 物理リソースの管理元

物理ホストの場合 : 物理ホストの IP アドレス

リソースプールの場合 : 物理ホストの IP アドレス/リソースプール

bb....bb : 物理リソースの種別

CPU Clock : CPU クロック数

Memory : メモリ容量

cc....cc : 上限を超えたサイズ

種別 (bb....bb) によって使用される単位を次に示します。

CPU Clock : MHz

Memory : MB

### 説明

物理リソースの使用量が物理構成定義ファイルで設定した物理リソースの容量を超えました。

次の要因が考えられます。

- vMotion によって物理ホストやリソースプールに ISCM で管理するリソース残量より大きなリソースを割り当てた仮想ホストが移動した。
- リソースプールのリソース容量に現在予約中のリソース量より小さい値を指定した。

(S)

処理を続行します。

(O)

次のどれかを行って対象のリソース残量を確保した後、csdrscupdate コマンドを実行してください。

- vMotion で仮想ホストを移動する。
- 現在リソース予約中の仮想ホストを再配置する。
- 物理構成定義ファイルで対象となるリソースプールのリソース容量を増やす。(物理リソースの管理元がリソースプールの場合)

## KFUD24729-E

仮想ホストが使用中のため、リソースプール情報を削除できませんでした。IP アドレス=aa....aa, リソースプール名=bb....bb

aa....aa : 物理ホストの IP アドレス

bb....bb : リソースプール名

### 説明

物理構成定義ファイルからリソースプール情報を削除しましたが、定義から削除したリソースプールを仮想ホストが使用中です。

(S)

処理を中断します。

(O)

このメッセージとともに出力される [KFUD24708-E](#) メッセージを基に、このリソースプールを使用している仮想ホストを確認してください。そのあと必要に応じて、このリソースプールを使用している仮想ホストのリソースを解放して、csdrscupdate コマンドを実行してください。

## KFUD24730-E

仮想ホストが使用中のため、仮想ネットワークデバイス情報を更新できませんでした。IP アドレス=aa....aa, 仮想ネットワークデバイス名=bb....bb, 仮想ネットワークデバイス種別=cc....cc

aa....aa : 物理ホストの IP アドレス

bb....bb : 仮想ネットワークデバイス名

cc....cc : 仮想ネットワークデバイス種別

MANAGEMENT

BUSINESS

## 説明

仮想ホストが使用中の場合、仮想ネットワークデバイスの更新はできません。

### (S)

処理を終了します。

### (O)

物理構成定義ファイルで削除変更した使用中の仮想ネットワークデバイスを元に戻す、または使用中の仮想ホストをリソース予約解除してください。

そのあと、csdrscupdate コマンドを実行してください。

## KFUD24731-E

仮想ホストが使用中のため、物理ホストからストレージ情報を削除できませんでした。種別=aa....aa, IP アドレス=bb....bb, 名称 1=cc....cc, 名称 2=dd....dd

aa....aa : 種別

DATASTORE : データストア

STORAGEPOOL : ストレージプール

bb....bb : 物理ホストの IP アドレス

cc....cc : 名称 1

種別が DATASTORE の場合 : データストア名

種別が STORAGEPOOL の場合 : ストレージのリソース名

dd....dd : 名称 2

種別が DATASTORE の場合 : "\*" を出力

種別が STORAGEPOOL の場合 : ストレージプール名

## 説明

物理構成定義ファイルからストレージ情報を削除しましたが、定義から削除したストレージを仮想ホストが使用中です。

種別	意味
DATASTORE の場合	物理構成定義ファイルから削除したデータストアを仮想ホストが使用中です。
STORAGEPOOL の場合	物理構成定義ファイルから削除したストレージプールを仮想ホストが使用中です。

(S)

処理を中断します。

(O)

このメッセージとともに出力される **KFUD24708-E** メッセージを基に、このストレージを使用している仮想ホストを確認してください。そのあと必要に応じて、このストレージを使用している仮想ホストのリソースを解放して、`csdrscupdate` コマンドを実行してください。

## KFUD24732-W

仮想ホストの移動を検出しましたが、物理構成情報の更新ができませんでした。マスターイメージ ID=aa....aa, IP アドレス=bb....bb, ホスト名=cc....cc, 移動元=dd....dd, 移動先=ee....ee, 要因=ff....ff

aa....aa：マスターイメージ ID

bb....bb：仮想ホストの管理用 IP アドレス

cc....cc：仮想ホスト名

dd....dd：仮想ホストの移動元\*

ee....ee：仮想ホストの移動先\*

ff....ff：更新不可の要因

注※ 移動元、移動先は次の形式で出力します。

物理ホストの場合：物理ホストの IP アドレス

リソースプールの場合：物理ホストの IP アドレス/リソースプール名

## 説明

vMotion による仮想ホストの移動を検出しましたが、物理構成情報の更新ができませんでした。

ISCM で管理している仮想ホストの配置と実際の配置に差異が生じていますので、要因に従って対処してください。

更新不可の要因 (ff....ff) の意味を次の表に示します。

更新不可の要因	意味
Physicalhost Not Exist	物理ホストへの移動で、移動先物理ホストが物理構成定義ファイルに定義されていない。
Resource Pool Not Exist	リソースプールの移動で、移動先リソースプールが物理構成定義ファイルに定義されていない。

(S)

処理を続行します。

(O)

要因に従って対処を行ってください。

Physicalhost Not Exist :

Resource Pool Not Exist :

次のどちらかを実行してから、再度 csdrscupdate コマンドを実行してください。

1. 物理構成定義ファイルに定義している物理ホストまたはリソースプールに仮想ホストを移動しなおす。
2. 物理構成定義ファイルに移動先の物理ホストおよびリソースプールを定義する。

ただし、物理ホスト、リソースプールの追加と仮想ホストの移動は同時に更新できません。この場合、1 回目で物理ホスト、リソースプールの追加、2 回目で仮想ホストの移動と、csdrscupdate コマンドは 2 回実行する必要があります。

## KFUD24900-E

物理ホストへの操作が許可されていません。IP アドレス=aa....aa, 要求種別=bb....bb

aa....aa : 物理ホストの IP アドレス

bb....bb : 要求種別

Deploy : デプロイ

### 説明

物理ホストが要求した操作の対象外に設定されているため、操作を受け付けられません。

(S)

処理を中断します。

(O)

PaaS 利用者の場合 : システム管理者に連絡してください。

PaaS 提供者の場合 : csdrscstatus コマンドで物理ホストへの操作の状態を「利用可能」に変更してください。なお、PaaS 提供者のみ操作を許可する場合は、resource.permission.admin 定義に Y を指定した後、ISCM を再起動してください。

## KFUD24997-E

サポートしていない操作が要求されました。操作種別=aa....aa, 保守情報=bb....bb

aa....aa : 操作種別

LIST : 物理リソース情報の出力

bb....bb : 保守情報

UNSUPPORTED\_INFO : 未サポートの情報取得が要求された場合

## 説明

サポートしていない操作が要求されました。次の原因が考えられます。

- 要求元のサービステンプレートに対して、ISCM サーバのバージョンが古いです。

## (S)

処理を中断します。

## (O)

次の対策をしてください。

- ISCM サーバのバージョンが要求元のサービステンプレートの前提バージョンであるかどうかを確認してください。バージョンが古い場合、ISCM サーバのバージョンを更新してから再度実行してください。
- 上記で解決しない場合、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD24998-E

不正な情報を検知しました。保守情報 1=aa....aa, 保守情報 2=bb....bb, 保守情報 3=cc....cc

aa....aa：保守情報 1

FILE：ファイルのデータが不正

MEMORY：メモリ上のデータが不正

bb....bb：保守情報 2

保守情報 1 が FILE の場合：ファイルパス

保守情報 1 が MEMORY の場合：クラス名.メソッド名

cc....cc：保守情報 3

保守情報 1 が FILE の場合：不正情報の詳細（行番号，列番号）

保守情報 1 が MEMORY の場合：データの格納先（変数名など）

## 説明

処理できない不正な情報を検知しました。次の原因が考えられます。

- 処理で使用しているファイルが壊れています。
- 処理で使用しているメモリ上の情報が壊れています。
- ファイルまたはメモリ上の情報に、扱えない形式の情報が含まれています。

## (S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD24999-E

内部矛盾が発生しました。

説明

内部矛盾が発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

csdinfoget コマンドでトラブルシューティング情報を収集し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD25002-E

マスターイメージ情報の取得に失敗しました。要求種別=aa....aa, マスターイメージ ID=bb....bb

aa....aa : 要求種別

bb....bb : マスターイメージ ID

説明

要求 (aa....aa) 実行時、マスターイメージの取得に失敗しました。aa....aa に表示される内容を次に示します。

DEPLOY : デプロイ

(S)

処理を中断します。

(O)

csdinfoget コマンドでトラブルシューティング情報を収集し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD25004-E

仮想ホストの確保処理に失敗しました。マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb, 原因コード 1=cc....cc, 原因コード 2=dd....dd

aa....aa : マスターイメージ ID

bb....bb : ホスト ID

cc....cc : 原因コード 1 (エラー種別)

dd....dd：原因コード 2 (jirmvmdeploy コマンドのエラー値) 原因コード 1 に TASK SUBMITERROR が出力された場合は 0 が出力されます。

## 説明

仮想ホストが確保できません。

原因コード (cc....cc) の意味を次の表に示します。

原因コード	意味
TASK SUBMIT ERROR	タスクの実行でエラーが発生しました。
VM EXECUTE ERROR	仮想ホストの確保処理に失敗しました。

## (S)

該当する仮想ホストに対する確保処理を中断し、あとに続く仮想ホスト確保要求を継続します。

## (O)

jirmvmdeploy コマンドのエラー値 (dd....dd) に従ってエラー要因を取り除き、次のどちらかの対処を実施してください。jirmvmdeploy コマンドのエラー値については、マニュアル「JP1/IT Resource Management - Manager リファレンス」を参照してください。

- 仮想ホストの状態が「ホスト確保完了」の場合、csdmideploy コマンドで失敗した仮想ホストを削除し、再度 csdmideploy コマンドを実行してください。
- 仮想ホストの状態が「ホスト確保完了」前の場合、再度 csdmideploy コマンドを実行してください。ただし、JP1/ITRM で仮想ホストを構築しているときは JP1/ITRM で削除してください。

## KFUD25005-E

仮想ホストの解放処理に失敗しました。マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb, 原因コード=cc....cc, 保守情報=dd....dd

aa....aa：マスターイメージ ID

bb....bb：ホスト ID

cc....cc：原因コード (エラー種別)

dd....dd：保守情報 (JP1/ITRM, または仮想サーバマネージャのコマンドのエラー値※)

注※ 原因コード (cc....cc) が「TASK SUBMIT ERROR」の場合、保守情報 (dd....dd) には"0"が表示されます。原因コードが「PASSWORD ACQUISITION ERROR」, 「STATUS CHECK ERROR」, または「STATUS CHANGE ERROR」の場合、保守情報 (dd....dd) には例外情報が出力されます。

## 説明

仮想ホストを解放できません。

原因コード (cc....cc) の意味を次の表に示します。

原因コード	意味
COSMI MGR COMMAND ERROR	仮想サーバマネージャのコマンドが失敗しました。
PASSWORD ACQUISITION ERROR	パスワードの取得に失敗しました。
STATUS CHANGE ERROR	ミドルウェアのステータスの変更に失敗しました。
STATUS CHECK ERROR	ミドルウェアのステータスのチェックに失敗しました。
TASK SUBMIT ERROR	タスクの登録に失敗しました。
VM DELETE ERROR	仮想ホストの削除処理に失敗しました。
VM RELEASE ERROR	仮想ホストのリソース解放処理に失敗しました。
VM STATUS CHANGE ERROR	仮想ホストのステータス変更に失敗しました。
VM STOP ERROR	仮想ホストの停止処理に失敗しました。

(S)

該当する仮想ホストの解放処理を中断し、あとに続く仮想ホスト解放要求を継続します。

(O)

JP1/ITRM で仮想ホストを構築している場合

JP1/ITRM で仮想ホストを削除してください。

JP1/ITRM で仮想ホストを構築していない場合

再度 csdmiundeploy コマンドを実行してください。

## KFUD25006-E

hosts ファイルの転送でエラーが発生しました。マスタイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb, 原因コード=cc....cc

aa....aa : マスタイメージ ID

bb....bb : ホスト ID

cc....cc : 原因コード

### 説明

hosts ファイルの転送でエラーリターンしました。

原因コードの SSH は、デプロイ先の仮想ホストの OS が Linux の場合は SSH 通信, Windows の場合は DCOM 通信のことを示します。

原因コード (cc....cc) の意味を次の表に示します。

原因コード	意味
SHELL FILE SSH IF ERROR	hosts ファイルのバックアップ用シェルスクリプトの送信または実行に失敗しました。
SHELL FILE TRANSFER TIMEOUT	hosts ファイルのバックアップ用シェルスクリプトの送信がタイムアウトによって失敗しました。
SHELL FILE EXECUTE TIMEOUT	hosts ファイルのバックアップ用シェルスクリプトの実行がタイムアウトによって失敗しました。
HOSTS FILE SSH IF ERROR	次の処理が失敗しました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• hosts ファイル送信</li> <li>• hosts ファイルのバックアップファイルの受信</li> <li>• hosts ファイルへのアクセス</li> </ul>
HOSTS FILE TRANSFER TIMEOUT	次の処理がタイムアウトによって失敗しました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• hosts ファイル送信</li> <li>• hosts ファイルのバックアップファイルの受信</li> <li>• hosts ファイルへのアクセス</li> </ul>
HOSTS FILE TRANSFER FAILED	hosts ファイル作成に失敗しました。
ENVIRONMENT FALSE	環境不正により hosts ファイルの転送に失敗しました。

注 原因コード (HOSTS FILE TRANSFER FAILED) 以外のメッセージが出力された場合、そのメッセージに続けて原因コード (HOSTS FILE TRANSFER FAILED) のメッセージが出力されます。

(S)

処理を中断します。

(O)

原因コードに従いエラー要因を取り除き、csdmideploy コマンドを再実行してください。

## KFUD25008-W

仮想ホストの確保処理を再試行します。マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb, 原因コード=cc....cc

aa....aa : マスターイメージ ID

bb....bb : ホスト ID

cc....cc : 原因コード (JP1/ITRM のコマンドのエラー値)

### 説明

cc....cc に示すエラーが JP1/ITRM のコマンドで発生しました。

(S)

仮想ホストの確保処理を再試行します。

(O)

JP1/ITRM のコマンドは直接実行しないでください。実行している場合は、コマンドをキャンセルしてください。

## KFUD25009-W

仮想ホストの解放処理を再試行します。マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb, 原因コード=cc....cc

aa....aa : マスターイメージ ID

bb....bb : ホスト ID

cc....cc : 原因コード (JP1/ITRM のコマンドのエラー値)

### 説明

cc....cc に示すエラーが JP1/ITRM のコマンドで発生しました。

(S)

仮想ホストの解放処理を再試行します。

(O)

JP1/ITRM のコマンドは直接実行しないでください。実行している場合は、コマンドをキャンセルしてください。

## KFUD25017-E

キューから要求の削除に失敗しました。マスターイメージ ID=aa....aa, 要求種別=bb....bb

aa....aa : マスターイメージ ID

bb....bb : 要求種別

### 説明

次のどちらかの理由で、コマンド要求を格納するキューから要求を削除できませんでした。

- 要求種別 (bb....bb) に表示された中断対象の要求が、すでに非同期処理で実行中です。
- 要求種別 (bb....bb) に表示された中断対象の要求がありません。

bb....bb に表示される内容を次に示します。

DEPLOY/UNDEPLOY : デプロイ, またはアンデプロイ

SETUP : セットアップ

UPDATE : アップデート

(S)

コマンドを終了します。

ただし、すでに中断対象の要求が非同期処理で実行中の場合は、このコマンドが終了したあとに、バックグラウンドで中断処理を継続します。

(O)

中断を要求したマスターイメージ ID がすでに実行中の場合

業務システムの状態 (Status) が次のどれかに遷移するかどうかを、csdmils コマンドで確認してください。

- デプロイ中止状態 (deploying(stopped))
- アンデプロイ中止状態 (undeploying(stopped))
- 更新中止状態 (updating(stopped))

中断対象の要求がない場合

コマンドで指定したマスターイメージ ID を見直してください。

## KFUD25024-E

ミドルウェア更新処理が失敗しました。マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb, ミドルウェア種別=cc....cc, 原因コード=dd....dd

aa....aa : マスターイメージ ID

bb....bb : ホスト ID\*

cc....cc : ミドルウェア種別 (Cosminexus, HiRDB)

dd....dd : 原因コード

注※ ミドルウェア種別 (cc....cc) が「Cosminexus」の場合、ホスト ID (bb....bb) には"\*"が表示されます。

### 説明

ミドルウェア (cc....cc) が更新できません。

原因コード (dd....dd) の意味を次の表に示します。

原因コード	意味
COMMAND ERROR	コマンドがエラー応答を返しました。
FILE TRANSFER ERROR	FTP ファイルの転送に失敗しました。
MIDDLEWARE IS WORKING	ミドルウェアが稼働中です。
PASSWORD ACQUISITION ERROR	パスワードの取得に失敗しました。
SCRIPT EXECUTION ERROR	スクリプトの実行に失敗しました。
STATUS CHANGE ERROR	ステータスの変更失敗しました。

原因コード	意味
STATUS CHECK ERROR	ステータスのチェックに失敗しました。

(S)

該当する仮想ホストに対するセットアップ処理を中断し、あとに続く仮想ホストに対してセットアップ処理を実行します。

(O)

原因コードに従って対処を実施してください。このメッセージのあとに **KFUD25083-W** メッセージが出力されている場合は、先に **KFUD25083-W** メッセージの対処を実施してください。そのあと、再度コマンドを実行してください。

## KFUD25026-E

ミドルウェアのセットアップ処理が失敗しました。マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb, ミドル種別=cc....cc, 原因コード=dd....dd, 保守情報=ee....ee

aa....aa：マスターイメージ ID

bb....bb：ホスト ID\*

cc....cc：ミドルウェア種別 (Cosminexus, HiRDB)

dd....dd：原因コード

ee....ee：保守情報

注※ コンポーネント単位の処理の場合、ホスト ID (bb....bb) には"\*"が表示されます。

### 説明

ミドルウェア (cc....cc) がセットアップできません。

原因コード (dd....dd) の意味を次の表に示します。

原因コード	意味
COMMAND ERROR	コマンドがエラー応答を返しました。
DEFINITION FILE COPY ERROR	定義ファイルのコピーに失敗しました。
DEFINITION FILE READ ERROR	定義ファイルの読み込みに失敗しました。
FILE TRANSFER ERROR	FTP ファイルの転送に失敗しました。
ILLEGAL APPLICATION STATUS	業務アプリケーションの状態が"running", "stopped"以外の状態です。
MIDDLEWARE IS WORKING	ミドルウェアが稼働中です。
PASSWORD ACQUISITION ERROR	パスワードの取得に失敗しました。
SCRIPT EXECUTION ERROR	スクリプトの実行に失敗しました。

原因コード	意味
STATUS CHANGE ERROR	ステータスの変更に失敗しました。
STATUS CHECK ERROR	ステータスのチェックに失敗しました。
I/O ERROR	I/O エラーが発生しました。

## (S)

該当する仮想ホストに対するセットアップ処理を中断し、あとに続く仮想ホストに対してセットアップ処理を実行します。

## (O)

原因コードに従って対処を実施してください。

このメッセージのあとに **KFUD25083-W** メッセージが出力されている場合は、先に **KFUD25083-W** メッセージの対処を実施してください。そのあと、再度コマンドを実行してください。

原因コードが I/O ERROR または DEFINITION FILE COPY ERROR の場合は、次の対処を実施してください。

PaaS 利用者の場合：PaaS 提供者へ連絡してください。PaaS 提供者がエラーの要因を取り除いたあと、マスターイメージ定義ファイルの内容を変更しないで再度コマンドを実行してください。

PaaS 提供者の場合：システム定義の userdata.filepath プロパティで指定したパスのディスク容量、読み込み/書き込み権限があるかどうかを確認してください。

原因コードが ILLEGAL APPLICATION STATUS の場合は、デプロイした仮想ホストにログインし、保守情報に出力された業務アプリケーションの状態を"running"または"stopped"に変更してから、再度コマンドを実行してください。

ミドルウェア種別が Cosminexus で原因コードが COMMAND ERROR の場合、保守情報に仮想サーバマネージャのエラーメッセージが出力される場合があります。仮想サーバマネージャのマニュアルに従って対処を実施してください。また、対象仮想ホストで運用管理エージェント、Management Server、および J2EE サーバの起動状態を確認し、起動している場合は停止してください。

ミドルウェア種別が Cosminexus で原因コードが COMMAND ERROR かつ保守情報に cosminexus sinagent connect error が出力された場合、仮想ホスト側のサーバ通信エージェントが起動しているか、接続を許可する IP アドレスの設定が正しいかどうかを確認してください。接続を許可する IP アドレスの設定については、マニュアル「Hitachi IT System Configuration Manager 解説」の「仮想イメージテンプレートの作成」の章を参照してください。

## KFUD25028-E

Cosminexus セットアップが失敗しました。ホスト ID=aa....aa

aa....aa：ホスト ID

### 説明

Cosminexus セットアップが正常終了しませんでした。

(S)

該当する仮想ホストに対するセットアップ処理を中断し、あとに続く仮想ホストに対してセットアップ処理を実行します。

(O)

Cosminexus のセットアップ状態を確認してください。そのあと、再度コマンドを実行してください。

## KFUD25031-E

FTP ファイル転送コマンドが失敗しました。ホスト ID=aa....aa, 転送元ファイルパス=bb....bb, 転送先ファイルパス=cc....cc, 保守情報=dd....dd

aa....aa : ホスト ID

bb....bb : 転送元ファイルパス

cc....cc : 転送先ファイルパス

dd....dd : 保守情報

### 説明

FTP ファイル転送コマンドが失敗しました。

(S)

該当する仮想ホストに対するセットアップ処理を中断し、あとに続く仮想ホストに対してセットアップ処理を実行します。

(O)

仮想ホストの状態を確認して、再度コマンドを実行してください。

## KFUD25032-E

セットアップシェルの実行が失敗しました。ホスト ID=aa....aa, スクリプトファイルパス=bb....bb, 保守情報=cc....cc

aa....aa : ホスト ID

bb....bb : スクリプトファイルパス

cc....cc : 保守情報

### 説明

セットアップ用シェルスクリプトの実行に失敗しました。

(S)

該当する仮想ホストに対するセットアップ処理を中断し、あとに続く仮想ホストに対してセットアップ処理を実行します。

(O)

仮想ホストの状態、およびセットアップ用シェルスクリプトを確認して、再度コマンドを実行ください。

## KFUD25033-E

ミドルウェア更新用ファイルセット転送が失敗しました。マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb, ミドルウェア種別=cc....cc, 転送元ファイルパス=dd....dd, 転送先ファイルパス=ee....ee, 保守情報=ff....ff

aa....aa : マスターイメージ ID

bb....bb : ホスト ID

cc....cc : ミドルウェア種別 (Cosminexus, HiRDB, マスターイメージ定義ファイルのミドルウェア識別子)

dd....dd : 転送元ファイルパス

ee....ee : 転送先ファイルパス

ff....ff : 保守情報

### 説明

ミドルウェア更新用ファイルセット転送に失敗しました。

(S)

該当する仮想ホストに対するセットアップ処理を中断し、あとに続く仮想ホストに対してセットアップ処理を実行します。

(O)

仮想ホストの状態を確認して、再度コマンドを実行してください。

## KFUD25034-E

ミドルウェア更新用スクリプトの実行に失敗しました。マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb, ミドルウェア種別=cc....cc, スクリプトファイルパス=dd....dd, 保守情報=ee....ee

aa....aa : マスターイメージ ID

bb....bb : ホスト ID

cc....cc : ミドルウェア種別 (Cosminexus, HiRDB, マスターイメージ定義ファイルのミドルウェア識別子)

dd....dd : スクリプトファイルパス

ee....ee : 保守情報

## 説明

ミドルウェア更新用スクリプトの実行に失敗しました。

### (S)

該当する仮想ホストに対するセットアップ処理を中断し、あとに続く仮想ホストに対してセットアップ処理を実行します。

### (O)

仮想ホストの状態、およびミドルウェア更新用スクリプトを確認して、再度コマンドを実行してください。

## KFUD25035-E

OS 更新用ファイルセット転送が失敗しました。マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb, 転送元ファイルパス=cc....cc, 転送先ファイルパス=dd....dd, 保守情報=ee....ee

aa....aa : マスターイメージ ID

bb....bb : ホスト ID

cc....cc : 転送元ファイルパス

dd....dd : 転送先ファイルパス

ee....ee : 保守情報

## 説明

OS 更新用ファイルセット転送に失敗しました。

### (S)

該当する仮想ホストに対するセットアップ処理を中断し、あとに続く仮想ホストに対してセットアップ処理を実行します。

### (O)

仮想ホストの状態を確認して、再度コマンドを実行してください。

## KFUD25036-E

OS 更新用スクリプトの実行に失敗しました。マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb, スクリプトファイルパス=cc....cc, 保守情報=dd....dd

aa....aa : マスターイメージ ID

bb....bb : ホスト ID

cc....cc : スクリプトファイルパス

dd....dd : 保守情報

## 説明

OS 更新実行スクリプトの実行に失敗しました。

(S)

該当する仮想ホストに対するセットアップ処理を中断し、あとに続く仮想ホストに対してセットアップ処理を実行します。

(O)

仮想ホストの状態、および OS 更新用スクリプトを確認して、再度コマンドを実行してください。

## KFUD25038-E

要求時刻の更新に失敗しました。マスターイメージ ID=aa....aa

aa....aa：マスターイメージ ID

## 説明

要求の更新に失敗しました。

(S)

コマンドを終了します。

(O)

csdinfoget コマンドでトラブルシューティング情報を収集し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD25039-E

キューの実行に失敗しました。マスターイメージ ID=aa....aa

aa....aa：マスターイメージ ID

## 説明

キューの実行に失敗しました。

(S)

コマンドを終了します。

(O)

csdinfoget コマンドでトラブルシューティング情報を収集し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD25042-E

暗号復号オブジェクトの作成に失敗しました。

## 説明

暗号復号オブジェクトの作成に失敗しました。

(S)

コマンドを終了します。

(O)

csdinfoget コマンドでトラブルシューティング情報を収集し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD25043-E

暗号復号オブジェクトの初期化に失敗しました。

説明

暗号復号オブジェクトの初期化に失敗しました。

(S)

コマンドを終了します。

(O)

csdinfoget コマンドでトラブルシューティング情報を収集し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD25044-E

暗号化処理に失敗しました。

説明

暗号化処理に失敗しました。

(S)

コマンドを終了します。

(O)

csdinfoget コマンドでトラブルシューティング情報を収集し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD25047-E

ミドルウェアセットアップでタイムアウトしました。マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb, ミドルウェア種別=cc....cc

aa....aa : マスターイメージ ID

bb....bb : ホスト ID\*

cc....cc : ミドルウェア種別 (Cosminexus, HiRDB, マスターイメージ定義ファイルのミドルウェア識別子)

注※ コンポーネント単位の処理の場合、ホスト ID (bb....bb) には"\*"が表示されます。

## 説明

ミドルウェアのセットアップでタイムアウトしました。  
次のどれかの処理でタイムアウトした場合に出力します。

- ミドルウェア定義ファイル，セットアップスクリプトの転送
- セットアップスクリプトの実行
- 仮想サーバマネージャのコマンド実行（Cosminexus の場合）
- ミドルウェアセットアップ時の仮想ホスト操作（一時ディレクトリ作成・削除，ミドルウェアの起動確認など）

## (S)

該当する仮想ホストに対するセットアップ処理を中断し，あとに続く仮想ホストに対してセットアップ処理を実行します。

## (O)

PaaS 利用者の場合：ミドルウェアのセットアップ状態と構築した仮想ホストの状態を確認し，エラー要因を取り除いてください。そのあと，再度コマンドを実行してください。

PaaS 提供者の場合：必要に応じてシステム定義ファイル（csd.properties）のタイムアウト値（deploy.sshexecutetimer）を見直してください。

## KFUD25048-E

ミドルウェアアップデートでタイムアウトしました。マスターイメージ ID=aa....aa，ホスト ID=bb....bb，ミドルウェア種別=cc....cc

aa....aa：マスターイメージ ID

bb....bb：ホスト ID\*

cc....cc：ミドルウェア種別（Cosminexus，HiRDB，マスターイメージ定義ファイルのミドルウェア識別子）

注※ コンポーネント単位の処理の場合，ホスト ID（bb....bb）には"\*"が表示されます。

## 説明

ミドルウェアのアップデートでタイムアウトしました。  
次のどれかの処理でタイムアウトした場合に出力します。

- ミドルウェア定義ファイル，ミドルウェアパッチ，アップデートスクリプトの転送
- ミドルウェアパッチの実行
- アップデートスクリプトの実行
- 仮想サーバマネージャのコマンド実行（Cosminexus の場合）

- ミドルウェアアップデート時の仮想ホスト操作（一時ディレクトリ作成・削除，ミドルウェアの起動確認など）

(S)

該当する仮想ホストに対するアップデート処理を中断し，あとに続く仮想ホストに対してアップデート処理を実行します。

(O)

PaaS 利用者の場合：ミドルウェアのアップデート状態と構築した仮想ホストの状態を確認し，エラー要因を取り除いてください。そのあと，再度コマンドを実行してください。

PaaS 提供者の場合：必要に応じてシステム定義ファイル（csd.properties）のタイムアウト値（deploy.sshexecutetimer）を見直してください。

## KFUD25049-E

OS アップデートでタイムアウトしました。マスターイメージ ID=aa....aa， ホスト ID=bb....bb

aa....aa：マスターイメージ ID

bb....bb：ホスト ID

### 説明

OS のアップデートでタイムアウトしました。

次のどれかの処理でタイムアウトした場合に出力します。

- OS 定義ファイル，OS パッチの転送
- OS パッチの実行
- OS アップデート時の仮想ホスト操作（一時ディレクトリ作成・削除など）

(S)

該当する仮想ホストに対する OS アップデート処理を中断し，あとに続く仮想ホストに対して OS アップデート処理を実行します。

(O)

PaaS 利用者の場合：構築した仮想ホストの状態を確認し，エラー要因を取り除いてください。そのあと，再度コマンドを実行してください。

PaaS 提供者の場合：必要に応じてシステム定義ファイル（csd.properties）のタイムアウト値（deploy.sshexecutetimer）を見直してください。

## KFUD25050-E

仮想ホストパスワードの設定に失敗しました。マスターイメージ ID=aa....aa， ホスト ID=bb....bb

aa....aa：マスターイメージ ID

bb....bb：ホスト ID

## 説明

csdmisetspassword コマンドの実行に失敗しました。

(S)

コマンドを終了します。

(O)

csdinfoget コマンドでトラブルシュート情報を収集し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD25057-E

指定したマスターイメージの状態と変更パターンの組み合わせが不正です。マスターイメージ ID=aa....aa, マスターイメージ状態= bb....bb

aa....aa : マスターイメージ ID

bb....bb : マスターイメージ状態

## 説明

マスターイメージの状態が csdmivmstatus コマンドを許容していない状態だったため失敗しました。

(S)

コマンドを終了します。

(O)

業務システム状態とコマンドで投入した変更パターンを確認してください。そのあと、再度コマンドを実行してください。

## KFUD25058-E

指定したホスト ID が不正です。マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb

aa....aa : マスターイメージ ID

bb....bb : ホスト ID

## 説明

存在しないホスト ID に対して csdmivmstatus コマンドを実行しました。

(S)

コマンドを終了します。

(O)

コマンドで指定したホスト ID があるかどうかを確認してください。そのあと、再度コマンドを実行してください。

## KFUD25059-E

定義ファイル格納ディレクトリが指定されていません。マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb, 識別子=cc....cc

aa....aa : マスターイメージ ID

bb....bb : ホスト ID ("\*"を出力します)

cc....cc : 識別子 (ミドルウェア種別)

### 説明

テンプレートで定義ディレクトリが指定されていません。

(S)

該当する仮想ホストに対するセットアップ処理を中断し、あとに続く仮想ホストに対してセットアップ処理を実行します。

(O)

ミドルウェアのセットアップ状態を確認してください。そのあと、再度コマンドを実行してください。

## KFUD25060-E

仮想サーバマネージャのパスワード取得に失敗しました。

### 説明

DB でエラーが発生しました。

(S)

コンポーネントテンプレートのエラー時続行可否フラグ (errorProcess) を true と指定した仮想ホストのミドルウェアセットアップでエラーとなった場合：

該当コンポーネントに対する処理を中断し、次コンポーネントに対する処理を行います。

ミドルウェアアップデート実行中にエラーとなった場合：

該当コンポーネントに対する処理を中断し、次コンポーネントに対する処理を行います。

上記以外でエラーとなった場合：

処理を中断します。

(O)

直前に出力されたメッセージを確認し、エラー要因を取り除いてください。

## KFUD25061-E

仮想サーバマネージャのユーザ名取得に失敗しました。

## 説明

DB でエラーが発生しました。

### (S)

コンポーネントテンプレートのエラー時続行可否フラグ (errorProcess) を true と指定した仮想ホストのミドルウェアセットアップでエラーとなった場合：

該当コンポーネントに対する処理を中断し、次コンポーネントに対する処理を行います。

ミドルウェアアップデート実行中にエラーとなった場合：

該当コンポーネントに対する処理を中断し、次コンポーネントに対する処理を行います。

上記以外でエラーとなった場合：

処理を中断します。

### (O)

直前に出力されたメッセージを確認し、エラー要因を取り除いてください。

## KFUD25063-E

マスターイメージ ID=aa....aa の処理が失敗しました。要求種別=bb....bb

aa....aa：マスターイメージ ID

bb....bb：要求種別

## 説明

要求 (bb....bb) の実行に失敗しました。bb....bb に表示される内容を次に示します。

DEPLOY：デプロイ

SETUP：セットアップ

STOP：中断

UNDEPLOY：アンデプロイ

UPDATE：アップデート

### (S)

コマンドを終了します。

### (O)

コマンドで指定したマスターイメージ ID の状態を確認してください。そのあと、失敗した要求種別に対するコマンドを再実行してください。

## KFUD25064-E

OS 更新処理が失敗しました。マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb, 原因コード=cc....cc

aa....aa：マスターイメージ ID

bb....bb：ホスト ID

cc....cc：原因コード

## 説明

OS が更新できません。

原因コード (cc....cc) の意味を次の表に示します。

原因コード	意味
FILE TRANSFER ERROR	FTP ファイルの転送に失敗しました。
SCRIPT EXECUTION ERROR	スクリプトの実行に失敗しました。
STATUS CHANGE ERROR	ステータスの変更に失敗しました。
STATUS CHECK ERROR	ステータスのチェックに失敗しました。
COMMAND ERROR	コマンドの実行に失敗しました。

## (S)

該当する仮想ホストに対する OS 更新処理を中断し、あとに続く仮想ホストに対して OS 更新処理を実行します。

## (O)

以前に出力されたメッセージに従い、対策してください。

## KFUD25066-E

パスワードアクセスキーが指定されていません。マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb

aa....aa：マスターイメージ ID

bb....bb：ホスト ID

## 説明

パスワード取得時、パスワードアクセスキーが指定されていませんでした。

## (S)

処理を中断します。

仮想ホスト、またはミドルウェアのセットアップ、更新、アンセットアップで発生した場合は、該当仮想ホストに対する処理を中断し、次の仮想ホストに対する処理を行います。

## (O)

パスワードアクセスキーを指定して再度コマンドを実行してください。解決しない場合、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD25067-E

仮想ホストパスワードの取得に失敗しました。マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb

aa....aa：マスターイメージ ID

bb....bb：ホスト ID

#### 説明

コマンド引数にパスワードアクセスキーが指定されませんでした。または仮想ホストパスワードが取得できませんでした。

(S)

処理を中断します。

仮想ホスト、またはミドルウェアのセットアップ、更新、アンセットアップで発生した場合は、該当仮想ホストに対する処理を中断し、次の仮想ホストに対する処理を行います。

(O)

csdmisetspassword コマンドの-k オプションに指定したパスワードアクセスキーを指定して再度コマンドを実行してください。解決しない場合、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

### KFUD25068-E

パスワードの復元に失敗しました。

#### 説明

パスワードの復号化に失敗しました。

(S)

コマンドを終了します。

(O)

csdinfoget コマンドでトラブルシューティング情報を収集し、システム管理者に連絡してください。

### KFUD25069-E

ISCM を異常終了します。マスターイメージ ID=aa....aa

aa....aa：マスターイメージ ID

#### 説明

このメッセージより前に表示されたメッセージに、異常終了した原因が出力されています。

(S)

ISCM を異常終了します。

(O)

以前に出力されたメッセージに従い、対策してください。このメッセージだけの場合は資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD25070-E

仮想サーバマネージャのユーザ名およびパスワード登録に失敗しました。

### 説明

仮想サーバマネージャのユーザ名およびパスワードが登録できませんでした。

#### (S)

コマンドを終了します。

#### (O)

csdinfoget コマンドでトラブルシューティング情報を収集し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD25071-E

仮想ホストの一時ディレクトリの削除に失敗しました。マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb, ミドルウェア種別=cc....cc, ディレクトリ名=dd....dd, 保守情報=ee....ee

aa....aa：マスターイメージ ID

bb....bb：ホスト ID

cc....cc：ミドルウェア種別 (Cosminexus, HiRDB, マスターイメージ定義ファイルのミドルウェア識別子)

dd....dd：ディレクトリ名

ee....ee：保守情報

### 説明

構築対象ホスト上の一時ディレクトリ削除でエラーが発生しました。

#### (S)

処理を中断します。

ミドルウェアのアンセットアップで発生した場合は、該当ミドルウェアに対するアンセットアップ処理を中断し、次のミドルウェアに対する処理を続行します。

#### (O)

このメッセージの前に KFUD25075-E が出力されている場合は、KFUD25075-E に従って対処を実施してください。KFUD25075-E が出力されていない場合は、構築対象ホストと接続できるかどうかを確認してください。

構築対象ホスト上に、ディレクトリ名のファイルまたはディレクトリが存在する場合は、削除してください。

保守情報 (ee....ee) が「Authenticate error occurred.」の場合は、次のどちらかのパスワードが誤っています。正しいパスワードを設定してください。

- コンポーネントテンプレートに記載した初期パスワード

- csdmisetspassword コマンドで登録したパスワード

## KFUD25072-W

仮想ホストの一時ディレクトリの削除に失敗しました。マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb, ミドルウェア種別=cc....cc, ディレクトリ名=dd....dd, 保守情報=ee....ee

aa....aa : マスターイメージ ID

bb....bb : ホスト ID

cc....cc : ミドルウェア種別 (Cosminexus, HiRDB, マスターイメージ定義ファイルのミドルウェア識別子)

dd....dd : ディレクトリ名

ee....ee : 保守情報

### 説明

構築対象ホスト上の一時ディレクトリ削除でエラーが発生しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

構築対象ホストと接続できるかどうかを確認してください。

構築対象ホスト上に、ディレクトリ名のファイルまたはディレクトリが存在する場合は、削除してください。

## KFUD25073-W

hosts ファイルのバックアップシェルフファイルの削除に失敗しました。マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb, ファイル名=cc....cc

aa....aa : マスターイメージ ID

bb....bb : ホスト ID

cc....cc : ファイル名

### 説明

仮想ホスト上で、hosts ファイルをバックアップするシェルフファイルを削除できませんでした。

(S)

処理を続行します。

(O)

仮想ホストの状態を確認して、シェルフファイルを削除してください。

## KFUD25074-E

指定したファイルへのアクセスに失敗しました。ファイルパス=aa....aa

aa....aa：ファイルパス

### 説明

ファイルへのアクセスに失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

このメッセージに表示されたファイルへのアクセス権を確認してから、再度コマンドを実行してください。ファイルが存在しない場合はディスク容量を確認してから、再度コマンドを実行してください。

## KFUD25075-E

リモートホストへの通信中にエラーが発生しました。原因コード=aa....aa

aa....aa：原因コード

P\_RemoCon.xxx (xxx は番号)：マニュアル「Hitachi IT System Configuration Manager リファレンス」の UOC 詳細を参照してください。

aaaP\_WinCOM.xxx{bbb} (xxx は番号, aaa と bbb は保守情報)：マニュアル「Hitachi IT System Configuration Manager リファレンス」の UOC 詳細を参照してください。

### 説明

リモートホストに対する操作に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

エラーメッセージに表示された原因コードに従ってエラー要因を取り除き、再度実行してください。

## KFUD25078-E

ミドルウェア更新処理が失敗しました。マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb, ミドルウェア種別=cc....cc, 原因コード=dd....dd, 保守情報=ee....ee

aa....aa：マスターイメージ ID

bb....bb：ホスト ID (コンポーネント単位の処理の場合は"\*"が表示されます。)

cc....cc：ミドルウェア種別 (HiRDB, または Cosminexus が出力されます。)

dd....dd：原因コード

ee....ee：保守情報

## 説明

ミドルウェア (cc....cc) が更新できません。

原因コード (dd....dd) の意味を次に示します。

- STATUS CHECK ERROR：ステータスのチェックに失敗しました。
- PASSWORD ACQUISITION ERROR：パスワードの取得に失敗しました。
- SCRIPT EXECUTION ERROR：スクリプトの実行に失敗しました。
- COMMAND ERROR：コマンドがエラー応答を返しました。
- MIDDLEWARE IS WORKING：ミドルウェアが稼働中です。
- STATUS CHANGE ERROR：ステータスの変更失敗しました。
- FILE TRANSFER ERROR：FTP ファイルの転送に失敗しました。
- I/O ERROR：I/O エラーにより失敗しました。
- DEFINITION FILE COPY ERROR：ミドルウェア定義ファイルのコピーに失敗しました。
- ILLEGAL APPLICATION STATUS：業務アプリケーションの状態が"running", "stopped"以外の状態です。

## (S)

該当する仮想ホストのセットアップ処理を中断し、あとに続く仮想ホストのセットアップ要求を続けます。

## (O)

原因コードに従って対処を実施してください。

原因コードが I/O ERROR または DEFINITION FILE COPY ERROR の場合は、次の対処を実施してください。

このメッセージのあとに [KFUD25083-W](#) メッセージが出力されている場合は、先に [KFUD25083-W](#) メッセージの対処を実施してください。その後、再度コマンドを実行してください。

PaaS 利用者の場合：PaaS 提供者へ連絡してください。PaaS 提供者がエラーの要因を取り除いたあと、マスターイメージ定義ファイルの内容を変更しないで再度コマンドを実行してください。

PaaS 提供者の場合：システム定義の userdata.filepath プロパティで指定したパスのディスク容量、読み込み/書き込み権限があるかどうかを確認してください。

原因コードが ILLEGAL APPLICATION STATUS の場合は、デプロイした仮想ホストにログインし、保守情報に出力された業務アプリケーションの状態を"running"または"stopped"に変更してから、再度コマンドを実行してください。

ミドルウェア種別が Cosminexus で原因コードが COMMAND ERROR の場合、保守情報に仮想サーバマネージャのエラーメッセージが出力される場合があります。仮想サーバマネージャのマニュアルに

従って対処を実施してください。また、対象仮想ホストで運用管理エージェント、Management Server、および J2EE サーバの起動状態を確認し、起動している場合は停止してください。

ミドルウェア種別が Cosminexus で原因コードが COMMAND ERROR かつ保守情報に cosminexus sinagent connect error が出力された場合、仮想ホスト側のサーバ通信エージェントが起動しているか、接続を許可する IP アドレスの設定が正しいかどうかを確認してください。接続を許可する IP アドレスの設定については、マニュアル「Hitachi IT System Configuration Manager 解説」の「仮想イメージテンプレートの作成」の章を参照してください。

## KFUD25079-E

ファイルの読み込みに失敗しました。ファイルパス=aa....aa

aa....aa：ファイルパス

### 説明

ファイルが存在しない、または読み込み権限がありません。

(S)

処理を中断します。

(O)

メッセージに表示されたファイルが存在しない場合は、ディスク障害の有無を確認してください。ディスク障害がない場合は、ISCM を再インストールしてください。

メッセージに表示されたファイルが存在する場合は、読み込み権限を確認してください。原因を取り除いた後、再度コマンドを実行してください。

## KFUD25080-E

ファイルの解析に失敗しました。ファイルパス=aa....aa

aa....aa：ファイルパス

### 説明

ファイルの内容が不正です。

(S)

処理を中断します。

(O)

ISCM を再インストール後、再度コマンドを実行してください。

## KFUD25081-E

ファイル編集集中にエラーが発生しました。ファイルパス=ファイルパス=aa....aa, 保守情報=bb....bb

aa....aa：ファイルパス

bb....bb：保守情報（ファイル編集集中に発生した例外情報）

## 説明

ファイル編集集中にエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD25082-E

仮想サーバマネージャのユーザ名が登録されていません。

## 説明

csdsetaccount コマンドでユーザ名が登録されていません。

(S)

処理を中断します。

(O)

PaaS 利用者の場合：PaaS 提供者に連絡してください。

PaaS 提供者の場合：csdsetaccount コマンドでユーザ名を登録してください。そのあと、再度コマンドを実行してください。

## KFUD25083-W

Cosminexus の更新中にエラーが発生したため、業務アプリケーションまたはリソースアダプタが削除されている可能性があります。仮想ホストの Cosminexus の状態を確認してください。マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb

aa....aa：マスターイメージ ID

bb....bb：ホスト ID

## 説明

ISCM が Cosminexus の設定を更新するために一時的に業務アプリケーションまたはリソースアダプタを削除した状態でエラーが発生した可能性があります。

(S)

対象の仮想ホストに対する処理を中断します。他の仮想ホストの処理を続行するかどうかはコンポーネントテンプレートのエラー時続行可否フラグ（errorProcess）の指定に従います。

(O)

業務アプリケーションまたはリソースアダプタが削除されていないか Cosminexus の状態を確認してください。

削除されている場合は、ISCM が退避したバックアップファイルを使って、Cosminexus のコマンドで業務アプリケーションまたはリソースアダプタを再登録してください。

バックアップファイルの格納先および退避するバックアップファイルの内容については、マニュアル「Hitachi IT System Configuration Manager リファレンス」の「csdmideploy (マスターイメージのデプロイ)」を参照してください。

対処後、再度コマンドを実行してください。

## KFUD25084-E

定義ファイルに必須のパラメタが指定されていません。ファイルパス=aa....aa, パラメタ名=bb....bb

aa....aa：ファイルパス

bb....bb：パラメタ名

### 説明

ISCM が Cosminexus の更新を行うために必須のパラメタが定義ファイルに指定されていないため、処理を続行できません。

このエラーメッセージが出力される場合、コマンド実行時に -c オプションを指定することで処理を実行できますが、その場合は Cosminexus のコンポーネントテンプレートで付属ファイルに格納した業務アプリケーションやリソースアダプタ以外は Cosminexus の更新時に削除します。

### (S)

処理を中断します。

### (O)

PaaS 利用者の場合：各仮想ホストの Cosminexus から ISCM を使わずに登録した業務アプリケーションやリソースアダプタを退避したあとで、-c オプションを指定してコマンドを実行してください。そのあと、退避した業務アプリケーションやリソースアダプタを再登録してください。

PaaS 提供者の場合：必要に応じて、Cosminexus のミドルウェア定義を見直してください。

## KFUD25085-E

マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb, ミドル種別=cc....cc, コマンドライン=dd....dd, リターン=ee....ee

aa....aa：マスターイメージ ID

bb....bb：ホスト ID (コンポーネント単位の処理の場合は "\*" が表示されます。)

cc....cc：ミドルウェア種別 (HiRDB, または Cosminexus が表示されます。)

dd....dd：コマンドライン

ee....ee：戻り値

## 説明

表示されたコマンドの実行に失敗しました。

### (S)

処理を中断します。

### (O)

このメッセージの前に出力されるメッセージに従い、対処してください。

## KFUD25086-W

アンセットアップスクリプトの転送に失敗しました。マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb, ミドルウェア種別=cc....cc, 転送元ファイルパス=dd....dd, 転送先ファイルパス=ee....ee, 保守情報=ff....ff

aa....aa : マスターイメージ ID

bb....bb : ホスト ID

cc....cc : ミドルウェア種別 (HiRDB, マスターイメージ定義ファイルのミドルウェア識別子)

dd....dd : 転送元ファイルパス

ee....ee : 転送先ファイルパス

ff....ff : 保守情報 (例外情報)

## 説明

アンセットアップスクリプトの転送に失敗しました。

### (S)

該当ミドルウェアに対するアンセットアップ処理を中断し、次のミドルウェアに対する処理を続行します。

### (O)

仮想ホスト, ミドルウェアの状態を確認して, 必要な場合は `csdmivmstatus -g alldeployed` コマンドでステータスを変更して再度コマンドを実行してください。

## KFUD25087-W

アンセットアップスクリプトの実行に失敗しました。マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb, ミドルウェア種別=cc....cc, スクリプトファイルパス=dd....dd, 保守情報=ee....ee

aa....aa : マスターイメージ ID

bb....bb : ホスト ID

cc....cc : ミドルウェア種別 (HiRDB, マスターイメージ定義ファイルのミドルウェア識別子)

dd....dd：スクリプトファイルパス

ee....ee：保守情報

command exit status = XXX (XXX=戻り値)：実行したスクリプトがエラーリターンした場合

signal XXX occurred. (XXX=シグナル名)：スクリプトがシグナル発生で終了した場合

例外情報：スクリプト実行中に例外が発生した場合

## 説明

アンセットアップスクリプトの実行が失敗しました。

### (S)

該当ミドルウェアに対するアンセットアップ処理を中断し、次のミドルウェアに対する処理を続行しません。

### (O)

仮想ホスト、ミドルウェアの状態を確認して、必要な場合は `csdmivmstatus -g alldeployed` コマンドでステータスを変更して再度コマンドを実行してください。

## KFUD25088-W

ミドルウェアアンセットアップでタイムアウトしました。マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb, ミドルウェア種別=cc....cc, 原因コード=dd....dd

aa....aa：マスターイメージ ID

bb....bb：ホスト ID

cc....cc：ミドルウェア種別 (HiRDB, マスターイメージ定義ファイルのミドルウェア識別子)

dd....dd：原因コード

## 説明

ミドルウェアアンセットアップでタイムアウトしました。

次のどれかの処理でタイムアウトした場合に出力します。

- アンセットアップスクリプトの転送
- アンセットアップスクリプトの実行
- ミドルウェアアンセットアップ時の仮想ホスト操作 (一時ディレクトリ作成・削除など)

原因コード (dd....dd) の意味を次の表に示します。

原因コード	意味
FILE TRANSFER ERROR	ファイル転送中にタイムアウトしました。
SCRIPT EXECUTION ERROR	スクリプト実行中にタイムアウトしました。

原因コード	意味
COMMAND ERROR	仮想ホストでコマンド実行中（仮想ホストの一時ディレクトリ削除など）にタイムアウトしました。

(S)

該当ミドルウェアに対するアンセットアップ処理を中断し、次のミドルウェアに対する処理を続行します。

(O)

PaaS 利用者の場合：仮想ホスト、ミドルウェアの状態を確認して、必要な場合は `csdmivmstatus -g alldeployed` コマンドでステータスを変更して再度コマンドを実行してください。

PaaS 提供者の場合：必要に応じてシステム定義ファイル (`csd.properties`) のタイムアウト値 (`deploy.sshexcute.timer`) を見直してください。

## KFUD25089-E

アップデートスクリプトの実行に失敗しました。マスターイメージ ID=aa....aa, ホスト ID=bb....bb, ミドルウェア種別=cc....cc, スクリプトファイルパス=dd....dd, 保守情報=ee....ee

aa....aa：マスターイメージ ID

bb....bb：ホスト ID

cc....cc：ミドルウェア種別（Cosminexus, HiRDB, マスターイメージ定義ファイルのミドルウェア識別子）

dd....dd：スクリプトファイルパス

ee....ee：保守情報

command exit status = XXX (XXX=戻り値)：実行したスクリプトがエラーリターンした場合

signal XXX occurred. (XXX=シグナル名)：スクリプトがシグナル発生で終了した場合

例外情報：スクリプト実行中に例外が発生した場合

## 説明

ミドルウェアのアップデートスクリプトの実行に失敗しました。

(S)

該当 VM に対するアップデート処理を中断し、次の VM に対するアップデート処理を行います。

(O)

仮想ホスト、ミドルウェアの状態およびアップデートスクリプトを確認して、原因を取り除いてください。そのあと、再度コマンドを実行してください。

## KFUD25999-E

内部矛盾が発生しました。

### 説明

内部矛盾が発生しました。

#### (S)

処理を中断します。

#### (O)

csdinfoget コマンドでトラブルシューティング情報を収集し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD26000-E

UOC 処理でエラーが発生しました。依頼元スレッド ID=aa....aa, エラー発生元=bb....bb, マスターイメージ ID=cc....cc, ホスト名=dd....dd, 識別子=ee....ee, UOC 種別=ff....ff, 原因コード=gg....gg

aa....aa : 依頼元スレッド ID

bb....bb : エラー発生元

cc....cc : マスターイメージ ID

dd....dd : 仮想ホスト名

ee....ee : 識別子

ff....ff : UOC 種別

gg....gg : 原因コード

### 説明

UOC 処理で例外が発生しました。

#### (S)

処理を中断します。

#### (O)

UOC 内の処理を見直し、jar ファイルを再度登録したあと、再度コマンドを実行してください。

## KFUD26001-E

UOC 処理のエラーを検知しました。スレッド ID=aa....aa, マスターイメージ ID=bb....bb, UOC 種別=cc....cc, 原因コード=dd....dd, UOC 例外情報=ee....ee

aa....aa : スレッド ID

bb....bb : マスターイメージ ID

cc....cc : UOC 種別

dd....dd : 原因コード

ee....ee : UOC 例外情報

#### 説明

UOC 処理での例外を検知しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

UOC 内の処理を見直し、jar ファイルを再度登録したあと、再度コマンドを実行してください。

### KFUD26002-E

UOC 処理で例外が発生しました。スタックトレース=aa....aa

aa....aa : スタックトレース

#### 説明

UOC 処理で例外を検知しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

UOC 内の処理を見直し、jar ファイルを再度登録したあと、再度コマンドを実行してください。

### KFUD26003-E

リモートホストへの通信中にエラーが発生しました。メソッド=aa....aa, プロトコル=bb....bb, IP アドレス=cc....cc, 原因コード=dd....dd, 保守情報 1=ee....ee, 保守情報 2=ff....ff, 保守情報 3=gg....gg

aa....aa : メソッド名

putFile (String, String)

execCommand (String)

getFile (String, String)

newInstance (Properties, String, String, String, CommunicationProtocol)

newInstance

bb....bb : プロトコル

DCOM

SSH

cc....cc：IP アドレス（リモートホストの IP アドレス）

dd....dd：原因コード

P\_RemCon.xxx（xxx は数字）：マニュアル「Hitachi IT System Configuration Manager リファレンス」の UOC 詳細を参照してください。

P\_LinSSH.xxx（xxx は数字）：マニュアル「Hitachi IT System Configuration Manager リファレンス」の UOC 詳細を参照してください。

ee....ee：保守情報 1

NULL SPECIFIED：引数に null が指定されました。

LENGTH：引数に指定した値の文字数が不正です。

RANGE：引数に指定した値の範囲が不正です。

NOT NUMBER：引数が数値ではありません。

NOT ABSOLUTE PATH：引数のパスが絶対パスではありません。

RESERVED NAME SPECIFIED：引数のパスに予約デバイス名が含まれています。

DRIVE SPECIFIED：引数のパスにドライブ指定されました。

NOT IPv4 ADDRESS：引数の IP アドレスに Pv4 アドレス以外が指定されました。

ff....ff：保守情報 2

USER NAME：ユーザ名にエラーがありました。

PASSWORD：パスワードにエラーがありました。

IP ADDRESS：IP アドレスにエラーがありました。

PROTOCOL：プロトコルの指定にエラーがありました。

PORT：ポートにエラーがありました。

RETRY NUMBER：再確立回数にエラーがありました。

RETRY WAIT TIME：再確立間隔にエラーがありました。

EXECUTE WAIT TIME：SSH 実行終了待ち時間にエラーがありました。

リモートホスト上で実行するコマンドライン：メソッドが execCommand の場合。

ISCM サーバの転送元パス：メソッドが putFile かつ、保守情報 1 が "\*" の場合。

ISCM サーバの取得先パス：メソッドが getFile かつ、保守情報 1 が "\*" の場合。

リモートホストの転送先パス：メソッドが putFile かつ、保守情報 1 が "\*" 以外の場合。

リモートホストの取得元パス：メソッドが getFile かつ、保守情報 1 が "\*" 以外の場合。

gg....gg：保守情報 3

リモートホストの転送先パス：メソッドが putFile の場合。

ISCM サーバの取得先パス：メソッドが getFile の場合。

"\*":メソッドが putFile, getFile 以外の場合。

## 説明

リモートホストへの通信中にエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

原因コードが「\*」である場合は、[KFUD25075-E](#) のメッセージを参照してください。原因コードに応じて UOC 内の処理を見直し、jar ファイルを再登録後 ISCM を再起動して、再度コマンドを実行してください。

## KFUD26004-E

排他ロック獲得中にエラーが発生しました。原因コード=aa....aa

aa....aa：原因コード

P\_RemCon.001：null 指定不可の参照型引数に対して null を指定しました。

P\_RemCon.002：引数に指定範囲外の値を設定しました。

P\_RemCon.003：多重ロックを獲得しようとしてしました。

P\_RemCon.004：排他ロックが獲得できずタイムアウトしました。

## 説明

排他ロック獲得中にエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

原因コードに応じて UOC 内の処理を見直し、jar ファイルを再登録後 ISCM を再起動して、再度コマンドを実行してください。

## KFUD26005-E

指定されたクラスをロードできませんでした。ファイル名=aa....aa, クラス名=bb....bb

aa....aa : ファイル名

bb....bb : クラス名

### 説明

指定されたクラスをロードできませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

クラス名やファイル名を確認し、再度実行してください。

## KFUD27000-E

ISCM との通信に必要な情報が設定されていません。

### 説明

ISCM との通信のために必要な情報が設定されていません。

入力が必須のプロパティが設定されていないおそれがあります。

(S)

処理を中断します。

(O)

必須プロパティをすべて設定してください。改善しない場合は、サービステンプレートをインポートし直してください。

## KFUD27001-E

ISCM のユーザ認証に失敗しました。ユーザ名=aa....aa

aa....aa : ユーザ名

### 説明

ISCM の機能を実行するユーザとして指定したユーザの認証に失敗しました。次の原因が考えられます。

- ユーザ名, パスワードが誤っています。
- 対象ユーザアカウントが OS の設定で無効になっているか, ログインを制限されています。

- 対象ユーザアカウントまたはパスワードの有効期限が切れています。
- 対象ホストが OS の設定でネットワーク経由のログインを制限しています。

(S)

処理を中断します。

(O)

JP1/AO のサービス設定ダイアログボックスで、要求先 ISCM とユーザの設定を見直してください。  
また、システム管理者に連絡して対象ユーザがログイン制限されていないか設定を確認してください。

## KFUD27002-E

入力ファイルを ISCM に送信できませんでした。プロパティ名=aa....aa, ファイル名=bb....bb

aa....aa : プロパティ名

bb....bb : ファイル名

### 説明

JP1/AO のサービス実行画面で指定した入力ファイルを ISCM サーバに転送する処理に失敗しました。  
次の原因が考えられます。

- 圧縮ファイルに格納されているファイルまたはディレクトリの名前が、半角英数字記号以外、かつ UTF-8 以外の文字コードを使用しています (パスは"\*"を出力します)。
- 圧縮ファイルに格納されているファイルまたはディレクトリが絶対パスで格納されています。
- 圧縮ファイルに格納されているファイルまたはディレクトリの出力先が、カレントディレクトリ、そのサブディレクトリ以外のパスになっています (格納パスに"."が使用され、上位ディレクトリを指している場合など)。
- クライアントと ISCM サーバ間で通信エラーが発生しました。
- ISCM サーバのユーザデータ用一時ディレクトリ (ISCM システムプロパティ userdata.filepath 指定パス) の書き込み権限がない、または容量が不足しています。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の対策をしてください。

- 入力に使用した圧縮ファイルの内容を確認してください。
- ISCM システムプロパティ userdata.filepath 指定パスの容量および権限を確認してください。

## KFUD27003-E

入力ファイルの読み込みに失敗しました。プロパティ名=aa....aa, ファイル名=bb....bb

aa....aa：プロパティ名

bb....bb：ファイル名

#### 説明

JP1/AO のサービス実行画面で指定した入力ファイルを読み込めませんでした。次の原因が考えられます。

- JP1/AO の入力プロパティで指定したファイルが存在しない、または読み込み権限がありません。
- JP1/AO の入力プロパティで指定したファイルのサイズが 100MB を超過しています。

(S)

処理を中断します。

(O)

入力プロパティに指定したファイルの権限またはサイズを確認してください。

#### KFUD27004-Q

ダウンロードの準備が完了しました。ファイルを出力しますか？

#### KFUD27005-E

ファイルの出力に失敗しました。ファイル名=aa....aa

aa....aa：ファイル名

#### 説明

指定したファイルの出力に失敗しました。次の原因が考えられます。

- 指定した出力先に書き込み権限がありません。

(S)

処理を中断します。

(O)

出力先の権限を確認して再度実行してください。

#### KFUD27006-E

ISCM から詳細情報を取得できませんでした。種別=aa....aa, 名称=bb....bb

aa....aa：種別

- TEMPLATE：テンプレート
- MASTERIMAGE：マスターイメージ

bb....bb：名称

- ・種別が TEMPLATE の場合：テンプレート名
- ・種別が MASTERIMAGE の場合：マスターイメージ名

## 説明

詳細情報の取得に失敗しました。次の原因が考えられます。

- ・ 詳細情報を取得しようとした対象が ISCM から削除されています。
- ・ ISCM サーバが起動していません。
- ・ クライアントと ISCM サーバ間で通信エラーが発生しました。
- ・ DB アクセスに失敗しました。

## (S)

処理を中断します。

## (O)

次の対策を行ったあと、再度実行してください。

- ・ 最新のテンプレートまたはマスターイメージの一覧を取得し、対象が削除されていないかどうかを確認してください。
- ・ ISCM サーバ起動しているかどうかを確認してください。起動していない場合は ISCM サーバを起動してください。
- ・ クライアントと ISCM サーバ間のネットワーク環境を見直してください。
- ・ ISCM のメッセージログにエラーメッセージが出力されている場合は、エラーメッセージの対処に従ってください。

## KFUD27007-E

ISCM からファイルをダウンロードできませんでした。種別=aa....aa, 名称=bb....bb, 操作=cc....cc

aa....aa：種別

- ・ TEMPLATE：テンプレート
- ・ MASTERIMAGE：マスターイメージ
- ・ LOG：ログ

bb....bb：名称

- ・ 種別が TEMPLATE の場合：テンプレート名
- ・ 種別が MASTERIMAGE の場合：マスターイメージ名
- ・ 種別が LOG の場合："\*"

cc....cc：操作

- TEMPLATE\_FILE：テンプレートファイルダウンロード
- TEMPLATE\_ATTACHMENT\_FILE：テンプレート付属ファイルダウンロード
- MASTERIMAGE\_FILE：マスターイメージ定義ファイルダウンロード
- MASTERIMAGE\_ATTACHMENT\_FILE：マスターイメージ付属ファイルダウンロード
- MASTERIMAGE\_EXPORT：マスターイメージのエクスポート
- UCSD\_LOG：uCSD ログダウンロード

## 説明

ISCM サーバからファイルのダウンロードに失敗しました。次の原因が考えられます。

- ISCM サーバが起動していません。
- クライアントと ISCM サーバ間で通信エラーが発生しました。
- 取得しようとしたファイルのサイズが 100MB を超過しました。

種別によってさらに次の原因が考えられます。

《種別が TEMPLATE または MASTERIMAGE の場合》

- 指定したテンプレートまたはマスターイメージが削除されています。
- DB アクセスに失敗しました。

《種別が LOG の場合》

- 取得を要求したファイルが ISCM サーバに存在しません。

## (S)

処理を中断します。

## (O)

次の対策を行ったあと、再度実行してください。

- ISCM サーバが起動しているかどうかを確認してください。起動していない場合は ISCM サーバを起動してください。
- クライアントと ISCM サーバ間のネットワーク環境を確認してください。
- ISCM のメッセージログにエラーメッセージが出力されている場合は、エラーメッセージの対処に従ってください。

種別が TEMPLATE または MASTERIMAGE の場合

- 最新のテンプレートまたはマスターイメージの一覧を取得し、対象が削除されていないかどうかを確認してください。
- ISCM がインストールされているホストにログインし、直接コマンドでファイルまたはディレクトリを取得してください。

種別が LOG の場合

ISCM がインストールされているホストにログインし、直接ログを参照してください。

## KFUD27008-E

ISCM から情報を取得できませんでした。取得情報=aa....aa

aa....aa：取得情報

- TEMPLATE\_LIST：テンプレート一覧
- MASTERIMAGE\_LIST：マスターイメージ一覧
- RESOURCE\_INFO：物理リソース情報

### 説明

ISCM から情報の取得に失敗しました。次の原因が考えられます。

- ISCM サーバが起動していません。
- クライアントと ISCM サーバ間で通信エラーが発生しました。
- DB アクセスに失敗しました。

### (S)

処理を中断します。

### (O)

次の対策を行ったあと、再度実行してください。

- ISCM サーバが起動しているかどうかを確認してください。起動していない場合は ISCM サーバを起動してください。
- クライアントと ISCM サーバ間のネットワーク環境を見直してください。
- ISCM のメッセージログにエラーメッセージが出力されている場合は、エラーメッセージの対処に従ってください。

## KFUD27009-E

ISCM との通信に失敗しました。

### 説明

ISCM との通信に失敗しました。次の原因が考えられます。

- ホスト名、ポート番号の指定が誤っています。
- JP1/AO の URL と入力プロパティに指定した ISCM のホスト名または IP アドレスが一致していません。
- ISCM サーバが起動していません。
- クライアントと ISCM サーバ間で通信エラーが発生しました。

### (S)

処理を中断します。

(O)

次の対策を行ったあと、再度実行してください。

- ホスト名、ポート番号が正しいかどうかを確認してください。
- JP1/AO の URL と入力プロパティに指定した ISCM のホスト名または IP アドレスが一致しているかどうかを確認してください。
- ISCM サーバが起動しているかどうかを確認してください。
- クライアントと ISCM サーバ間のネットワーク環境を見直してください。

## KFUD27010-E

ユーザ認証中に ISCM サーバでエラーが発生しました。

### 説明

ISCM のユーザ認証を実行中に ISCM サーバでエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

ISCM のメッセージログに出力されるエラーメッセージの対処に従ってください。

## 2.3 KFUD80000 から KFUD89999 までのメッセージ

---

### KFUD80000-I

```
Installation ended successfully.
```

#### 説明

ミドルウェアインストールコマンドが正常に完了しました。

### KFUD81000-E

```
Installation terminated abnormally. error type=aa....aa, reason code=bb....bb, info=cc....cc
```

aa....aa：エラー情報

bb....bb：詳細情報

cc....cc：保守情報

#### 説明

ミドルウェアインストールコマンドが異常終了しました。

エラー情報 (aa....aa) の意味を次に示します。

- ACCESS\_FAILED：コマンドで指定した引数が間違っている。またはファイル、ディレクトリに読み込み権限、実行権限が付与されているか、別プログラム等で使用されている
- COMMAND\_EXECUTION\_ERROR：コマンド実行に失敗
- INSTALLER\_ERROR：日立 PP インストーラでエラーが発生
- INTERNAL\_ERROR：内部エラーが発生
- INVALID\_ARUGUMENTS：引数に誤りがある
- PROCESS\_CREATION\_ERROR：プロセス生成に失敗
- PROCESS\_EXECUTION\_ERROR：プロセス実行に失敗
- SPECIFIED\_NUMBER\_ERROR：ミドルウェアインストールコマンドに指定した引数の数が不正

詳細情報 (bb....bb) の意味を次に示します。

- ファイル、ディレクトリパス：アクセスエラーが発生したファイル、ディレクトリのパス
- コマンド実行時のエラー情報：コマンド実行時のエラー情報
- インストーラの戻り値：日立 PP インストーラの戻り値
- 内部エラー発生時のエラー情報：内部エラー発生の原因となった文字列
- 不正なオプション名：ミドルウェアインストールコマンドの形式に則っていないオプション名
- プロセス生成時のエラー情報：プロセス生成時のエラー情報

- プロセス実行時のエラー情報：プロセス実行時のエラー情報
- 指定した引数の数：ミドルウェアインストールコマンドに指定した引数の数

(S)

処理を中断します。

(O)

エラー情報，詳細情報からエラー要因を取り除き，再度コマンドを実行してください。

## 2.4 KFUD90000 から KFUD99999 までのメッセージ

---

KFUD90000 から KFUD99999 までのメッセージとその対処方法について説明します。

### KFUD90000-E

コマンドラインの形式が不正です。エラー情報=aa....aa

aa....aa：エラー情報

#### 説明

コマンドラインの形式が不正です。

(S)

処理を中断します。

(O)

コマンドの仕様を確認し、再度コマンドを実行してください。

### KFUD90001-E

指定したファイルパスが不正です。ファイル名=aa....aa

aa....aa：ファイル名

#### 説明

ファイルパスが不正です。

(S)

処理を中断します。

(O)

ファイルのパス情報を確認し、再度コマンドを実行してください。

### KFUD90002-E

指定したファイルが存在しません。ファイル名=aa....aa

aa....aa：ファイル名

#### 説明

ファイルがありません。

(S)

処理を中断します。

(O)

ファイルのパス情報を確認し、再度コマンドを実行してください。

## KFUD90003-E

指定したファイルと同名のファイル、またはディレクトリが存在します。ファイル名=aa....aa

aa....aa：ファイル名

### 説明

すでに同じ名称のファイル、またはディレクトリがあります。

(S)

処理を中断します。

(O)

ファイルのパス情報を確認し、再度コマンドを実行してください。

## KFUD90004-E

指定したファイルへのアクセスに失敗しました。ファイル名=aa....aa

aa....aa：ファイル名

### 説明

ファイルへのアクセスに失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

ファイルのアクセス権限を見直し、再度コマンドを実行してください。

## KFUD90006-E

指定したファイルのサイズがオーバーしています。ファイル名=aa....aa

aa....aa：ファイル名

### 説明

ファイルのサイズがオーバーしています。

(S)

処理を中断します。

(O)

指定したファイルが正しいか確認し、再度コマンドを実行してください。

## KFUD90007-E

指定したディレクトリパスが不正です。ディレクトリ名=aa....aa

aa....aa : ディレクトリ名

#### 説明

ディレクトリパスが不正です。

(S)

処理を中断します。

(O)

ファイルのパス情報を確認し、再度コマンドを実行してください。

#### KFUD90008-E

指定したディレクトリが存在しません。ディレクトリ名=aa....aa

aa....aa : ディレクトリ名

#### 説明

指定したディレクトリがありません。

(S)

処理を中断します。

(O)

ディレクトリのパス情報を確認し、再度コマンドを実行してください。

#### KFUD90009-E

指定したディレクトリへのアクセスに失敗しました。ディレクトリ名=aa....aa

aa....aa : ディレクトリ名

#### 説明

ディレクトリへのアクセスに失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

ディレクトリのアクセス権限を見直し、再度コマンドを実行してください。

#### KFUD90011-E

一時ディレクトリの作成に失敗しました。

#### 説明

容量不足、アクセス権限がないなどの理由から、一時ディレクトリの作成に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

ディスク容量, または実行権限を確認し, 再度コマンドを実行してください。

## KFUD90012-E

ファイル圧縮処理中にエラーが発生しました。

### 説明

I/O エラーなどの理由から, ファイルの圧縮処理に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

csdinfoget コマンドでトラブルシューティング情報を収集し, システム管理者に連絡してください。

## KFUD90013-E

ファイル解凍処理中にエラーが発生しました。

### 説明

I/O エラーなどの理由から, ファイルの解凍処理に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

csdinfoget コマンドでトラブルシューティング情報を収集し, システム管理者に連絡してください。

## KFUD90014-E

プロパティファイルの読み込みに失敗しました。

### 説明

I/O エラーなどの理由から, プロパティファイルへのアクセスに失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

csdinfoget コマンドでトラブルシューティング情報を収集し, システム管理者に連絡してください。

## KFUD90015-E

コマンドの実行に必要なユーザ権限がありません。ユーザ名=aa....aa

aa....aa：ユーザ名

### 説明

PaaS 管理者権限のないユーザがコマンドを実行しようとしてしました。

(S)

処理を中断します。

(O)

PaaS 管理者権限を持つユーザが再度、コマンドを実行してください。

## KFUD90016-E

指定したディレクトリと同名のファイル、またはディレクトリが存在します。ディレクトリ名=aa....aa

aa....aa：ディレクトリ名

### 説明

すでに同じ名称のファイル、またはディレクトリがあります。

(S)

処理を中断します。

(O)

指定するディレクトリ名称を確認し、再度コマンドを実行してください。

## KFUD90017-E

指定したファイルの合計サイズがオーバーしています。合計サイズ=aa....aa, 最大サイズ=bb....bb

aa....aa：コマンドに指定したファイル、および指定したディレクトリ下にある全ファイルの合計サイズ  
(単位：バイト)

bb....bb：コマンドに指定可能なファイル、および指定したディレクトリ下にある全ファイルの合計サイズ  
最大値 (単位：バイト)

### 説明

指定したファイル、および指定したディレクトリ下にある全ファイルの合計サイズが最大値をオーバー  
しています。

(S)

処理を中断します。

(O)

指定したファイル、および指定したディレクトリ下のファイルのサイズを減らし、再度コマンドを実行してください。

または、PaaS 提供者に依頼してシステム定義の send.all.filesize プロパティの値を拡張してください。

## KFUD90018-E

指定したマスターイメージ名称が不正です。マスターイメージ名=aa....aa

aa....aa：マスターイメージ名

### 説明

マスターイメージ名として使用できない文字が含まれているか、マスターイメージ名として指定できる文字数を超過しています。

(S)

処理を中断します。

(O)

マスターイメージ名を見直し、再度コマンドを実行してください。

## KFUD90019-E

指定したマスターイメージ ID が不正です。マスターイメージ ID=aa....aa

aa....aa：マスターイメージ ID

### 説明

マスターイメージ ID が、1～8 桁の符号なし整数以外の値で指定されています。

(S)

処理を中断します。

(O)

マスターイメージ ID を見直し、再度コマンドを実行してください。

## KFUD90020-E

指定したテンプレート名称が不正です。テンプレート名=aa....aa

aa....aa：テンプレート名

### 説明

テンプレート名として使用できない文字が含まれているか、テンプレート名として指定できる文字数を超過しています。

(S)

処理を中断します。

(O)

テンプレート名を見直し、再度コマンドを実行してください。

#### KFUD90021-E

指定したテンプレート ID が不正です。テンプレート ID=aa....aa

aa....aa：テンプレート ID

#### 説明

テンプレート ID が、1～8 桁の符号なし整数以外の値で指定されています。

(S)

処理を中断します。

(O)

テンプレート ID を見直し、再度コマンドを実行してください。

#### KFUD90022-E

指定したファイル、またはディレクトリの上位ディレクトリが存在しません。上位ディレクトリ名=aa....aa

aa....aa：上位ディレクトリ名

#### 説明

指定したファイル、またはディレクトリの上位のディレクトリがありません。

(S)

処理を中断します。

(O)

上位ディレクトリを作成し、再度コマンドを実行してください。

#### KFUD90023-E

指定したファイルの作成に失敗しました。ファイル名=aa....aa

aa....aa：ファイル名

#### 説明

指定したファイルの作成に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

指定したファイル名を見直し、再度コマンドを実行してください。

#### KFUD90024-E

指定したディレクトリの作成に失敗しました。ディレクトリ名=aa....aa

aa....aa：ディレクトリ名

#### 説明

指定したディレクトリの作成に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

指定したディレクトリ名を見直し、再度コマンドを実行してください。

#### KFUD90025-E

ファイル操作中にエラーが発生しました。保守情報=aa....aa, 対象パス=bb....bb

aa....aa：保守情報

bb....bb：対象パス

#### 説明

ファイル、またはディレクトリの操作中にディスク障害などのエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

ディスク容量を確認してください。また、ディスクにアクセスできるかどうかを確認してください。

#### KFUD90026-E

入力文字を読み取ることができませんでした。

#### 説明

問い合わせメッセージに対するユーザの入力文字を読み取れませんでした。

(S)

処理を中断します。

(O)

再度コマンドを実行してください。

## KFUD90027-E

対象ファイル、または対象ディレクトリのパス長が制限を超えています。パス=aa....aa

aa....aa：該当パス

### 説明

対象ファイル、またはディレクトリのフルパスの文字数が 248 文字以上です。

(S)

処理を中断します。

(O)

パス長を確認してください。

## KFUD90028-E

圧縮ファイルのサイズがオーバーしています。ファイルサイズ=aa....aa, 最大サイズ=bb....bb

aa....aa：コマンドに指定したファイル、および指定したディレクトリを圧縮したファイルのサイズ（単位：バイト）

bb....bb：圧縮ファイルサイズの最大値（単位：バイト）

### 説明

指定したファイル、および指定したディレクトリを圧縮したファイルのサイズが最大値をオーバーしています。

(S)

処理を中断します。

(O)

指定したファイル、および指定したディレクトリ下のファイルのサイズを減らし、再度コマンドを実行してください。

## KFUD90051-E

メモリ不足が発生しました。コマンド=aa....aa

aa....aa：コマンド名

### 説明

メモリ不足が発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

メモリの使用状況を確認し、再度コマンドを実行してください。

## KFUD90060-E

```
The command terminated abnormally. Command=aa....aa
```

aa....aa：コマンド名

### 説明

エラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

直前に出力されたメッセージを確認してエラー原因を取り除き、再度コマンドを実行してください。

## KFUD90061-E

```
The error occurred. maintenance information=aa....aa, maintenance information=bb....bb,  
maintenance information=cc....cc
```

aa....aa：関数名

bb....bb：行数

cc....cc：GetLastError の値

### 説明

コマンドの実行中にエラーが発生しました。次の原因が考えられます。

- インストールに失敗しています。
- コマンドの権限がありません。
- メモリが不足しています。

(S)

処理を中断します。

(O)

インストールが正しく行われているか、コマンドの実行権限があるか、およびメモリの使用状況を確認して、再度コマンドを実行してください。

問題が解決できない場合は、csdinfoget コマンドでトラブルシュート情報を収集し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD90062-E

The file or directory is not found. path=aa....aa

aa....aa：ファイル，およびディレクトリ名（フルパス）

### 説明

次の原因が考えられます。

- セットアップが正しく実行されていません。
- ファイル，またはディレクトリがありません。

(S)

処理を中断します。

(O)

セットアップが正しく実行されているかどうかを確認してください。

## KFUD90068-E

ユーザの認証で異常が発生しました。保守情報=aa....aa, 値=bb....bb

aa....aa：関数名

bb....bb：エラーコード

### 説明

ユーザの認証で異常が発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

ユーザ名，パスワードを見直し，再度実行してください。また，ユーザの実行権限を確認してください。

## KFUD90099-E

内部矛盾が発生しました。コマンド=aa....aa, 保守情報=bb....bb

aa....aa：コマンド名

bb....bb：保守情報（スタックトレース）

### 説明

内部矛盾が発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

csdinfoget コマンドでトラブルシューティング情報を収集し、システム管理者に連絡してください。

#### KFUD90300-I

セットアップが正常に完了しました。

#### KFUD90301-I

アンセットアップが正常に完了しました。

#### KFUD90302-E

セットアップを中断しました。原因コード=aa....aa, 保守情報=bb....bb

aa....aa：原因コード

bb....bb：保守情報 (GetLastError の値)

(S)

処理を中断します。

(O)

<ISCM のインストールディレクトリ>%mgr%system 下のファイル、またはディレクトリを使用していないかどうかを確認してください。そのあと、原因コードからエラー原因を取り除き、再度コマンドを実行してください。原因コードごとの対処については、「[2.5 セットアップコマンド](#)、および[アンセットアップコマンド実行時に出力するメッセージの原因コード](#)」を参照してください。

#### KFUD90303-E

アンセットアップを中断しました。原因コード=aa....aa, 保守情報=bb....bb

aa....aa：原因コード

bb....bb：保守情報 (GetLastError の値)

(S)

処理を中断します。

(O)

<ISCM のインストールディレクトリ>%mgr%system 下のファイル、またはディレクトリを使用していないかどうかを確認してください。そのあと、原因コードからエラー原因を取り除き、再度コマンドを実行してください。原因コードごとの対処については、「[2.5 セットアップコマンド](#)、および[アンセットアップコマンド実行時に出力するメッセージの原因コード](#)」を参照してください。

## KFUD90304-E

セットアップ定義ファイルの設定値が不正です。定義項目名=aa....aa, 原因コード=bb....bb

aa....aa : 定義項目名

bb....bb : 原因コード (設定値不正の原因)

### 説明

セットアップ定義ファイルの設定値が不正です。  
原因コード (bb....bb) の意味を次の表に示します。

原因コード	意味
10	数字以外, または範囲外の数字です。
12	パス長が不正です。
20	相対パスが指定されました。
21	UNC 表記のパス, またはネットワークドライブを含むパスが指定されました。
22	無効なドライブが指定されました。

(S)

処理を中断します。

(O)

原因コードからセットアップ定義ファイルの設定値を見直し, 再度コマンドを実行してください。

## KFUD90305-E

サービスが停止していません。サービス名=aa....aa

aa....aa : サービス名

### 説明

サービスが起動しているため, コマンドを実行できません。

(S)

処理を中断します。

(O)

ISCM のサービスを停止してから再度コマンドを実行してください。

## KFUD90307-E

セットアップ定義ファイルの設定値が, 構築済み環境の設定値と異なります。定義項目名=aa....aa,  
構築済み環境の設定値=bb....bb

aa....aa : 定義項目名

bb....bb：構築済み環境の設定値

#### 説明

セットアップ定義ファイルの設定値が、構築済み環境の設定値と異なります。

(S)

処理を中断します。

(O)

メッセージに出力された定義項目に、セットアップ済みの環境と同じ設定値を指定し、再度コマンドを実行してください。設定値の変更は、アンセットアップしたあとに実施してください。

#### KFUD90308-Q

アンセットアップを開始してもよいですか？(y/n)

#### KFUD90309-E

セットアップ定義ファイルに無効な定義項目が指定されています。定義項目名=aa....aa

aa....aa：定義項目名

#### 説明

セットアップ定義ファイルに無効な定義項目が指定されています。

(S)

処理を中断します。

(O)

メッセージに表示された定義項目を修正または削除し、再度コマンドを実行してください。

#### KFUD90310-W

The error occurred. maintenance information=aa....aa, maintenance information=bb....bb, maintenance information=cc....cc

aa....aa：保守情報

bb....bb：保守情報

cc....cc：保守情報

#### 説明

コマンド実行時にエラーが発生しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

このメッセージの出力内容をシステム管理者に連絡してください。

#### KFUD90311-E

```
Invalid command line argument.
```

説明

コマンドラインの形式が不正です。

(S)

処理を中断します。

(O)

コマンドラインの形式を見直し、再度コマンドを実行してください。

#### KFUD90312-E

```
csdsetup or csdunsetup is already running.
```

説明

すでにセットアップまたはアンセットアップを実行中です。

(S)

処理を中断します。

(O)

ほかのセットアップまたはアンセットアップコマンドの実行が完了してから、再度コマンドを実行してください。

#### KFUD90313-E

```
An attempt to get the installation directory path information has failed.
```

説明

インストール先ディレクトリの取得に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

ISCM を再インストールしてから、再度コマンドを実行してください。

#### KFUD90314-E

```
The length of the installation directory path is invalid.
```

## 説明

インストール先ディレクトリのパス長が不正です。

(S)

処理を中断します。

(O)

ISCM をアンインストールし、インストール先ディレクトリを見直してから、ISCM を再インストールしてください。そのあと、再度コマンドを実行してください。

## KFUD90315-E

The format of the installation directory path is invalid.

## 説明

インストール先ディレクトリのパスが不正です。

(S)

処理を中断します。

(O)

ISCM を再インストールしてから、再度コマンドを実行してください。

## KFUD90316-E

An attempt to initialize the log has failed.

## 説明

ログの初期化に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

ISCM を再インストールしてから、再度コマンドを実行してください。

## KFUD90317-W

The error occurred in acquisition of the message text. message id=aa....aa, maintenance information=bb....bb

aa....aa : メッセージ ID

bb....bb : GetLastError の値

## 説明

メッセージの作成に失敗しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

このメッセージの出力内容をシステム管理者に連絡してください。

### KFUD90318-E

```
The setup has failed. maintenance information=aa....aa
```

aa....aa : GetLastError の値

#### 説明

セットアップ中にエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

原因コードからエラー原因を取り除き、再度コマンドを実行してください。

### KFUD90319-E

```
The unsetup has failed. maintenance information=aa....aa
```

aa....aa : GetLastError の値

#### 説明

アンセットアップ中にエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

原因コードからエラー原因を取り除き、再度コマンドを実行してください。

### KFUD90320-E

```
An attempt to delete the log file has failed. log path=aa....aa maintenance  
information=bb....bb
```

aa....aa : ログファイルのパス

bb....bb : GetLastError の値

#### 説明

ログファイルの削除に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

次の内容を確認して、再度コマンドを実行してください。

- ログファイル (aa....aa) を使用していないか
- ログファイル (aa....aa) に読み取り専用属性が付いていないか

#### KFUD90321-W

```
An attempt to output the log file has failed. log path=aa....aa message ID=bb....bb cc....cc
```

aa....aa：ログファイルのパス

bb....bb：メッセージ ID

cc....cc：保守情報

#### 説明

ログの出力に失敗しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

このメッセージの出力内容をシステム管理者に連絡してください。

#### KFUD90330-I

```
aa....aa のセットアップを開始します。
```

aa....aa：サービス名

#### 説明

aa....aa のセットアップを開始します。

#### KFUD90331-I

```
aa....aa のセットアップが完了しました。
```

aa....aa：サービス名

#### 説明

aa....aa のセットアップが完了しました。

## KFUD90332-I

aa....aa のアンセットアップを開始します。

aa....aa : サービス名

### 説明

aa....aa のアンセットアップを開始します。

## KFUD90333-I

aa....aa のアンセットアップが完了しました。

aa....aa : サービス名

### 説明

aa....aa のアンセットアップが完了しました。

## KFUD90334-I

データベースの移行処理を開始します。

### 説明

データベースの移行処理を開始します。

## KFUD90335-I

データベースの移行処理を終了します。

### 説明

データベースの移行処理を終了します。

## KFUD90400-I

The aa....aa command ended.

aa....aa : コマンド名

### 説明

コマンドが正常に完了しました。

## KFUD90401-E

The aa....aa command terminated abnormally. (bb....bb)

aa....aa : コマンド名

bb....bb : ログファイルのパス

#### 説明

コマンドが異常終了しました。

(S)

コマンドを停止します。

(O)

次のどちらかの対処を実施してから、再度コマンドを実行してください。問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。

- コマンド実行時に指定したバックアップファイルのパスが正しく指定されているかどうかを確認してください。
- ログファイル名称として表示されたファイルの情報を確認し、問題が判明した場合はエラー原因を取り除いてください。

#### KFUD90402-E

The number of command-line arguments is illegal.

#### 説明

引数の数が不正です。

(S)

コマンドを停止します。

(O)

コマンドの引数を見直し、再度実行してください。

#### KFUD90403-E

Hitachi IT System Configuration Manager - Manager Service not stopped.

#### 説明

Hitachi IT System Configuration Manager - Manager Service が停止していません。

(S)

コマンドを停止します。

(O)

Hitachi IT System Configuration Manager- Manager Service を停止したあと、再度コマンドを実行してください。

#### KFUD90404-Q

DB restore start ? (y/n).

## 説明

DB のリストア処理を開始してよいかどうかを y, または n で応答します。DB のリストア処理を開始してよい場合は, y を入力してください。

(S)

- y が入力された場合  
DB のリストア処理を開始します。
- n が入力された場合  
コマンドを終了します。

## KFUD91501-E

```
Invalid arguments. arguments=aa....aa
```

aa....aa : コマンドライン引数

## 説明

引数に誤りがあります。または, 引数が必要でないコマンドに引数を指定しました。

(S)

コマンドを停止します。

(O)

引数を確認してください。

## KFUD91502-E

```
The directory already exists in the current directory. directory=aa....aa
```

aa....aa : ディレクトリ名称

## 説明

カレントディレクトリには, aa....aa に示すディレクトリがすでにあります。

(S)

コマンドを停止します。

(O)

次のどちらかの操作を実施したあとに, 再度コマンドを実行してください。

- コマンドを実行するカレントディレクトリを変更します。
- aa....aa に示すディレクトリを必要であれば退避したあと, 該当するディレクトリを削除します。

## KFUD91503-E

```
The file already exists in the current directory. file=aa....aa
```

aa....aa：ファイル名称

#### 説明

カレントディレクトリには、aa....aa に示すファイルがすでにあります。

(S)

コマンドを停止します。

(O)

次のどちらかの操作を実施したあとに、再度コマンドを実行してください。

- コマンドを実行するカレントディレクトリを変更します。
- aa....aa に示すファイルを必要であれば退避したあと、該当するファイルを削除します。

#### KFUD91504-E

```
It failed in making the directory. directory=aa....aa
```

aa....aa：ディレクトリ名称

#### 説明

aa....aa に示すディレクトリの作成に失敗しました。

(S)

コマンドを停止します。

(O)

カレントディレクトリのドライブの空き容量を確認してください。問題が解決しない場合は、システム管理者に問い合わせてください。

#### KFUD91505-W

```
The file is not found. file=aa....aa
```

aa....aa：ファイル名称

#### 説明

aa....aa に示すファイルが見つかりません。

(S)

処理を続行します。

#### KFUD91506-W

```
Failed to get the database log files.
```

## 説明

データベースの障害情報の採取に失敗しました。

(S)

処理を続行します。

## KFUD91507-E

```
The file required to run this command is not found. file=aa....aa
```

aa....aa：ファイル名称

## 説明

aa....aa に示すファイルが見つかりません。

(S)

コマンドを停止します。

(O)

コマンドの実行に必要なファイルが見つかりません。システム管理者に問い合わせてください。

## KFUD91508-E

```
Failed to read the file required to run this command. file=aa....aa
```

aa....aa：ファイル名称

## 説明

aa....aa に示すファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

コマンドを停止します。

(O)

コマンドの実行に必要なファイルの読み込みに失敗しました。ファイルの読み込み権限を確認してください。問題が解決しない場合は、システム管理者に問い合わせてください。

## KFUD91509-W

```
Failed to add the file to zip file. file=aa....aa
```

aa....aa：ファイル名称

## 説明

aa....aa に示すファイルの zip ファイルへの格納に失敗しました。

(S)

処理を続行します。

## KFUD91510-W

Failed to add the directory to zip file. directory=aa....aa

aa....aa：ディレクトリ名称

### 説明

aa....aa に示すディレクトリの zip ファイルへの格納に失敗しました。

(S)

処理を続行します。

## KFUD91511-W

Failed to get the server log files.

### 説明

サーバの障害情報の採取に失敗しました。

(S)

処理を続行します。

## KFUD91800-E

ISCM サービス (Hitachi IT System Configuration Manager) との通信に失敗しました。ISCM サービス (Hitachi IT System Configuration Manager) が起動していない、または設定ファイルの IP アドレス、ポート番号に誤りがある可能性があります。

### 説明

ISCM サービス (Hitachi IT System Configuration Manager) が起動していないか、IP アドレスまたはポート番号に誤りがあります。

(S)

クライアント側でエラーを検知しました。処理を中断します。

(O)

ISCM サービス (Hitachi IT System Configuration Manager) の起動の有無と、設定ファイルの接続先 IP アドレスおよびポート番号を確認してください。

## KFUD91801-E

ISCM サービス (Hitachi IT System Configuration Manager) との通信中に通信エラーが起きました。ISCM サーバのメッセージを確認し、コマンドからの要求が受理されたか確認して下さい。

### 説明

処理途中で ISCM サービス (Hitachi IT System Configuration Manager) が異常終了しました。

(S)

要求を受理していない場合、処理しません。受理した場合、ISCM サーバは処理を継続します。

(O)

ISCM サービス (Hitachi IT System Configuration Manager) の起動状態を確認してください。また、サーバ側で要求を受理したかどうかを確認し、受理されている場合は結果を確認してください。

## KFUD91810-E

ISCM クライアント環境で、ファイル操作中に I/O エラーが起きました。ファイル名=aa....aa

aa....aa : アクセスしたファイルのファイルパス

### 説明

ISCM クライアントが稼働するホストで、ディスク障害や、利用するファイルに対する予期しないロックが起きたおそれがあります。

(S)

処理を中断します。

(O)

ディスク障害の有無を確認してください。また、サーバ側で要求を受理したかどうかを確認し、受理されている場合は結果を確認してください。

## KFUD91811-E

ファイルが見つかりませんでした。ファイル名=aa....aa

aa....aa : 見つからなかったファイルのファイルパス

### 説明

ISCM クライアントの環境でファイルの生成に失敗したおそれがあります。

(S)

処理を中断します。

(O)

ディスク障害の有無を確認してください。また、サーバ側で要求を受理したかどうかを確認し、受理されている場合は結果を確認してください。

## KFUD91820-E

ISCM サービス (Hitachi IT System Configuration Manager) との通信に失敗しました。ISCM サービス (Hitachi IT System Configuration Manager) が起動していない、異常終了した、または処理がタイムアウトした可能性があります。ISCM サービス (Hitachi IT System Configuration Manager) のメッセージを確認し、稼働状態と、コマンドからの要求が受理されたか確認してください。

## 説明

ISCM サービス (Hitachi IT System Configuration Manager) との通信に失敗しました。次の原因が考えられます。

- ISCM サービス (Hitachi IT System Configuration Manager) がダウンしていました。
- ISCM サービス (Hitachi IT System Configuration Manager) が予期しない異常を検知しました。
- ISCM サービス (Hitachi IT System Configuration Manager) の処理に時間が掛かってタイムアウトしました。

## (S)

ISCM サービス (Hitachi IT System Configuration Manager) が異常終了した場合、処理を中断します。処理に時間が掛かってタイムアウトを検知した場合には、ISCM サービス (Hitachi IT System Configuration Manager) は処理を続行します。

## (O)

ISCM サービス (Hitachi IT System Configuration Manager) の起動状態を確認してください。起動している場合、コマンドからの要求が受理されたかどうかを確認してください。

## KFUD91830-E

ISCM サーバとの通信に失敗しました。URL のパスに異常があります。

## 説明

ISCM サーバと ISCM クライアントでプロトコルのバージョンが異なります。

## (S)

処理を中断します。

## (O)

ISCM クライアントのバージョンを ISCM サーバのバージョンと合わせてください。その結果、同じエラーが発生し続ける場合、システム管理者に連絡してください。

## KFUD91840-E

ISCM サーバがエラーを検知しました。

## 説明

ISCM サーバ側で異常を検知しました。

## (S)

処理を中断します。

## (O)

このメッセージより前に出力されたメッセージに従って、対策してください。

## KFUD91850-E

ISCM サーバは処理を完了しましたが ISCM サーバから送られた XML データが予期しない構造でした。

### 説明

ISCM サーバと ISCM クライアントでプロトコルのバージョンが異なります。

#### (S)

処理を中断します。

#### (O)

ISCM クライアントのバージョンを ISCM サーバのバージョンと合わせてください。その結果、同じエラーが発生し続ける場合、システム管理者に連絡してください。

## KFUD91851-E

ISCM サーバが異常を検知しました。また、ISCM サーバから送られた XML データが予期しない構造でした。

### 説明

ISCM サーバと ISCM クライアントでプロトコルのバージョンが異なります。

#### (S)

処理を中断します。

#### (O)

ISCM クライアントのバージョンを ISCM サーバのバージョンと合わせてください。その結果、同じエラーが発生し続ける場合、システム管理者に連絡してください。

## KFUD91852-E

ISCM サーバから必要な値を取得できませんでした。キー=aa....aa

aa....aa：取得したキー情報

### 説明

ISCM サーバと ISCM クライアントでプロトコルのバージョンが異なります。

#### (S)

処理を中断します。

#### (O)

ISCM クライアントのバージョンを ISCM サーバのバージョンと合わせてください。その結果、同じエラーが発生し続ける場合、システム管理者に連絡してください。

## KFUD91853-E

ISCM サーバから取得した値が予期しない構造でした。キー=aa....aa, 値=bb....bb

aa....aa : 取得したキー情報

bb....bb : 取得した値

### 説明

ISCM サーバと ISCM クライアントでプロトコルのバージョンが異なります。

(S)

処理を中断します。

(O)

ISCM クライアントのバージョンを ISCM サーバのバージョンと合わせてください。その結果、同じエラーが発生し続ける場合、システム管理者に連絡してください。

## KFUD91860-E

認証用の情報を ISCM サーバに送信できませんでした。ユーザ名またはユーザが所属するグループ名に異常があります。ユーザ名=aa....aa, グループ名=bb....bb

aa....aa : ユーザ名

bb....bb : ユーザが所属するグループ名

### 説明

ログイン処理で、ユーザ名と所属するグループを XML 形式にマーシャリングする際に、予期しないエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

## KFUD91861-I

ログインに成功し、セッション ID が発行されました。セッション ID のハッシュ値=aa....aa

aa....aa : セッション ID (UUID) のハッシュ値

## KFUD93000-I

csdtmpregister -f テンプレートファイル [-d ディレクトリ名]

## 説明

コマンドラインの形式が不正です。

(S)

処理を中断します。

(O)

ヘルプを参照し、引数を正しく指定してください。

## KFUD93001-I

```
csdtmpdelete {-i テンプレート ID|-n テンプレート名} [-y]
```

## 説明

コマンドラインの形式が不正です。

(S)

処理を中断します。

(O)

ヘルプを参照し、引数を正しく指定してください。

## KFUD93002-I

```
csdtmpcontrol {-i テンプレート ID|-n テンプレート名} {-a {public|private}|-w {on|off}}
```

## 説明

コマンドラインの形式が不正です。

(S)

処理を中断します。

(O)

ヘルプを参照し、引数を正しく指定してください。

## KFUD93003-I

```
csdtmpupdate {-i テンプレート ID|-n テンプレート名} -f テンプレートファイル [-d ディレクトリ名] [-y]
```

## 説明

コマンドラインの形式が不正です。

(S)

処理を中断します。

(O)

ヘルプを参照し、引数を正しく指定してください。

#### KFUD93004-I

```
csdtmpls
```

```
csdtmpls {-i テンプレート ID |-n テンプレート名} [-o ファイル名] [-d ディレクトリ名]
```

#### 説明

コマンドラインの形式が不正です。

(S)

処理を中断します。

(O)

ヘルプを参照し、引数を正しく指定してください。

#### KFUD93011-I

テンプレートファイルの出力が正常に完了しました。

#### KFUD93012-I

テンプレートに付属するファイルの出力が正常に完了しました。

#### KFUD93013-E

入力ファイルが不正です。ファイル=aa....aa, 原因コード=bb....bb

aa....aa：ファイル

bb....bb：原因コード

#### 説明

指定されたファイルの拡張子が不正です。

原因コード (bb....bb) の意味を次の表に示します。

原因コード	意味
EXTENSION	ファイルの拡張子が不正です。

(S)

処理を中断します。

(O)

設計書ファイルの拡張子が xls, または, xlsx かどうかを確認し, 異なる場合は正しいファイルを指定して再度実行してください。

## KFUD93020-Q

指定したテンプレートの更新処理を続行してもよいですか？ (y/n)

### 説明

テンプレートの更新処理を続行してよいかどうかを y, または n で応答します。テンプレートの更新処理を続行してよい場合は, y を入力してください。

### (S)

- y が入力された場合  
テンプレートの更新処理を続行します。
- n が入力された場合  
コマンドを終了します。

## KFUD93021-Q

指定したテンプレートの削除処理を続行してもよいですか？ (y/n)

### 説明

テンプレートの削除処理を続行してよいかどうかを y, または n で応答します。テンプレートの削除処理を続行してよい場合は, y を入力してください。

### (S)

- y が入力された場合  
テンプレートの削除処理を続行します。
- n が入力された場合  
コマンドを終了します。

## KFUD93100-I

```
csdmregister -f マスターイメージ定義ファイル [-d ディレクトリ名] [-s]
csdmregister -f マスターイメージ定義ファイル [-d ディレクトリ名] -m マスターイメージのスナップショット [-s]
csdmregister -f マスターイメージ定義ファイル [-d ディレクトリ名] {-i マスターイメージ ID|-n マスターイメージ名[.セクション]} -c [-s]
csdmregister -x 設計書 [-d ディレクトリ名] [-s]
```

### 説明

コマンドラインの形式が不正です。

### (S)

処理を中断します。

(O)

ヘルプを参照し、引数を正しく指定してください。

## KFUD93101-I

```
csdmidelete {-i マスターイメージ ID|-n マスターイメージ名[.セクション]} [-y]
```

### 説明

コマンドラインの形式が不正です。

(S)

処理を中断します。

(O)

ヘルプを参照し、引数を正しく指定してください。

## KFUD93102-I

```
csdmiupdate -f マスターイメージ定義ファイル [-d ディレクトリ名] {-i マスターイメージ ID|-n マスターイメージ名[.セクション]} [{-s|-c}] [-k パスワードアクセスキー] [-y]
```

```
csdmiupdate -x 設計書 [-d ディレクトリ名] {-i マスターイメージ ID|-n マスターイメージ名[.セクション]} [{-s|-c}] [-k パスワードアクセスキー] [-y]
```

### 説明

コマンドラインの形式が不正です。

(S)

処理を中断します。

(O)

ヘルプを参照し、引数を正しく指定してください。

## KFUD93103-I

```
csdmils
```

```
csdmils {-i マスターイメージ ID|-n マスターイメージ名[.セクション]} [{-s | -l | -p | -r | -e | [-o  
ファイル名] [-d ディレクトリ名]]
```

```
csdmils [{-i マスターイメージ ID|-n マスターイメージ名[.セクション]}] -m マスターイメージ情報  
ファイル名
```

### 説明

コマンドラインの形式が不正です。

(S)

処理を中断します。

(O)

ヘルプを参照し、引数を正しく指定してください。

#### KFUD93104-I

```
csdmiexport {-i マスターイメージ ID|-n マスターイメージ名[.セクション]} -d ディレクトリ名
```

説明

コマンドラインの形式が不正です。

(S)

処理を中断します。

(O)

ヘルプを参照し、引数を正しく指定してください。

#### KFUD93110-I

エクスポートが正常に完了しました。

#### KFUD93111-I

マスターイメージ定義ファイルの出力が正常に完了しました。

#### KFUD93112-I

マスターイメージの付属ファイルの出力が正常に完了しました。

#### KFUD93113-I

マスターイメージ情報ファイルの出力が正常に完了しました。

#### KFUD93120-Q

指定したマスターイメージの削除処理を続行してもよいですか？(y/n)

説明

マスターイメージの削除処理を続行してよいかどうかを y, または n で応答します。マスターイメージの削除処理を続行してよい場合は、y を入力してください。

(S)

- y が入力された場合  
マスターイメージの削除処理を続行します。
- n が入力された場合  
コマンドを終了します。

## KFUD93121-Q

指定したマスターイメージの更新処理を続行してもよいですか？(y/n)

### 説明

マスターイメージの更新処理を続行してよいかどうかを y, または n で応答します。マスターイメージの更新処理を続行してよい場合は, y を入力してください。

### (S)

- y が入力された場合  
マスターイメージの更新処理を続行します。
- n が入力された場合  
コマンドを終了します。

## KFUD93122-I

チェック中 進捗= aa....aa / bb....bb

aa....aa：チェックが完了した数

bb....bb：チェック総数

### 説明

チェック処理の進捗を表示します。

## KFUD93123-I

チェックが完了しました。ファイルパス= aa....aa

aa....aa：ファイルパス

### 説明

設計書事前チェック機能の処理が正常に完了しました。

## KFUD93124-E

エラーを検出しました。処理を中断します。ファイルパス=aa....aa

aa....aa：ファイルパス

### 説明

チェック処理で処理を続行できないエラーを検出したため, 処理を中断します。

### (S)

処理を中断します。

(O)

このメッセージよりも前に出力されたメッセージを確認後、入力したファイルを修正し、再度実行してください。

#### KFUD93125-I

```
csdcheck -x 設計書
```

説明

コマンドラインの形式が不正です。

(S)

処理を中断します。

(O)

ヘルプを参照し、引数を正しく指定してください。

#### KFUD94000-I

- ・ resource.vmotion.use プロパティに n を指定、または省略した場合  
csdrscupdate
- ・ resource.vmotion.use プロパティに y を指定した場合  
csdrscupdate -vmotion force

#### KFUD94001-I

```
csdrscstatus {-p IP アドレス|-g 物理ホストグループ名} {-b|-c} [-s 変更対象の操作]
```

#### KFUD94002-I

```
csdmirelease {-i マスターイメージ ID|-n マスターイメージ名[.セクション]}[-p ホスト ID] [-y]
```

#### KFUD94003-I

```
csdrscls {-p IP アドレス|-g 物理ホストグループ名} {-f 出力ファイルパス|-d}  
csdrscls -l  
csdrscls -b  
csdrscls -v IP アドレス
```

#### KFUD94004-I

```
csdmireserve {-i マスターイメージ ID|-n マスターイメージ名[.セクション]} [-f リソース定義ファイルパス] [-s]
```

## KFUD94005-I

```
csdmipos {-i マスターイメージ ID|-n マスターイメージ名[.セクション]} [-f 物理配置制約ファイルパス] [-r]
```

## KFUD94006-E

指定した IP アドレスが不正です。IP アドレス=aa....aa

aa....aa : IP アドレス

### 説明

IP アドレスとして指定できる形式ではありません。

(S)

処理を中断します。

(O)

IP アドレスを見直し、再度コマンドを実行してください。

## KFUD94007-E

指定した物理ホストグループ名が不正です。物理ホストグループ名=aa....aa

aa....aa : 物理ホストグループ名

### 説明

物理ホストグループ名として指定できる文字数を超過しています。または、物理ホストグループ名として指定できる文字、または記号以外の値が含まれています。

(S)

処理を中断します。

(O)

物理ホストグループ名を見直し、再度コマンドを実行してください。

## KFUD94008-I

物理構成情報を出力しました。

### 説明

物理構成情報の出力が正常に完了しました。

## KFUD94009-Q

指定したマスターイメージのリソース予約の解除処理を続行してもよいですか？(y/n)

## KFUD94010-E

指定した変更対象の操作の形式が不正です。変更対象の操作=aa....aa

aa....aa：変更対象の操作

### 説明

変更対象の操作として指定可能な形式ではありません。

### (S)

処理を中断します。

### (O)

変更対象の操作の形式を見直し、再度コマンドを実行してください。

## KFUD95000-I

```
csdmideploy {-i マスターイメージ ID|-n マスターイメージ名[.セクション]} [-k パスワードアクセス  
キー] [-r] [-c]
```

## KFUD95001-I

```
csdmisetspassword {-i マスターイメージ ID|-n マスターイメージ名[.セクション]} {[p ホスト ID] -  
w 仮想ホストパスワード -k パスワードアクセスキー|-f [-y]}
```

## KFUD95002-I

```
csdmiundeploy [-c] {-i マスターイメージ ID|-n マスターイメージ名[.セクション]} [-p ホスト ID] [-  
k パスワードアクセスキー] [-y]
```

## KFUD95003-I

```
csdmistopdeploy {-i マスターイメージ ID|-n マスターイメージ名[.セクション]}
```

## KFUD95004-I

```
csdmivmstatus {-i マスターイメージ ID|-n マスターイメージ名[.セクション]} -p ホスト ID -g 変更  
パターン
```

## KFUD95005-I

```
csdsetaccount -vcosmi -u ユーザ ID -w パスワード
```

## KFUD95006-E

指定したホスト ID が不正です。ホスト ID=aa....aa

aa....aa : ホスト ID

#### 説明

ホスト ID として使用できない文字が含まれているか、ホスト ID として指定できる文字数を超過しています。

(S)

処理を中断します。

(O)

ホスト ID を見直し、再度コマンドを実行してください。

#### KFUD95007-E

指定したパスワードアクセスキーが不正です。

#### 説明

パスワードアクセスキーとして使用できない文字が含まれているか、パスワードアクセスキーとして指定できる文字数を超過しています。

(S)

処理を中断します。

(O)

パスワードアクセスキーを見直し、再度コマンドを実行してください。

#### KFUD95008-E

指定した仮想ホストパスワードが不正です。

#### 説明

仮想ホストパスワードとして使用できない文字が含まれています。

(S)

処理を中断します。

(O)

仮想ホストパスワードを見直し、再度コマンドを実行してください。

#### KFUD95009-E

指定したユーザ ID が不正です。ユーザ ID=aa....aa

aa....aa : ユーザ ID

#### 説明

ユーザ ID として指定できる文字、または記号以外の値が含まれています。

(S)

処理を中断します。

(O)

ユーザ ID を見直し、再度コマンドを実行してください。

#### KFUD95010-E

指定したパスワードが不正です。

##### 説明

パスワードとして指定できる文字、または記号以外の値が含まれています。

(S)

処理を中断します。

(O)

パスワードを見直し、再度コマンドを実行してください。

#### KFUD95011-E

指定した変更パターンが不正です。変更パターン=aa....aa

aa....aa : 変更パターン

##### 説明

変更パターンとして指定できる文字以外の値を指定しています。

(S)

処理を中断します。

(O)

変更パターンを見直し、再度コマンドを実行してください。

#### KFUD95012-Q

コマンドで登録したパスワードを初期パスワードに戻します。処理を続行してもよいですか？(y/n)

#### KFUD95013-Q

指定したマスターイメージの仮想ホスト削除処理を続行してもよいですか？(y/n)

#### KFUD95015-I

デプロイ処理が完了しました。マスターイメージの指定種別=aa....aa, 値=bb....bb

aa....aa : マスターイメージの指定種別

ID：マスターイメージ ID

NAME：マスターイメージ名

bb....bb：値

種別が ID の場合：マスターイメージ ID

種別が NAME の場合：マスターイメージ名

#### 説明

デプロイ処理が完了しました。

#### KFUD95016-I

アンデプロイ処理が完了しました。マスターイメージの指定種別=aa....aa, 値=bb....bb

aa....aa：マスターイメージの指定種別

ID：マスターイメージ ID

NAME：マスターイメージ名

bb....bb：値

種別が ID の場合：マスターイメージ ID

種別が NAME の場合：マスターイメージ名

#### 説明

アンデプロイ処理が完了しました。

#### KFUD95017-I

マスターイメージの更新が完了しました。マスターイメージの指定種別=aa....aa, 値=bb....bb

aa....aa：マスターイメージの指定種別

ID：マスターイメージ ID

NAME：マスターイメージ名

bb....bb：値

種別が ID の場合：マスターイメージ ID

種別が NAME の場合：マスターイメージ名

## 説明

マスターイメージの更新が完了しました。

OS/ミドルウェアパッチが未登録か適用済みの場合、アップデートスクリプトの実行前に `csdmistopdeploy` コマンドまたは JP1/AO から「デプロイ処理の中断」サービスを実行して更新を中断しても、このメッセージを出力します。

アップデートスクリプトを未実行のミドルウェアはメッセージログに [KFUD15059-I](#), [KFUD15060-I](#) メッセージを出力しませんので、アップデートスクリプトの実行有無はメッセージログで確認してください。

## KFUD95018-I

デプロイ処理の中断が完了しました。マスターイメージの指定種別=aa....aa, 値=bb....bb

aa....aa : マスターイメージの指定種別

ID : マスターイメージ ID

NAME : マスターイメージ名

bb....bb : 値

種別が ID の場合 : マスターイメージ ID

種別が NAME の場合 : マスターイメージ名

## 説明

デプロイ処理の中断が完了しました。

## KFUD95019-I

アンデプロイ処理の中断が完了しました。マスターイメージの指定種別=aa....aa, 値=bb....bb

aa....aa : マスターイメージの指定種別

ID : マスターイメージ ID

NAME : マスターイメージ名

bb....bb : 値

種別が ID の場合 : マスターイメージ ID

種別が NAME の場合 : マスターイメージ名

## 説明

アンデプロイ処理の中断が完了しました。

## KFUD95020-I

マスターイメージの更新処理の中断が完了しました。マスターイメージの指定種別=aa....aa, 値=bb....bb

aa....aa：マスターイメージの指定種別

ID：マスターイメージ ID

NAME：マスターイメージ名

bb....bb：値

種別が ID の場合：マスターイメージ ID

種別が NAME の場合：マスターイメージ名

### 説明

マスターイメージの更新処理の中断が完了しました。

## KFUD95021-E

デプロイ処理に失敗しました。マスターイメージの指定種別=aa....aa, 値=bb....bb

aa....aa：マスターイメージの指定種別

ID：マスターイメージ ID

NAME：マスターイメージ名

bb....bb：値

種別が ID の場合：マスターイメージ ID

種別が NAME の場合：マスターイメージ名

### 説明

業務システムの構築に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

ISCM のメッセージログに出力されるエラーメッセージを参照して、再度コマンドを実行してください。

## KFUD95022-E

アンデプロイ処理に失敗しました。マスターイメージの指定種別=aa....aa, 値=bb....bb

aa....aa：マスターイメージの指定種別

ID：マスターイメージ ID

NAME：マスターイメージ名

bb....bb：値

種別が ID の場合：マスターイメージ ID

種別が NAME の場合：マスターイメージ名

## 説明

業務システムの仮想ホストの削除に失敗しました。

複数ティア構成の Cosminexus がある仮想ホストの一部だけをアンデプロイした場合は、アンデプロイ処理を正常に完了してもこのメッセージを出力します。

(S)

処理を中断します。

(O)

ISCM のメッセージログに出力されるエラーメッセージを参照して、再度コマンドを実行してください。

複数ティア構成の Cosminexus がある仮想ホストの一部だけをアンデプロイした場合は、メッセージログにエラーメッセージが出ていなければこのメッセージは無視してください。

## KFUD95023-E

マスターイメージの更新に失敗しました。マスターイメージの指定種別=aa....aa, 値=bb....bb

aa....aa：マスターイメージの指定種別

ID：マスターイメージ ID

NAME：マスターイメージ名

bb....bb：値

種別が ID の場合：マスターイメージ ID

種別が NAME の場合：マスターイメージ名

## 説明

マスターイメージの更新に失敗しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

ISCM のメッセージログに出力されるエラーメッセージを参照して、再度コマンドを実行してください。

## KFUD95024-E

指定したマスターイメージの状態が不正です。マスターイメージの指定種別=aa....aa, 値=bb....bb, 状態=cc....cc

aa....aa : マスターイメージの指定種別

ID : マスターイメージ ID

NAME : マスターイメージ名

bb....bb : 値

種別が ID の場合 : マスターイメージ ID

種別が NAME の場合 : マスターイメージ名

cc....cc : 状態

業務システムのステータス

### 説明

指定したマスターイメージの状態が不正です。

(S)

処理を中断します。

(O)

業務システムの状態を確認してください。

## KFUD95025-E

状態監視がタイムアウトしました。マスターイメージの指定種別=aa....aa, 値=bb....bb

aa....aa : マスターイメージの指定種別

ID : マスターイメージ ID

NAME : マスターイメージ名

bb....bb : 値

種別が ID の場合 : マスターイメージ ID

種別が NAME の場合 : マスターイメージ名

## 説明

状態監視がタイムアウトしました。

### (S)

処理を中断します。

### (O)

監視対象の処理が終了後、必要に応じてタイムアウト時間を変更してください。

## KFUD95026-I

対象処理の監視を開始します。ユーザ名=aa....aa, マスターイメージの指定種別=bb....bb, 値=cc....cc, 対象処理=dd....dd, 監視間隔=ee....ee, タイムアウト時間=ff....ff, プロセス ID=gg....gg

aa....aa : ユーザ名

bb....bb : マスターイメージの指定種別

ID : マスターイメージ ID

NAME : マスターイメージ名

cc....cc : 値

種別が ID : マスターイメージ ID

種別が NAME : マスターイメージ名

dd....dd : 対象処理

デプロイの場合 : deploy

アンデプロイの場合 : undeploy

アップデートの場合 : update

ストップの場合 : stop

ee....ee : 監視間隔時間

ff....ff : タイムアウト時間

gg....gg : プロセス ID

## 説明

対象処理の監視を開始します。

## KFUD95029-E

アンデプロイ処理が終了しました。処理対象の仮想ホストの状態を確認してください。マスターイメージの指定種別=aa....aa, 値=bb....bb

aa....aa：マスターイメージの指定種別

ID：マスターイメージ ID

NAME：マスターイメージ名

bb....bb：値

種別が ID：マスターイメージ ID

種別が NAME：マスターイメージ名

### 説明

アンデプロイ処理が終了しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

業務システムの状態が"registered(partially configured)", "configured(partially reserved)"からアンデプロイ処理を行う場合、KFUD95029-E メッセージが出力されます。csdmils コマンド, または JP1/AO 画面から処理対象の仮想ホストの状態を確認してください。処理対象の仮想ホストの状態が"reserved"の場合は、アンデプロイ処理が完了しています。アンデプロイ処理が完了していない場合は、再度アンデプロイ処理を実行してください。

## KFUD95030-E

指定した値が不正です。値=aa....aa

aa....aa：値

### 説明

指定した値が不正です。

(S)

処理を中断します。

(O)

指定した値を見直して、コマンドまたは JP1/AO 画面から再度処理を実行してください。

## KFUD97101-E

ファイル解析に失敗しました。パス=aa....aa

aa....aa：解析対象ファイルのパス

#### 説明

解析対象ファイルに対して読み込み権限がないか、解析対象ファイルの構文に誤りがあります。

(S)

処理を中断します。

(O)

権限がない場合は、ファイルに対する読み込み権限を付けてください。構文に誤りがある場合は、ファイルの記載を修正してください。原因を取り除き、操作を再度実行してください。

問題が解決できない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KFUD97102-E

属性値の設定に失敗しました。要素名=aa....aa, 属性=bb....bb, 値=cc....cc, パス=dd....dd

aa....aa：要素名

bb....bb：属性

cc....cc：値

dd....dd：解析対象ファイルのパス

#### 説明

解析対象ファイルの構文に誤りがあります。

(S)

処理を中断します。

(O)

ファイルの記載を修正し、操作を再度実行してください。

問題が解決できない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

#### KFUD97103-E

ファイルの出力に失敗しました。パス=aa....aa

aa....aa：出力先ファイルのパス

#### 説明

ファイル出力先ディレクトリの書き込み権限がないか、ファイル出力先の容量が不足しています。または、ファイル出力中にエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

- ディレクトリの権限，ディスク容量を確認し，操作を再度実行してください。
- しばらく時間をおいたあと，操作を再度実行してください。
- 問題が解決できない場合は，資料採取ツールで資料を採取し，システム管理者に連絡してください。

## KFUD97104-E

ファイル編集中にエラーが発生しました。保守情報=aa....aa

aa....aa：エラーの原因を示すメッセージ

### 説明

ファイル編集中にエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

保守情報で示したメッセージの対処に従って原因を取り除き，操作を再度実行してください。また，資料採取ツールで資料を採取し，システム管理者に連絡してください。

## KFUD97105-I

マスターイメージ定義ファイルの情報を出力しました。

### 説明

マスターイメージ定義ファイルから取得した情報の出力が完了しました。

## KFUD97106-E

属性の削除に失敗しました。要素=aa....aa，属性=bb....bb，パス=cc....cc

aa....aa：削除に失敗した要素名

bb....bb：削除に失敗した属性名

cc....cc：対象ファイルパス

### 説明

対象ファイルから属性を削除する処理でエラーが発生しました。

(S)

処理を中断します。

(O)

ファイルの記載を修正し，操作を再度実行してください。

問題が解決できない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

## KFUD97107-I

設計書の情報を出力しました。

### 説明

設計書からマスターイメージ名とセクション名を取得しました。

## 2.5 セットアップコマンド, およびアンセットアップコマンド実行時に出力するメッセージの原因コード

セットアップコマンド, およびアンセットアップコマンド実行時に出力するメッセージ (KFUD90302-E メッセージ, および KFUD90303-E メッセージ) の原因コードについて説明します。原因コードと対処を次の表に示します。

表 2-1 原因コードと対処 (セットアップコマンド, およびアンセットアップコマンド実行時)

原因コード※	意味	対処
10x	ISCM サーバ定義ファイルの展開に失敗しました。	次の対処を実施してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ISCM を上書きインストールしたあとに, 再度セットアップを実行する</li> </ul> 問題が解決しない場合は, ISCM のトラブルシューティング情報を採取し, システム管理者に連絡してください。
12x	ISCM サービス停止の確認に失敗しました。	ISCM のトラブルシューティング情報を採取し, システム管理者に連絡してください。
20x	ISCM 用ファイルの展開に失敗しました。	次の順序で対処を実施してください。 1. ISCM のインストールディレクトリの空き容量を確認し, 空き容量がない場合は容量を確保したあとに, 再度セットアップを実行する 2. ISCM を上書きインストールしたあとに, 再度セットアップを実行する 問題が解決しない場合は, ISCM のトラブルシューティング情報を採取し, システム管理者に連絡してください。
22x	ISCM サービスの設定に失敗しました。	次の対処を実施してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>OS を再起動したあとに, 再度アンセットアップを実行する</li> </ul> 問題が解決しない場合は, ISCM のトラブルシューティング情報を採取し, システム管理者に連絡してください。
23x	ISCM サービスの設定解除に失敗しました。	ISCM のトラブルシューティング情報を採取し, システム管理者に連絡してください。
24x	セットアップの終了処理に失敗しました。	次の順序で対処を実施してください。 1. ISCM のインストールディレクトリの空き容量を確認し, 空き容量がない場合は容量を確保したあとに, 再度セットアップを実行する 2. ISCM を上書きインストールしたあとに, 再度セットアップを実行する 3. OS を再起動したあとに, 再度アンセットアップを実行する 問題が解決しない場合は, ISCM のトラブルシューティング情報を採取し, システム管理者に連絡してください。
25x	アンセットアップの終了処理に失敗しました。	ISCM のトラブルシューティング情報を採取し, システム管理者に連絡してください。

原因コード※	意味	対処
30x	ISCM サービス (Hitachi IT System Configuration Manager - Manager DB Service) のインストールに失敗しました。	次の順序で対処を実施してください。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ISCM のインストールディレクトリの空き容量を確認し、空き容量がない場合は容量を確保したあとに、再度セットアップを実行する</li> <li>2. ISCM の上書きインストールしたあとに、再度セットアップを実行する</li> </ol> <p>問題が解決しない場合は、ISCM のトラブルシューティング情報を採取し、システム管理者に連絡してください。</p>
32x	ISCM サービス (Hitachi IT System Configuration Manager - Manager DB Service) のアンインストールに失敗しました。	次の対処を実施してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• OS を再起動したあとに、再度アンセットアップを実行する</li> </ul> <p>問題が解決しない場合は、ISCM のトラブルシューティング情報を採取し、システム管理者に連絡してください。</p>
34x	ISCM サービス (Hitachi IT System Configuration Manager - Manager DB Service) のセットアップに失敗しました。	次の順序で対処を実施してください。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. セットアップ定義ファイルで、db_area_path、および db_port の定義を見直し、再度セットアップを実行する</li> <li>2. セットアップ定義ファイルの db_port に、未使用のポート番号を指定しているかどうかを確認し、再度セットアップを実行する</li> <li>3. ISCM のインストールディレクトリの空き容量を確認し、空き容量がない場合は容量を確保したあとに、再度セットアップを実行する</li> <li>4. セットアップ定義ファイルの db_area_path で指定したディレクトリの空き容量を確認し、空き容量がない場合は容量を確保したあとに、再度セットアップを実行する</li> <li>5. ISCM を上書きインストールしたあとに、再度セットアップを実行する</li> <li>6. 必要に応じて ISCM のデータをバックアップし、ISCM をアンセットアップしてから再度セットアップを実行し、バックアップした ISCM のデータをリストアする</li> </ol> <p>問題が解決しない場合は、ISCM のトラブルシューティング情報を採取し、システム管理者に連絡してください。</p>
36x	ISCM サービス (Hitachi IT System Configuration Manager - Manager DB Service) のアンセットアップに失敗しました。	次の対処を実施してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• OS を再起動したあとに、再度アンセットアップを実行する</li> </ul> <p>問題が解決しない場合は、ISCM のトラブルシューティング情報を採取し、システム管理者に連絡してください。</p>
38x	ISCM サービス (Hitachi IT System Configuration Manager - Manager DB Service) のインストール前処理に失敗しました。	次の順序で対処を実施してください。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. セットアップ定義ファイルの db_port に、未使用のポート番号を指定しているかどうかを確認し、再度セットアップを実行する</li> <li>2. セットアップ定義ファイルの db_port の設定を変更したあとにセットアップしている場合は、セットアップ済み環境の db_port に指定したポート番号を使用しているプログラムを終了してから、再度セットアップを実行する</li> </ol>

原因コード※	意味	対処
38x	ISCM サービス (Hitachi IT System Configuration Manager - Manager DB Service) のインストール前処理に失敗しました。	<p>3. ISCM サービス (Hitachi IT System Configuration Manager - Manager DB Service) のスタートアップの種類が自動、または手動になっているかどうかを確認し、再度セットアップを実行する</p> <p>4. ISCM サービス (Hitachi IT System Configuration Manager - Manager) を起動し、再度停止してから、セットアップを実行する</p> <p>5. OS を再起動したあとに、再度セットアップを実行する</p> <p>6. 必要に応じて ISCM のデータをバックアップし、ISCM をアンセットアップしてから再度セットアップを実行し、バックアップした ISCM のデータをリストアする</p> <p>問題が解決しない場合は、ISCM のトラブルシューティング情報を採取し、システム管理者に連絡してください。</p>
40x	ISCM サービス (Hitachi IT System Configuration Manager - Manager DB Service) のインストールに失敗しました。	<p>次の順序で対処を実施してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. セットアップ定義ファイルの db_port に、未使用のポート番号を指定しているかどうかを確認し、再度セットアップを実行する</li> <li>2. ISCM のインストールディレクトリの空き容量を確認し、空き容量がない場合は容量を確保したあとに、再度セットアップを実行する</li> <li>3. 必要に応じて ISCM のデータをバックアップし、ISCM をアンセットアップしてから再度セットアップを実行し、バックアップした ISCM のデータをリストアする</li> </ol> <p>問題が解決しない場合は、ISCM のトラブルシューティング情報を採取し、システム管理者に連絡してください。</p>
42x	ISCM サービス (Hitachi IT System Configuration Manager - Manager DB Service) のアンインストールに失敗しました。	<p>次の対処を実施してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• OS を再起動したあとに、再度アンセットアップを実行する</li> </ul> <p>問題が解決しない場合は、ISCM のトラブルシューティング情報を採取し、システム管理者に連絡してください。</p>
44x	ISCM サービス (Hitachi IT System Configuration Manager - Manager DB Service) のセットアップに失敗しました。	<p>次の順序で対処を実施してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ISCM のインストールディレクトリの空き容量を確認し、空き容量がない場合は容量を確保したあとに、再度セットアップを実行する</li> <li>2. ISCM を上書きインストールしたあとに、再度セットアップを実行する</li> <li>3. 必要に応じて ISCM のデータをバックアップし、ISCM をアンセットアップしてから再度セットアップを実行し、バックアップした ISCM のデータをリストアする</li> </ol> <p>問題が解決しない場合は、ISCM のトラブルシューティング情報を採取し、システム管理者に連絡してください。</p>
50x	ISCM サービス (Hitachi IT System Configuration Manager) のインストールに失敗しました。	<p>次の順序で対処を実施してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ISCM のインストールディレクトリの空き容量を確認し、空き容量がない場合は容量を確保したあとに、再度セットアップを実行する</li> </ol>

原因コード※	意味	対処
50x	ISCM サービス (Hitachi IT System Configuration Manager) のインストールに失敗しました。	2. ISCM を上書きインストールしたあとに、再度セットアップを実行する 問題が解決しない場合は、ISCM のトラブルシューティング情報を採取し、システム管理者に連絡してください。
52x	ISCM サービス (Hitachi IT System Configuration Manager) のアンインストールに失敗しました。	次の対処を実施してください。 • OS を再起動したあとに、再度アンセットアップを実行する 問題が解決しない場合は、ISCM のトラブルシューティング情報を採取し、システム管理者に連絡してください。
54x	ISCM サービス (Hitachi IT System Configuration Manager) のセットアップに失敗しました。	次の順序で対処を実施してください。 1. ISCM のインストールディレクトリの空き容量を確認し、空き容量がない場合は容量を確保したあとに、再度セットアップを実行する 2. ISCM を上書きインストールしたあとに、再度セットアップを実行する 3. OS を再起動したあとに、再度セットアップを実行する 4. 必要に応じて ISCM のデータをバックアップし、ISCM をアンセットアップしてから再度セットアップを実行し、バックアップした ISCM のデータをリストアする 問題が解決しない場合は、ISCM のトラブルシューティング情報を採取し、システム管理者に連絡してください。
56x	ISCM サービス (Hitachi IT System Configuration Manager) のアンセットアップに失敗しました。	ISCM のトラブルシューティング情報を採取し、システム管理者に連絡してください。
58x	ISCM サービス (Hitachi IT System Configuration Manager) のインストール前処理に失敗しました。	次の順序で対処を実施してください。 1. ISCM のインストールディレクトリの空き容量を確認し、空き容量がない場合は容量を確保したあとに、再度セットアップを実行する 2. ISCM を上書きインストールしたあとに、再度セットアップを実行する 問題が解決しない場合は、ISCM のトラブルシューティング情報を採取し、システム管理者に連絡してください。
60x	データベースの移行に失敗しました (データベース移行処理呼び出し (JNI) に失敗しました)。	ISCM のトラブルシューティング情報を採取し、システム管理者に連絡してください。
61x~66x	データベースの移行に失敗しました。	「表 2-2 保守情報と対処」に従い、対処してください。

注※ 原因コードの x は、16 進数 (0~9, A~F) を示します。

表 2-2 保守情報と対処

保守情報	説明	対処
22001	DB の起動に失敗しました。	ISCM のトラブルシューティング情報※を採取し、保守員に連絡してください。

保守情報	説明	対処
22101	DB でエラーが発生しました。処理が継続できません。	ISCM のトラブルシューティング情報を採取し、保守員に連絡してください。
22102	DB に接続できないため、処理が継続できません。	csdsetup.properties で設定した HiRDB Embedded Server が利用するポート番号 (db_port) が利用できるか (他で使用されていないか) を確認し、他が使用中である場合、他と重複しないポート番号を指定してください。問題が解決しない場合は、ISCM のトラブルシューティング情報を採取し、保守員に連絡してください。
22103	DB の処理に必要なメモリが不足しています。	実行に必要なメモリを確保し、再度実行してください。 問題が解決しない場合は、ISCM のトラブルシューティング情報を採取し、保守員に連絡してください。
22104	DB の処理でタイムアウトが発生しました。	しばらく時間をおいたあと、再度 csdsetup コマンドを実行してください。 問題が解決しない場合は、ISCM のトラブルシューティング情報を採取し、保守員に連絡してください。
22105	DB で内部エラーが発生しました。処理が継続できません。	ISCM のトラブルシューティング情報を採取し、保守員に連絡してください。
22106	DB のデータ移行でエラーが発生しました。	しばらく時間をおいたあと、再度 csdsetup コマンドを実行してください。 <ISCM インストールディレクトリ>%mgr%data ディレクトリ以下に書き込み権限が付与されていない場合は、書き込み権限を付与し、再度実行してください。 <ISCM インストールディレクトリ>%mgr%data ディレクトリの空き容量が不足している場合は、不要なファイルを削除するなどして空き容量を増やしてから、再度実行してください。 問題が解決しない場合は、ISCM のトラブルシューティング情報を採取し、保守員に連絡してください。

注※ csddbcopy を実行し、データベースのバックアップも合わせて取得してください。

## 2.6 ファイル転送とコマンドのリモート実行時に出力するメッセージの原因コード

ファイル転送とコマンドのリモート実行時に出力するメッセージの原因コードを次の表に示します。

表 2-3 原因コード, 発生理由, 対処方法一覧 (各 OS 共通)

原因コード	発生理由	対処方法
P_RemoCon.001	null 指定不可の参照型引数に対して、引数に null を指定しました。	引数に値を設定し、再度実行してください。
P_RemoCon.002	引数に指定範囲外の値を設定しました。	引数の値を指定可能範囲内に設定し、再度実行してください。
P_RemoCon.003	排他ロック機能の lock メソッドで、多重ロックを取得しようとしてしました。	lock メソッドを実行する前に、unLock メソッドを実行してほかのロックを解除してください。
P_RemoCon.004	排他ロック機能の lock メソッドで、排他ロックが取得できないためタイムアウトしました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>しばらくたってから再度実行してください。</li> <li>csd.properties の uoc.timer.lock の値を見直してください。</li> </ul>
P_RemoCon.005	ファイルの転送に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>転送先ディレクトリに書き込み権限を付けて、再度実行してください。</li> <li>転送先に十分な空き容量を確保し、再度実行してください。</li> <li>転送先に、異種同名ファイル/フォルダがある場合、削除または移動してから再度実行してください。</li> <li>転送先パスを見直し、再度実行してください。</li> </ul>
P_RemoCon.006	ファイルの取得に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>リモートホスト上の管理共有 (ADMIN\$) ディレクトリ以下に書き込み権限を付けて、再度実行してください。</li> <li>リモートホスト上の管理共有 (ADMIN\$) ディレクトリを持つドライブに、取得しようとするファイル/フォルダの容量以上の空き容量を確保し、再度実行してください。</li> <li>取得するファイル/フォルダに読み取り権限を付けて、再度実行してください。</li> <li>取得元パスを見直し、再度実行してください。</li> </ul>
P_RemoCon.007	一時ディレクトリの作成に失敗しました。	リモートホスト (Windows) 上の管理共有 (ADMIN\$) ディレクトリ以下に書き込み権限を付けて、再度実行してください。

表 2-4 原因コード, 発生理由, 対処方法一覧 (Linux)

原因コード	発生理由	対処方法
P_LinSSH.001	入出力処理にエラーが発生しました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>リモートホストが通信可能な状態にして、再度実行してください。</li> <li>認証情報に誤りがある場合は訂正して、再度実行してください。</li> <li>リモートホストに正しいアカウントを作成して、再度実行してください。</li> </ul>

原因コード	発生理由	対処方法
P_LinSSH.001	入出力処理にエラーが発生しました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>セッション再確立回数および、セッション再確立間隔を見直し、再度実行してください。</li> <li>転送先のアカウントおよびファイルディレクトリに正しい権限を付けて、再度実行してください。</li> </ul>
P_LinSSH.002	タイムアウトが発生しました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>csd.properties の uoc.timer.middlesetup の値を見直してください。</li> <li>リモートホストが通信可能な状態にして、再度実行してください。</li> </ul>

表 2-5 原因コード, 発生理由, 対処方法一覧 (Windows)

原因コード	発生理由	対処方法
P_WinCOM.001	リモートホストへの接続に失敗しました。	リモートホストが通信可能な状態にして、再度実行してください。
P_WinCOM.002	リモートホストへのログインに失敗しました。	認証情報に誤りがある場合は訂正し、再度実行してください。
P_WinCOM.004	ファイル転送およびコマンドのリモート実行に必要なサービスがすでに登録されています。	<p>以前に実行した際に登録したサービスがリモートホスト上に残っているおそれがあります。次のサービスが存在する場合は、サービスを削除し、再度実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>"uCSD CMALib Launcher"</li> </ul>
P_WinCOM.005	ファイル転送およびコマンドのリモート実行に必要なライブラリがローカルホストに存在しません。	ISCM のインストールを再度実行し、修復してから、再度実行してください。
P_WinCOM.006	リモートホスト上の、管理共有 (ADMIN\$) ディレクトリ¥Hitachi ¥CMALib¥uCSD¥launcher ディレクトリの作成に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>以前に実行した際に生成したプロセスがリモートホスト上に残っているおそれがあります。次のプロセスが起動している場合は、プロセスを停止し、再度実行してください。 "CmaWinComLauncher.exe"</li> <li>リモートホスト上の管理共有フォルダ (ADMIN\$) 以下に書き込み権限を付けて、再度実行してください。</li> </ul>
P_WinCOM.007	ファイル転送およびコマンドのリモート実行に必要なファイルの転送に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>リモートホスト上の管理共有フォルダ (ADMIN\$) 以下に書き込み権限を付けて、再度実行してください。</li> <li>リモートホストの空きディスク容量を確保し、再度実行してください。</li> </ul>
P_WinCOM.008	ファイル転送およびコマンドのリモート実行に必要なサービスの登録に失敗しました。	リモートホストが通信可能な状態にして、再度実行してください。
P_WinCOM.010	管理共有への再接続に成功したが、再度管理共有への接続がなくなっています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「リモートホストへのセッション再確立回数」と「セッション再確立間隔」の値を見直してください。</li> <li>リモートホストが通信可能な状態にして、再度実行してください。※1, ※2</li> </ul>
P_WinCOM.011	名前付きパイプ接続ができません。	リモートホストが通信可能な状態にして、再度実行してください。

原因コード	発生理由	対処方法
P_WinCOM.011	名前付きパイプ接続ができません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>リモートホスト側の 139 番ポートの通信を許可し、再度実行してください。</li> </ul>
P_WinCOM.013	ファイル転送に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>リモートホストが通信可能な状態にして、再度実行してください。</li> <li>リモートホスト上の管理共有フォルダ (ADMIN\$) 以下に書き込み権限を付けて、再度実行してください。</li> <li>リモートホストの空きディスク容量を確保し、再度実行してください。</li> </ul>
P_WinCOM.014	ファイル/フォルダが絶対パスではありません。	絶対パスを指定し、再度実行してください。
P_WinCOM.016	コマンド実行に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>リモートホストが通信可能な状態にして、再度実行してください。</li> <li>リモートホストにコマンドが存在することを確認してください。</li> <li>コマンドに実行権限を付けて、再度実行してください。</li> <li>コマンドの実行に必要なメモリ、空きディスク容量を確保し、再度実行してください。</li> </ul>
P_WinCOM.017	コマンド実行状態の取得に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>リモートホストが通信可能な状態にして、再度実行してください。</li> <li>リモートホストにコマンドが存在することを確認してください。</li> </ul>
P_WinCOM.019	その他エラー	保守員に連絡してください。
P_WinCOM.022	同時実行可能なプロセス上限数に達しました。	しばらくたってから再度実行してください。
P_WinCOM.024	ファイル転送およびコマンドのリモート実行に必要なファイルの削除に失敗しました。	リモートホスト上の管理共有フォルダ (ADMIN\$) 以下に削除権限を付けて、再度実行してください。*1, *2
P_WinCOM.025	ファイル転送およびコマンドのリモート実行に必要なサービスの登録解除に失敗しました。	リモートホストが通信可能な状態にして、再度実行してください。
P_WinCOM.026	home フォルダの作成に失敗しました。 格納先フォルダの作成に失敗しました。	リモートホスト上の管理共有フォルダ (ADMIN\$) 以下に書き込み権限を付けて、再度実行してください。
P_WinCOM.027	リモートホストへログインしたアカウントが管理者権限を持っていません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>認証情報に誤りがある場合は訂正し、再度実行してください。*1</li> <li>リモートホストのアカウントに管理者権限を付けて、再度実行してください。*1</li> </ul>
P_WinCOM.028	リモートホスト上のプロセスからの応答受信待ちでタイムアウトが発生しました。	リモートホストが通信可能な状態にして、再度実行してください。

## 2. メッセージの詳細

原因コード	発生理由	対処方法
P_WinCOM.029	ファイル転送およびコマンドのリモート実行に必要なサービスの開始に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>リモートホストが通信可能な状態にして、再度実行してください。</li> <li>不要なプログラムを終了させるなどして、空きメモリ量を増やしてから、再度実行してください。</li> </ul>
P_WinCOM.030	リモートホストに管理共有が存在しません。	リモートホストの管理共有設定を行い、再度実行してください。※1, ※2
P_WinCOM.037	格納先フォルダ名が長過ぎます。	フォルダ名の長さを見直し、再度実行してください。
P_WinCOM.038	home フォルダ内に、格納先フォルダに指定したものと同一名称のファイルが存在するため、格納先フォルダが作成できません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>フォルダ名を変更し再度実行してください。</li> <li>同一名称のファイルが不要であれば削除してください。</li> </ul>
P_WinCOM.039	ファイル転送およびコマンドのリモート実行のために生成するプロセスの起動確認に失敗しました。	リモートホストが通信可能な状態にして、再度実行してください。
P_WinCOM.040	処理をするのに十分な空きメモリがありません。	不要なプログラムを終了させるなどして、空きメモリを増やしてから再実行してください。
P_WinCOM.041	ファイル転送およびコマンドのリモート実行のために生成するプロセスへの要求送信に失敗しました。	ローカルホスト・リモートホストが通信可能な状態にして、再度実行してください。
P_WinCOM.042	ファイル転送およびコマンドのリモート実行のために生成するプロセスからの応答受信に失敗しました。	ローカルホスト・リモートホスト双方を通信可能な状態にして、再度実行してください。※1

#### 注※1

不要ファイルの削除およびセッションのクローズでエラーが発生した場合、処理を続行するため再実行は不要です。原因コードを出力するメッセージのあとにエラーメッセージが出力されている場合は、そのメッセージに従って対処してください。

#### 注※2

不要ファイルの削除およびセッションのクローズでエラーが発生した場合、処理を続行しますが、リモートホストに不要ファイルが残っている可能性があります。

<管理共有フォルダ(ADMIN\$)>¥Hitachi¥CMALib¥uCSD ディレクトリが存在する場合は削除してください。

## 2.7 設計書によるマスターイメージの登録・更新機能使用時のメッセージに関する注意事項

次に示すメッセージのメッセージ本文と、その説明文については「読み替えの説明」欄に示すとおり読み替えて対処してください。

表 2-6 メッセージと説明の読み替え方法

項番	メッセージ ID	メッセージと説明	読み替えの説明
1	KFUD15009-I KFUD15010-I KFUD15011-I KFUD15012-I KFUD15013-I KFUD15014-I KFUD15062-I KFUD15063-I KFUD25033-E KFUD25034-E KFUD25047-E KFUD25048-E KFUD25071-E KFUD25072-W KFUD25089-E	パラメータ  cc....cc：ミドルウェア種別 (Cosminexus, HiRDB, マスターイメージ定義ファイルのミドルウェア識別子)	「マスターイメージ定義ファイルのミドルウェア識別子」を「設計書のマスターイメージ基本情報シートに記載の設定対象識別子」に読み替えてください。
2	KFUD23103-E	(O)  マスターイメージ定義ファイル内のマスターイメージ名を変更して、再度コマンドを実行してください。	「マスターイメージ定義ファイル」を「設計書のマスターイメージ基本情報シート」に読み替えてください。
3	KFUD23110-E	メッセージ  マスターイメージ定義ファイルに指定したコンポーネント ID 数が構成パターンテンプレートファイルと不一致です。  説明  マスターイメージ定義ファイルに指定したコンポーネント ID 数が不正です。  (O)  マスターイメージ定義ファイルの構成を見直して、再度コマンドを実行してください。	「マスターイメージ定義ファイル」を「設計書のマスターイメージ基本情報シート」に読み替えてください。

項番	メッセージ ID	メッセージと説明	読み替えの説明
4	KFUD23113-E	<p>メッセージ</p> <p>マスターイメージ定義ファイルに指定したテンプレートが存在しません。テンプレート名=aa....aa</p> <p>説明</p> <p>マスターイメージ定義ファイルで指定したテンプレートが、ISCMに登録されていません。</p> <p>(O)</p> <p>マスターイメージ定義ファイル内のテンプレート名を見直して、再度コマンドを実行してください。</p>	<p>「マスターイメージ定義ファイル」を「設計書のマスターイメージ基本情報シート」に読み替えてください。</p>
5	KFUD23114-E	<p>メッセージ</p> <p>マスターイメージ定義ファイルに指定した値が不正です。原因コード=aa....aa, 値=bb....bb</p> <p>説明</p> <p>マスターイメージ定義ファイルで指定したパラメータが不正です。</p> <p>原因コード (aa....aa) の意味を次の表に示します。</p> <p>原因コード：</p> <p>MIDDLEWARE_ID</p> <p>ミドルウェア識別子が不正です。</p> <p>SECTION_NAME</p> <p>マスターイメージ定義ファイルのセクション名が不正です。</p> <p>(O)</p> <p>マスターイメージ定義ファイルと、使用するテンプレートファイルを見直して、再度コマンドを実行してください。</p>	<p>「マスターイメージ定義ファイル」を「設計書のマスターイメージ基本情報シート」に読み替えてください。</p> <p>「ミドルウェア識別子」を「設定対象識別子」に読み替えてください。</p>
6	KFUD23121-E	<p>メッセージ</p> <p>マスターイメージ定義ファイルに指定したテンプレートが不正です。テンプレート名=aa....aa</p> <p>説明</p> <p>マスターイメージ定義ファイルに記述されたテンプレートファイルがありません。</p> <p>(O)</p> <p>マスターイメージ定義ファイルと、使用するテンプレートファイルを見直して、再度コマンドを実行してください。</p>	<p>「マスターイメージ定義ファイル」を「設計書のマスターイメージ基本情報シート」に読み替えてください。</p>

項番	メッセージ ID	メッセージと説明	読み替えの説明
7	KFUD23122-E	<p>メッセージ</p> <p>マスターイメージ定義ファイルと、登録済みマスターイメージの構成が一致しません。原因コード=aa....aa, 値=bb....bb</p> <p>説明</p> <p>マスターイメージ定義ファイルの内容が、更新対象のマスターイメージの構成と一致していません。</p> <p>(O)</p> <p>原因コードに基づいてマスターイメージ定義ファイルを見直して、再度コマンドを実行してください。</p>	「マスターイメージ定義ファイル」を「設計書のマスターイメージ基本情報シート」に読み替えてください。
8	KFUD23126-E	<p>メッセージ</p> <p>マスターイメージ定義ファイルに指定したコンポーネントテンプレートファイルのティア情報が、構成パターンテンプレートファイルと不整合です。コンポーネントテンプレートファイル名=aa....aa</p> <p>(O)</p> <p>マスターイメージ定義ファイルと、使用するテンプレートファイルを見直して、再度コマンドを実行してください。</p>	「マスターイメージ定義ファイル」を「設計書のマスターイメージ基本情報シート」に読み替えてください。
9	KFUD23127-E	<p>メッセージ</p> <p>マスターイメージ定義ファイルに指定したコンポーネントテンプレートファイルのNIC情報が、構成パターンテンプレートファイルと不整合です。コンポーネントテンプレートファイル名=aa....aa</p> <p>(O)</p> <p>マスターイメージ定義ファイルと、使用するテンプレートファイルを見直して、再度コマンドを実行してください。</p>	「マスターイメージ定義ファイル」を「設計書のマスターイメージ基本情報シート」に読み替えてください。
10	KFUD23128-E	<p>メッセージ</p> <p>マスターイメージ定義ファイルに指定したテンプレートの種別が不正です。テンプレート名=aa....aa</p> <p>説明</p> <p>マスターイメージ定義ファイルに記述されたテンプレートの種別が不正であるため、マスターイメージを登録、または更新できません。</p>	「マスターイメージ定義ファイル」を「設計書のマスターイメージ基本情報シート」に読み替えてください。

項番	メッセージ ID	メッセージと説明	読み替えの説明
10	KFUD23128-E	(O) マスターイメージ定義ファイルと、使用するテンプレートファイルを見直して、再度コマンドを実行してください。	「マスターイメージ定義ファイル」を「設計書のマスターイメージ基本情報シート」に読み替えてください。
11	KFUD23129-E	メッセージ マスターイメージ定義ファイルに指定したテンプレートに対する要求が実行中です。テンプレート名=aa....aa  説明 マスターイメージ定義ファイルに記述されたテンプレートを実行中のため、マスターイメージを登録、または更新できません。  (O) マスターイメージ定義ファイルと、使用するテンプレートファイルを確認して、再度コマンドを実行してください。	「マスターイメージ定義ファイル」を「設計書のマスターイメージ基本情報シート」に読み替えてください。
12	KFUD23131-E	メッセージ マスターイメージ定義ファイルに指定したコンポーネントテンプレートファイルの情報が、構成パターンテンプレートファイルと不整合です。原因コード=aa....aa, テンプレート名=bb....bb  (O) マスターイメージ定義ファイルと使用するテンプレートファイルを見直して、再度コマンドを実行してください。	「マスターイメージ定義ファイル」を「設計書のマスターイメージ基本情報シート」に読み替えてください。
13	KFUD23132-E	メッセージ マスターイメージ定義ファイルに指定したコンポーネントテンプレートと構成パターンテンプレート間に不整合があるため、この組み合わせで使用できません。コンポーネントテンプレート名=aa....aa, 親要素=bb....bb, 要素=cc....cc, 属性=dd....dd, 値=ee....ee, 構成パターンテンプレート名=ff....ff, 親要素=gg....gg, 要素=hh....hh, 属性=ii....ii, 値=jj....jj  パラメータ aa....aa : マスターイメージ定義ファイルに指定したコンポーネントテンプレート名 ee....ee : "pp.xxx"	「マスターイメージ定義ファイル」を「設計書のマスターイメージ基本情報シート」に読み替えてください。  「ミドルウェア識別子」を「設定対象識別子」に読み替えてください。

項番	メッセージ ID	メッセージと説明	読み替えの説明
13	KFUD23132-E	<p>注 xxx : hitachi.Cosminexus 以外のミドルウェア識別子</p> <p>ff....ff : マスターイメージ定義ファイルに指定した構成パターンテンプレート名</p>	<p>「マスターイメージ定義ファイル」を「設計書のマスターイメージ基本情報シート」に読み替えてください。</p> <p>「ミドルウェア識別子」を「設定対象識別子」に読み替えてください。</p>
14	KFUD23137-E	<p>メッセージ</p> <p>マスターイメージ定義ファイルに指定したコンポーネントテンプレートファイルに、同じマスターイメージで使用できない組み合わせがあります。原因コード=aa....aa, テンプレート名1=bb....bb, テンプレート名2=cc....cc</p> <p>説明</p> <p>マスターイメージ定義ファイルで指定されたコンポーネントテンプレートに、同じマスターイメージで使用できない組み合わせがあります。</p> <p>(O)</p> <p>マスターイメージ定義ファイルを見直し、組み合わせ可能なコンポーネントテンプレートファイルを指定して再度コマンドを実行してください。</p>	<p>「マスターイメージ定義ファイル」を「設計書のマスターイメージ基本情報シート」に読み替えてください。</p>
15	KFUD23138-E	<p>メッセージ</p> <p>マスターイメージ定義ファイルに指定したコンポーネントテンプレートファイルは、現在のシステム定義ファイルの指定では使用できません。プロパティ名=aa....aa, 指定値=bb....bb, テンプレート名=cc....cc</p> <p>説明</p> <p>現在のシステム定義ファイルの指定では使用できないコンポーネントテンプレートをマスターイメージ定義ファイルに記載しています。</p> <p>(O)</p> <p>PaaS 利用者の場合：マスターイメージ定義ファイルを見直し、使用可能なコンポーネントテンプレートファイルを指定して再度コマンドを実行してください。問題が解決しない場合は PaaS 提供者に連絡してください。</p>	<p>「マスターイメージ定義ファイル」を「設計書のマスターイメージ基本情報シート」に読み替えてください。</p>

項番	メッセージ ID	メッセージと説明	読み替えの説明
16	KFUD23217-E	<p>メッセージ</p> <p>入力 XML ファイルに指定したファイルが存在しません。ファイル種別=aa....aa, ファイル名=bb....bb</p> <p>説明</p> <p>入力 XML ファイル (aa....aa) に指定したファイルがありません。</p> <p>aa....aa に表示される内容を次に示します。</p> <p>MASTERIMAGE_DEFINE : マスターイメージ定義ファイル</p>	<p>ファイル種別が MASTERIMAGE_DEFINE の場合、「マスターイメージ定義ファイル」および「入力 XML ファイル」を「設計書のマスターイメージ基本情報シート」に読み替えてください。</p>
17	KFUD23220-E	<p>メッセージ</p> <p>入力 XML ファイルに指定したパスに存在するディレクトリまたはファイル名が長すぎます。ファイル種別=aa....aa, 親要素=bb....bb, 要素=cc....cc, 属性=dd....dd, 値=ee....ee, パス名=ff....ff</p> <p>説明</p> <p>入力 XML ファイル (aa....aa) に指定したディレクトリ内のディレクトリ名, またはファイル名が長過ぎます。</p> <p>aa....aa に表示される内容を次に示します。</p> <p>MASTERIMAGE_DEFINE : マスターイメージ定義ファイル</p>	<p>ファイル種別が MASTERIMAGE_DEFINE の場合、「マスターイメージ定義ファイル」および「入力 XML ファイル」を「設計書のマスターイメージ基本情報シート」に読み替えてください。</p>
18	KFUD23222-E	<p>説明</p> <p>入力 XML ファイル (aa....aa) に指定したファイル, ディレクトリ, またはディレクトリ下で入出力エラーが発生しました。</p> <p>aa....aa に表示される内容を次に示します。</p> <p>MASTERIMAGE_DEFINE : マスターイメージ定義ファイル</p> <p>(O)</p> <p>次の原因が考えられます。入力 XML ファイルの定義値を見直してください。</p>	<p>ファイル種別が MASTERIMAGE_DEFINE の場合、「マスターイメージ定義ファイル」および「入力 XML ファイル」を「設計書のマスターイメージ基本情報シート」に読み替えてください。</p>
19	KFUD24229-E	<p>(O)</p> <p>PaaS 利用者の場合：リソース定義ファイルおよびマスターイメージ定義ファイルで指定した VLANID を確認してください。そのあと、再度コマンドを実行してください。</p>	<p>「リソース定義ファイル」を「設計書のネットワーク情報シート」に読み替えてください。</p>

項番	メッセージ ID	メッセージと説明	読み替えの説明
20	KFUD24301-E	<p>メッセージ</p> <p>指定したリソース定義で IP アドレスの予約ができませんでした。ホスト ID=aa....aa, NIC 名=bb....bb, IP アドレス=cc....cc, IP アドレスグループ=dd....dd, IP アドレス種別=ee....ee, VLAN-ID=ff....ff, ホスト名称=gg....gg, 原因コード=hh....hh</p> <p>説明</p> <p>指定されたリソース定義の内容で IP アドレスを予約できませんでした。</p> <p>(O)</p> <p>リソース定義ファイル, および IP アドレス設定ファイルの内容を確認してください。そのあと, 再度 csdmireserve コマンドを実行してください。</p>	「リソース定義」および「リソース定義ファイル」を「設計書のネットワーク情報シート」に読み替えてください。
21	KFUD24505-E	<p>パラメータ</p> <p>次のどちらかに該当する場合は, 「dd....dd: ホスト ID」に"*"を出力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「aa....aa: 種別」が cx_section で, かつマスターイメージ定義ファイルに記載されているセクションが「bb....bb: 値」に表示されている (セクションがマスターイメージ定義ファイルで使用されている場合)。</li> </ul>	「マスターイメージ定義ファイル」を「設計書のマスターイメージ基本情報シート」に読み替えてください。
22	KFUD25026-E KFUD25078-E	<p>(O)</p> <p>原因コードが I/O ERROR または DEFINITION FILE COPY ERROR の場合は, 次の対処を実施してください。</p> <p>PaaS 利用者の場合: PaaS 提供者へ連絡してください。PaaS 提供者がエラーの要因を取り除いたあと, マスターイメージ定義ファイルの内容を変更しないで再度コマンドを実行してください。</p>	「マスターイメージ定義ファイル」を「設計書」に読み替えてください。
23	KFUD25086-W KFUD25087-W KFUD25088-W	<p>パラメータ</p> <p>ミドルウェア種別 (HiRDB, マスターイメージ定義ファイルのミドルウェア識別子)</p>	「マスターイメージ定義ファイルのミドルウェア識別子」を「設計書のマスターイメージ基本情報シートに記載の設定対象識別子」に読み替えてください。

KFUD23202-E と KFUD23203-E メッセージについて, メッセージに出力されるファイル種別が” MASTERIMAGE\_DEFINE” の場合は, タグ名・属性に応じて, 次に示す「設計書の該当部分」の個所に誤りがないかどうかを見直してください。

表 2-7 メッセージに出力されるタグ名・属性と設計書における該当部分の対応表

項番	タグ名	属性	設計書の該当部分																											
1	MasterImage	xmlns	—																											
2		name	1. マスターイメージ基本情報シート (1)マスターイメージ基本情報 項番 1 マスターイメージ名																											
3		section	1. マスターイメージ基本情報シート (1)マスターイメージ基本情報 項番 2 セクション																											
4		version	1. マスターイメージ基本情報シート (1)マスターイメージ基本情報 項番 3 バージョン																											
5	<table border="1"> <tr> <td>description</td> <td>—</td> <td>1. マスターイメージ基本情報シート (1)マスターイメージ基本情報 項番 4 マスターイメージの説明</td> </tr> <tr> <td>PatternTemplate</td> <td>—</td> <td>1. マスターイメージ基本情報シート (1)マスターイメージ基本情報 項番 5 構成パターンテンプレート名</td> </tr> <tr> <td>Parameter(uoc.UOC 種別)</td> <td>type</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">Property</td> <td>key</td> <td>1. マスターイメージ基本情報シート (1)マスターイメージ基本情報 項番 6 サイジング UOC クラス名</td> </tr> <tr> <td>value</td> <td>1. マスターイメージ基本情報シート (1)マスターイメージ基本情報 項番 7 サイジング UOC ファイル名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">Value</td> <td>key</td> <td>1. マスターイメージ基本情報シート (3)サイジング UOC 入力パラメータ UOC 入力パラメータ</td> </tr> <tr> <td>value</td> <td>1. マスターイメージ基本情報シート (3)サイジング UOC 入力パラメータ UOC 設定値</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">Component</td> <td>id</td> <td>1. マスターイメージ基本情報シート (2)コンポーネント情報 コンポーネント ID</td> </tr> <tr> <td>template</td> <td>1. マスターイメージ基本情報シート (2)コンポーネント情報 コンポーネントテンプレート名</td> </tr> <tr> <td>Vlan</td> <td>businessId</td> <td>—</td> </tr> </table>	description	—	1. マスターイメージ基本情報シート (1)マスターイメージ基本情報 項番 4 マスターイメージの説明	PatternTemplate	—	1. マスターイメージ基本情報シート (1)マスターイメージ基本情報 項番 5 構成パターンテンプレート名	Parameter(uoc.UOC 種別)	type	—	Property	key	1. マスターイメージ基本情報シート (1)マスターイメージ基本情報 項番 6 サイジング UOC クラス名	value	1. マスターイメージ基本情報シート (1)マスターイメージ基本情報 項番 7 サイジング UOC ファイル名	Value	key	1. マスターイメージ基本情報シート (3)サイジング UOC 入力パラメータ UOC 入力パラメータ	value	1. マスターイメージ基本情報シート (3)サイジング UOC 入力パラメータ UOC 設定値	Component	id	1. マスターイメージ基本情報シート (2)コンポーネント情報 コンポーネント ID	template	1. マスターイメージ基本情報シート (2)コンポーネント情報 コンポーネントテンプレート名	Vlan	businessId	—	—	1. マスターイメージ基本情報シート (1)マスターイメージ基本情報 項番 4 マスターイメージの説明
description		—	1. マスターイメージ基本情報シート (1)マスターイメージ基本情報 項番 4 マスターイメージの説明																											
PatternTemplate		—	1. マスターイメージ基本情報シート (1)マスターイメージ基本情報 項番 5 構成パターンテンプレート名																											
Parameter(uoc.UOC 種別)		type	—																											
Property		key	1. マスターイメージ基本情報シート (1)マスターイメージ基本情報 項番 6 サイジング UOC クラス名																											
		value	1. マスターイメージ基本情報シート (1)マスターイメージ基本情報 項番 7 サイジング UOC ファイル名																											
Value		key	1. マスターイメージ基本情報シート (3)サイジング UOC 入力パラメータ UOC 入力パラメータ																											
		value	1. マスターイメージ基本情報シート (3)サイジング UOC 入力パラメータ UOC 設定値																											
Component		id	1. マスターイメージ基本情報シート (2)コンポーネント情報 コンポーネント ID																											
		template	1. マスターイメージ基本情報シート (2)コンポーネント情報 コンポーネントテンプレート名																											
Vlan		businessId	—																											
6		PatternTemplate	—	1. マスターイメージ基本情報シート (1)マスターイメージ基本情報 項番 5 構成パターンテンプレート名																										
7		Parameter(uoc.UOC 種別)	type	—																										
8		Property	key	1. マスターイメージ基本情報シート (1)マスターイメージ基本情報 項番 6 サイジング UOC クラス名																										
9	value		1. マスターイメージ基本情報シート (1)マスターイメージ基本情報 項番 7 サイジング UOC ファイル名																											
10	Value	key	1. マスターイメージ基本情報シート (3)サイジング UOC 入力パラメータ UOC 入力パラメータ																											
11		value	1. マスターイメージ基本情報シート (3)サイジング UOC 入力パラメータ UOC 設定値																											
12	Component	id	1. マスターイメージ基本情報シート (2)コンポーネント情報 コンポーネント ID																											
13		template	1. マスターイメージ基本情報シート (2)コンポーネント情報 コンポーネントテンプレート名																											
14	Vlan	businessId	—																											

項番	タグ名	属性	設計書の該当部分
15	Middleware	id	2. パラメータ定義シート (a)ISCM 解析情報 設定対象識別子
16	Parameter(fixed)	type	—
17	Property	key	2. パラメータ定義シート (2)パラメータと設定値情報 可変部定義名
18		value	2. パラメータ定義シート (2)パラメータと設定値情報 区切り文字, デフォルト設定値, 設定値
19	Parameter(Patch)	type	—
20	Property	key	—
21		value	—
22		order	—
23	Parameter(fixed)	type	—
24	Property	key	—
25		value	—
26	Parameter(fixed)	type	—
27	Property	key	—
28		value	—
29		order	—

(凡例)

—：該当部分なし

# 付録

## 付録 A このマニュアルの参考情報

このマニュアルを読むに当たっての参考情報を示します。

### 付録 A.1 関連マニュアル

関連マニュアルを次に示します。必要に応じてお読みください。

- Hitachi IT System Configuration Manager 解説 (3021-3-471)
- Hitachi IT System Configuration Manager リファレンス (3021-3-472)
- JP1 Version 9 JP1/IT Resource Management - Manager リファレンス (3020-3-S43)
- JP1 Version 10 JP1/IT Resource Management - Manager リファレンス (3021-3-233)

なお、このマニュアルでは、次のマニュアルについて、バージョン番号を省略して表記しています。マニュアルの正式名称とこのマニュアルでの表記を次の表に示します。

このマニュアルでの表記	正式名称
JP1/IT Resource Management - Manager リファレンス	JP1 Version 9 JP1/IT Resource Management - Manager リファレンス
	JP1 Version 10 JP1/IT Resource Management - Manager リファレンス

### 付録 A.2 このマニュアルでの表記

このマニュアルでは、製品名を次のように表記しています。

表記	製品名
Cosminexus      Application Server	uCosminexus Application Server
HiRDB	HiRDB Server Version 9
HNTRLib2	Hitachi Network Objectplaza Trace Library 2
ISCM	Hitachi IT System Configuration Manager
JAR	Java Archive
JP1/AO	JP1/Automatic Operation
JP1/ITRM	JP1/IT Resource Management - Manager
uCSD	uCosminexus Service Director ※ISCM は uCSD の後継製品です。

表記		製品名
VMware	ESX	VMware(R) ESX
		VMware(R) vSphere ESXi

## 付録 A.3 英略語

このマニュアルで使用する英略語を次に示します。

英略語	英字での表記
CPU	Central Processing Unit
CSV	Comma Separated Value
DB	Database
DLL	Dynamic Link Library
FTP	File Transfer Protocol
HTTP	Hyper Text Transfer Protocol
I/O	Input/Output
ID	Identifier
IP	Internet Protocol
LB	Load Balancer
NIC	Network Interface Card
OS	Operating System
PaaS	Platform as a Service
RDM	Raw Device Mapping
SSH	Secure SHell
UCS	Universal multi-octet coded Character Set
UNC	Universal Naming Convention
UOC	User Own Coding
URL	Uniform Resource Locator
UTF-8	8-bit UCS Transformation Format
UUID	Universally Unique Identifier
VM	Virtual Machine
XML	Extensible Markup Language

## 付録 A.4 KB (キロバイト) などの単位表記について

1KB (キロバイト), 1MB (メガバイト), 1GB (ギガバイト), 1TB (テラバイト) はそれぞれ  $1,024$  バイト,  $1,024^2$  バイト,  $1,024^3$  バイト,  $1,024^4$  バイトです。